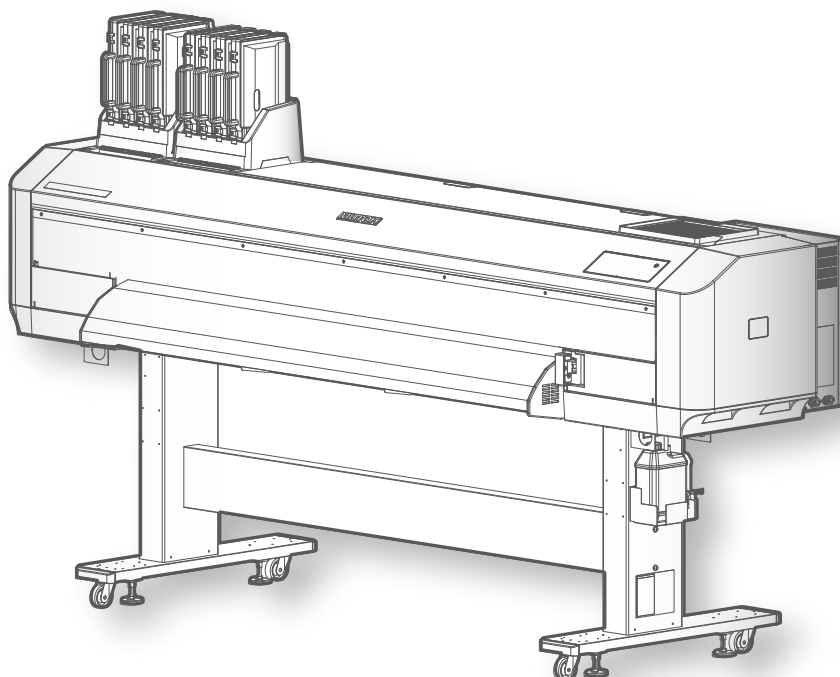


MUTOH

XPJ-1681SR-P

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。

もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
 - 本製品の使用方向を変えてみる
 - 受信機と本製品の距離を変えてみる
 - 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる
-

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

VerteLith は武藤工業株式会社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複製・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- PDF の目次や参照のリンク先に移動した後、元の場所には「**Alt** + **←**」キーを押すと戻ることができます。

目次

安全にお使いいただくために

9

安全上のご注意	10
安全表示について.....	10
使用上の警告と注意	11
異常事態が発生したときは	11
製品の取り扱いについて.....	12
電源コードについて.....	13
設置・移動について	15
メンテナンスについて	16
インクと廃液について.....	17
警告ラベル.....	18
操作ラベル.....	21

ご使用の前に

22

各部の名称・はたらき	23
正面	23
背面	25
プリンターコントロールパネル.....	27
プリンターコントロールパネルの使い方	27
プリンターコントロールパネルの各部について.....	27
ダイレクトキー操作.....	28
接続するコンピューターについて.....	29
システム構成	30
MSM の起動 / 表示 / 終了の方法	31
MSM の起動方法	31
MSM の表示方法	31
リモートパネルの表示方法.....	31
MSM の終了方法	31
印刷エリア.....	32
使用できるメディアの条件	33
使用可能サイズ.....	33

メディアの取扱上の注意	34
メディアの使用後の注意	34
ご使用上のお願い.....	35
定期的に使用してください.....	35
インクパックの取り扱いに注意してください.....	35
定期メンテナンスを実施してください	35
定期的に交換が必要な部品があります	36

基本的な使い方

37

作業の流れ	38
電源の操作	39
電源をオンにする	39
スリープモードについて	40
スリープモードを開始する	40
スリープモードを終了する	41
電源をオフにする	42
メディアのセット方法	43
メディアをセットする.....	43
Step1. フランジをメディアに取り付ける	43
Step2. ロール紙受けのトルクを設定する.....	45
Step3. ロール紙受けにメディアを取り付ける	46
Step4. プリンターにメディアをセットする.....	50
Step5. メディアセット後の手順	53
ノズルチェックとクリーニング	56
ノズルチェックをする.....	56
ヘッドクリーニングをする.....	58
印刷精度の調整	59
メディアに合わせた設定.....	60
プリントヘッドの高さについて	61
ヘッド高さを変更する	62
ヘッド高さに合わせてクリーニングワイパーを交換する	63
メディアに合わせてエッジホルダーの向きを変更する.....	64
メディア全体にかかる圧力を変更する	65
加圧アームの圧力を個別に変更する	66
スライドロックレバーを「通常」にする場合	67

スライドロックレバーを「弱」にする場合	68
スライドロックレバーを「キャンセル」にする場合	69
印刷を開始する.....	71
画像を印刷する.....	71
ジョブの停止 / 再開 / キャンセル.....	75
プリンターコントロールパネルからの各種操作.....	76
メディア送り.....	76
印刷の一時停止 / 再開	77
印刷のキャンセル	78
ウォームアップ中に印刷を開始する	79
メディアのカット	80
印刷中にプリンターコントロールパネルでできること	81
インクの確認と交換	83
インク残量を確認する	83
インクの交換が近づいたら.....	84
インクパックの交換.....	85
インクパックケースの取り外し	85
インクパックの取り付け	86

各種設定

89

パネル設定メニュー	90
メニューの操作方法.....	90
メニュー 1: メディア設定	92
調整印刷	94
調整印刷 : [オート] を選択した場合の手順	96
調整印刷 : [スタンダード]、[カスタム] を選択した場合の手順.....	97
メディア送り補正.....	100
自動でメディア送り補正を実行する.....	102
手動でメディア送り補正を実行する.....	103
メニュー 2: メンテナンス	107
自動ノズルチェック (オプション品装着時)	110
メニュー 3: テスト印刷	112
メディア調整	113
メニュー 4: 設定	115

原点設定	120
メニュー 5: ロール紙残量管理	122
読み取り	124
メニュー 6: プリンタ情報	125

メンテナンス

126

メンテナンスについて	127
メンテナンスの種類と実施目安	127
メンテナンスの準備	129
メンテナンスに必要なもの	129
保護具をつける	130
CR メンテナンスについて	131
定期メンテナンス	132
クリーニングワイパーの清掃	132
キャップ外周の清掃	134
内部の清掃	136
廃液タンクを空にする	138
ご使用に合わせたメンテナンス	140
ノズルの目詰まりがあったとき	140
ヘッドクリーニング	140
ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき	141
プリントヘッド周りの清掃	141
ノズルの目詰まりが重度のとき	144
微量充てん	144
漬け置きクリーニング	145
ノズル選択	148
調整印刷でオート調整が何度も失敗するとき	150
カラーセンサーの清掃	150
消耗品の交換	152
フラッシングボックス用吸収材の交換	152
Step1. 確認方法	152
Step2. 交換方法	153
カッターの交換	155
クリーニングワイパーの交換	158

移動・輸送	161
移動の方法	161
移動準備	161
移動後の手順	162
輸送の方法	163
長期保存	164
インク排出	164
インク排出後の初期充てん	169

困ったときは

173

メッセージとエラーメッセージ	174
動作状態表示	174
メッセージ型エラー表示と対処方法	176
スマートチップリカバリー	179
再起動が必要なエラー	180
トラブルシューティング	181
設置・導入時のトラブル	181
電源投入後まったく動かない	181
インクの初期充てんができない	181
初期充てんしてもインクが出ない	181
初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する	182
MSM や RIP からプリンターに接続できない	182
メディアに関するトラブル	183
メディアをセットしても動かない	183
メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる	183
メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない	183
メディア詰まりが頻発する	184
印刷中にメディアが斜行する	184
印刷に関するトラブル	185
データを送っても印刷されない	185
印刷中、キャリッジが右端または左端で一時的に停止する	185
メディアや印刷に汚れが発生する	186
印刷の位置がずれていたり、印刷しないところがある	186
印刷後のインクが乾きづらい	186
白スジや黒スジが発生する	187

線が繋がらない・二重になる、印刷がかすれてる・にじんでいる.....	187
印刷の色がおかしい.....	188
クリーニングを実施しても、ノズルの目詰まりが解消しない.....	188
メディアが詰まった場合.....	189

付録

192

本製品の仕様.....	193
オプション・サプライ品リスト.....	195
インクパック.....	195
サプライ品.....	195
オプション品.....	196
改訂履歴.....	197
お問い合わせ先.....	198



**安全にお使いいただく
ために**

安全上のご注意



安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。




■ 指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ その他のマーク表示

 Important!	とくに注意し、お守りいただきたい内容を示しています。
 Note	補足説明や参考情報を示しています。
	関連した内容の参照先を示しています。






Note

安全表示中の本体の各部名称については、「各部の名称・はたらき」P.23 をご参照ください。

使用上の警告と注意











異常事態が発生したときは

警告



	<p>万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。</p> <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。</p>
	<p>異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、すぐに電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。</p> <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。異常がないを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。</p>
	<p>インクやメンテナンス液、廃液が皮膚に付着した場合は、直ちに布などで拭き取ってください。そのあとせっけんと多量の水で洗浄してください。</p> <p>皮膚に刺激があったり、炎症したりする場合は、医師の診断を受けてください。</p>
	<p>インクやメンテナンス液、廃液が目に入った場合は、直ちに多量の流水で 15 分間洗浄してください。目に刺激や痛みを感じた場合は、速やかに医師の診断を受けください。</p> <p>そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。</p>
	<p>インクやメンテナンス液、廃液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。</p> <p>無理に吐かせようとすると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。</p>

製品の取り扱いについて

警告

	雷が鳴り出したら、製品に触れないでください。 感電の原因になります。
	通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 火災や感電の原因になります。
	毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと製品内部に熱がこもって、火災の原因になります。
	可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 転倒や転落により、けがをする原因になります。
	印刷中やヒーター動作中はメディアガイドに触れないでください。 メディアガイドが高温になっていて、やけどするおそれがあります。
	製品を改造したり、ネジで固定してあるカバー類を絶対に開けないでください。 感電や製品が故障する原因となります。また製品を改造したり、分解したりすると保証の対象外になります。
	メディアガイドに可燃性の液体をかけないでください。 火災の原因となります。
	本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。
	印刷終了直後はメディアガイドが高温になっています。 メディアガイドが十分に冷めてから作業を実施してください。

注意

	製品を傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。 製品内部のインクが漏れる原因になります。また移動後の正常動作が保証できません。
	フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取扱いは以下を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"> カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。突然閉まるおそれがあります。 カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。周囲の物や人にぶつかるおそれがあります。

Important!

本製品は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。印刷中やクリーニング中など、本製品が動作中にカバーを開けると動作が中断されます。

電源コードについて

 警告

	電源コードや電源プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。 電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。
	電源コードの破損や芯線の露出、断線などがみられる場合は使用しないでください。 火災や感電の原因になります。
	アース端子を電源コンセントに差し込まないでください。 火災や感電の原因になります。
	電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。 火災や感電の原因になります。
	電源タップを使用しないでください。 火災や感電の原因になります。
	アース線は、以下の場所に接続しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ● ガス管：引火や爆発するおそれがあります。 ● 電話線用アース線および避雷針：落雷時に多量の電流が流れる可能性があります。 ● 水道管および蛇口：T配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	必ず指定の電源コードを使用してください。 指定外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。指定品はカスタマーサポート、または販売店までお問い合わせください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。 2. 電源コードは使用する国の安全規格、電源、電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
	指定された電源仕様で使用してください。
	電源プラグは必ず製品の近くにあるコンセントに差し込んでください。 緊急時にすばやく電源プラグを抜けるよう、コンセントのそばに機器を設置してください。
	電源コードはコードクランプにはさんで固定してください。
	電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全の場合、火災や感電の原因になります。
	電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが破損して、火災や感電の原因になります。
	電源プラグを定期的に乾いた布で清掃してください。 溜まったホコリに水分や湿気が付着して、ショートする原因になります。また火災や感電の原因になります。

電源コードについて



長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
電源プラグにホコリが溜まり、火災や感電の原因になります。



電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。

- コンセントのアース端子
- 銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線
- D 種接地工事が施された接地端子

注意



プリンターの電力要件を満たしているコンセント及びブレーカーを使用してください。
電力要件を満たしていない場合、ブレーカーが遮断する原因になります。

設置・移動について

警告



以下の条件を満たす場所にプリンターを設置してください。

1. 水平な場所
2. 他の機器の振動が伝わらない場所
3. 湿気やホコリの少ない場所
4. 温度・湿度の変化が小さい場所
5. 直射日光が当たらない場所
6. 水などがかからない場所
7. 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
8. 電磁波などのノイズが少ない場所



換気ができる場所に設置して、作業場を十分換気してください。

インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛やだるさ、めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所で休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。換気の目安として1時間に5～10回の空気の入れ替えを行うか、局所換気装置を用いることを推奨します。



製品を梱包箱から取り出すときは、必ずビニールを外してください。

ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて製品を破損する原因になります。



本製品は子供がいる可能性がある場所には設置しないでください。

注意



本製品を開梱または移動する場合は、必ず4人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。



短い距離の移動でも廃液タンクを空にしてください。
故障の原因になります。



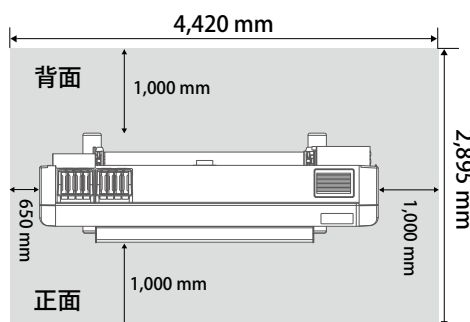
本製品を移動するときは安全靴の着用を推奨します。



本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

Important!

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。



本体サイズ

幅 x 奥行： 2,770 mm x 895 mm










高さ： 1,611 mm *¹

*¹ インクパッケージ（1,000ml 専用）装着時。

ただし設置スペースの高さは 1,760 mm 以上確保すること。





メンテナンスについて

 注意











   	<p>清掃時は、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用し、作業を実施してください。</p>
	<p>清掃時は、以下を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。 油脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。 • クリーンスティックの先端に水などを絶対につけないでください。 プリントヘッドが破損するおそれがあります。 • 未使用のクリーンスティックを使用してください。 使用済みのクリーンスティックを再利用すると、プリントヘッドが故障する原因になります。 • メディアガイドが十分に冷めてから作業を実施してください。 印刷直後は、メディアガイドが高温になっています。印刷後 30 分以上経過してから、作業を実施してください。
	<p>プリントヘッド周辺を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。 プリントヘッドが破損する原因になります。</p>
	<p>クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。 油脂が付着して、ヘッドクリーニングが正常に動作できなくなる原因になります。</p>
	<p>シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。 塗装や樹脂製カバーを傷める原因になります。</p>
	<p>インク充てん中に、以下の操作をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンターの電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりする • フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける • 加圧アームを上げる • プリンターを移動する

インクと廃液について

警告

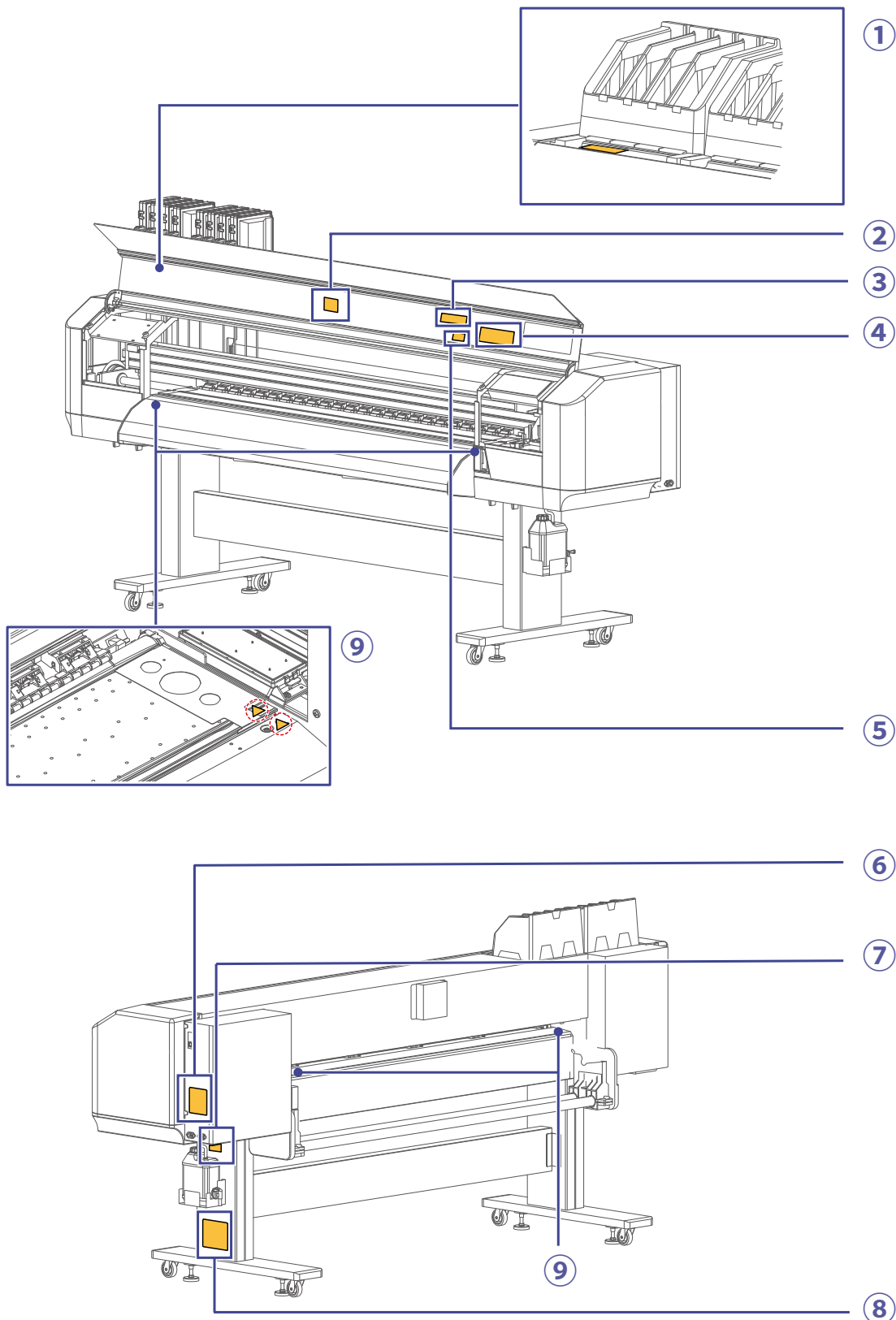
	<p>インクや洗浄液、廃液などを取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート（SDS）に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、必ず SDS をよくお読みください。</p> <p>最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。</p>
	<p>本製品から排出される廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。</p>
	<p>作業場に火気を持ち込まないでください。</p> <p>インクや廃液に引火するおそれがあります。</p>
	<p>インクや洗浄液、廃液は、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。</p>

注意

	<p>インクを取り扱うときやインクが付着する可能性のある作業をするとき（例：プリントヘッドやキャップ、ワイパーの清掃など）は、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、保護マスク）を着用してください。</p>
	
	<p>インクパックを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。</p> <p>そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。</p>
	
	<p>インクは純正品を使用してください。</p> <p>本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。</p>
	<p>インクは使用期限内に使い切ってください。</p> <p>使用期限の切れたインクを使用すると、インクの吐出不良が生じたり、製品が破損したりする原因になります。</p>
	<p>使用中に使用期限が切れた場合は、インクが残っていても使用期限内のインクに交換してください。</p> <p>使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。</p>
	<p>本製品から出る廃液が、生活排水や自然水系へ流出しないようにしてください。</p>
	<p>廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。</p> <p>他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります</p>
	<p>インクパックを分解したり、強い衝撃を与えたりしないでください。</p> <p>インクが漏れる原因になります。</p>

警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。
ラベルがはがれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。



ラベル種類

名称 / 意味

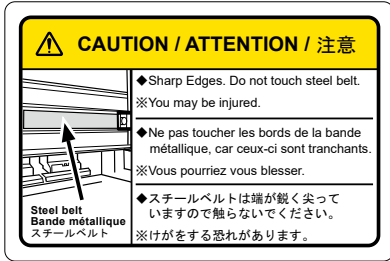
①



保護具着用ラベル

インクを取り扱うときは保護具を着用してください。

②



スチールベルトコーション

この部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。

③



カッターコーション

カッター付近に指を置かないでください。カッター刃でけがをするおそれがあります。

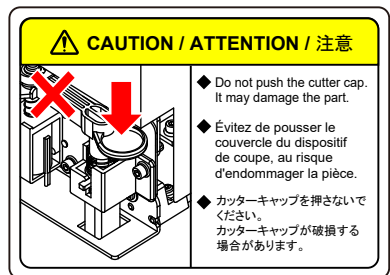
④



フロントカバーコーション

ラベルに記載されている内容を守ってください。

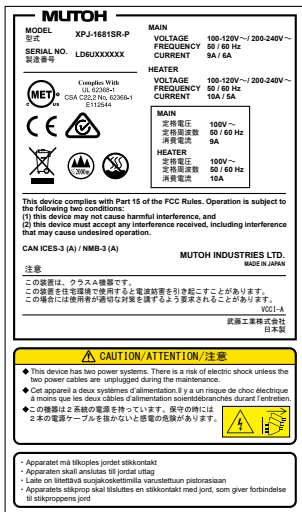
⑤



カッターキャップコーション

カッターキャップを押さないでください。カッターキャップが破損するおそれがあります。

⑥

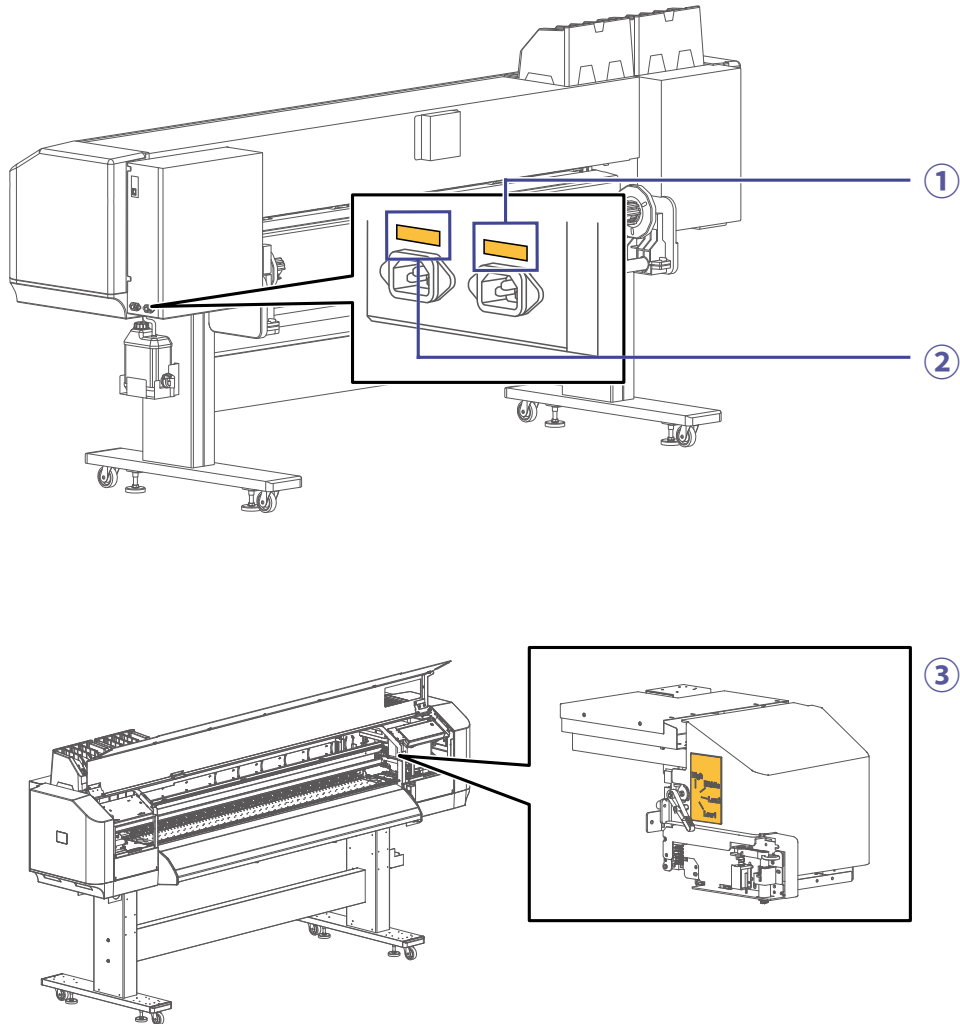


定格銘板

型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。

操作ラベル

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



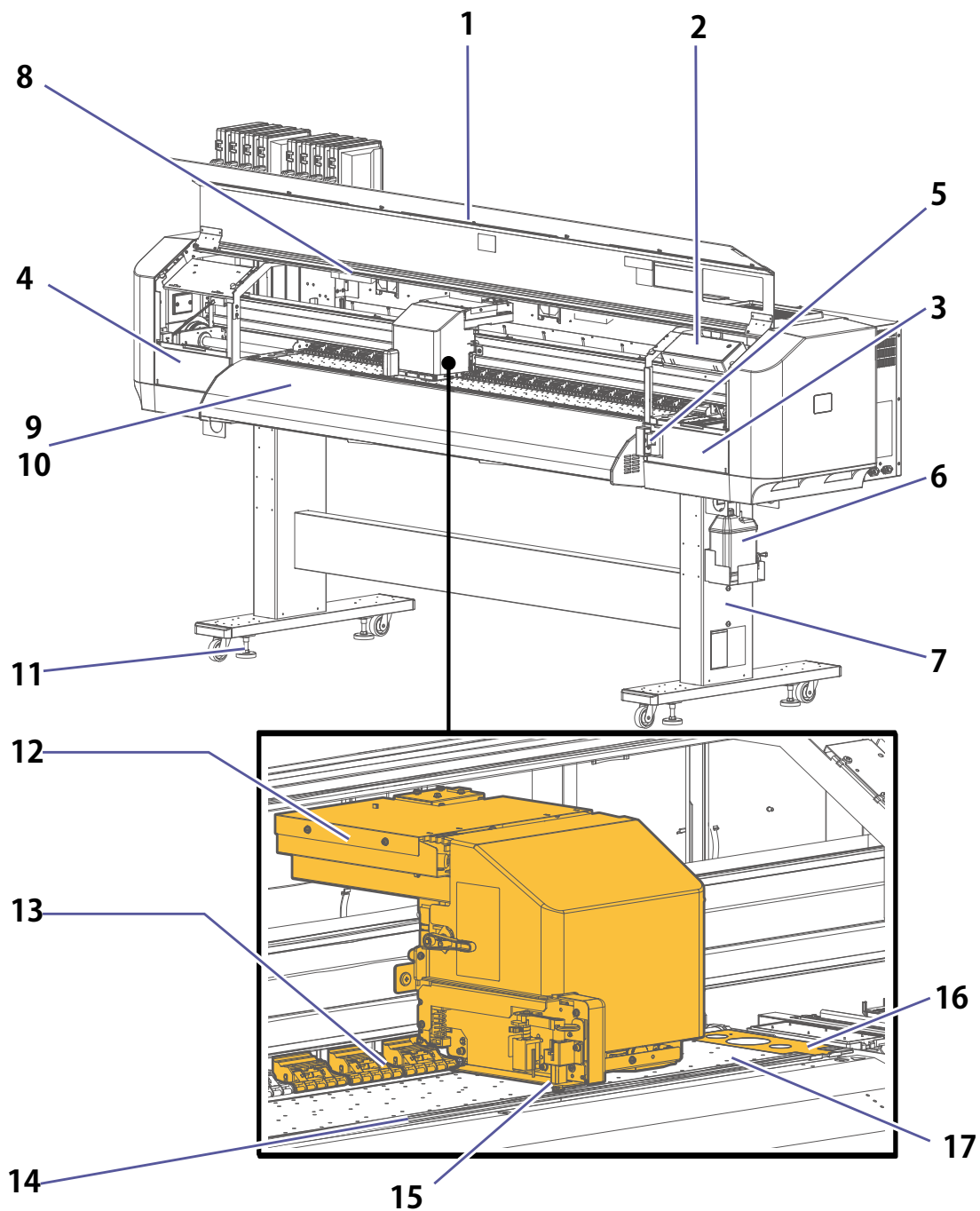
	ラベル種類	名称 / 意味
①		AC インレットラベル (MAIN)
②		AC インレットラベル (HEATER)
③		PG ラベル <ul style="list-style-type: none"> • プリントヘッドの高さを示しています。

1 ご使用の前に

各部の名称・はたらき	23
接続するコンピューターについて	29
システム構成	30
MSM の起動 / 表示 / 終了の方法	31
印刷エリア	32
使用できるメディアの条件	33
ご使用上のお願い	35

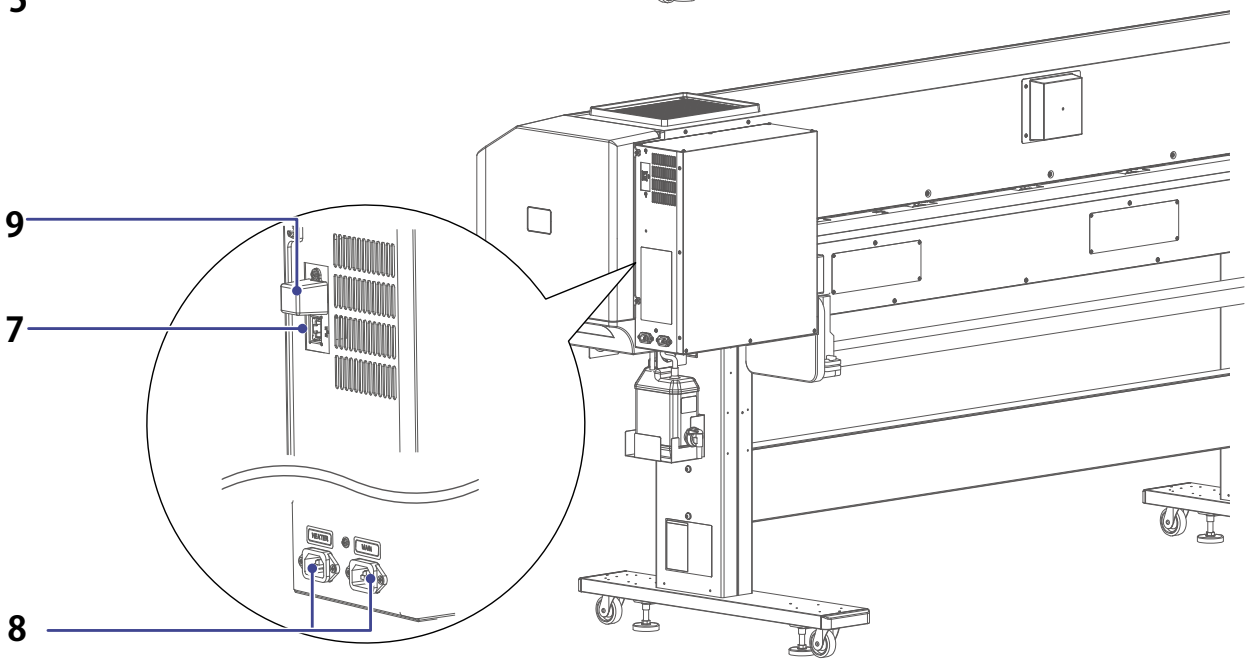
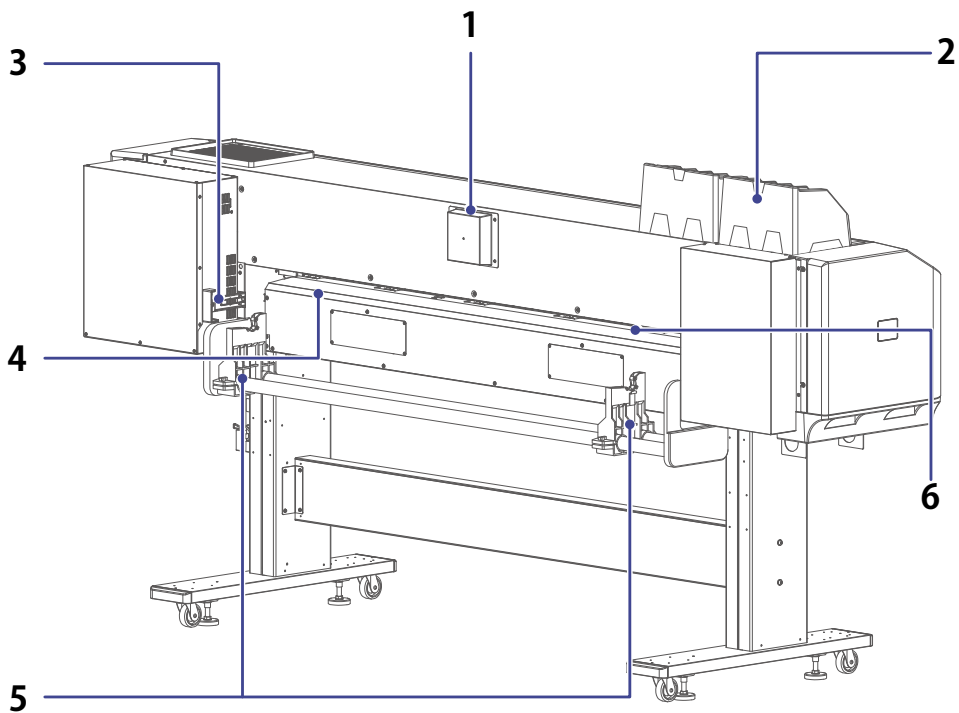
各部の名称・はたらき

正面



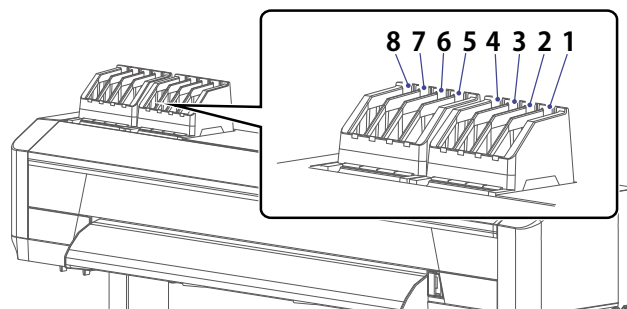
1	フロントカバー	メディアセット時や紙詰まり時に開閉します。通常は閉じておきます。
2	プリンターコントロールパネル	→ 「プリンターコントロールパネル」 P.27
3	メンテナンスカバー R	清掃時や消耗品の交換時に開閉します。通常は閉じておきます。
4	メンテナンスカバー L	
5	メディアセットレバー	メディアを固定または解除するレバーです。レバーを奥に押し込むと、メディアを固定します。押し込む量により、「通常」と「強」の2段階に加圧力を変更できます。
6	廃液タンク	廃インクや使用後の洗浄液をためるタンクです。満タンになる前に、廃液を排出してください。
7	専用スタンド	プリンター本体を支えます。
8	機内照明	プリンターが動作中に、内部や印刷結果の確認に使用します。
9	メディアガイド	メディアの通り道です。
10	ヒーター	メディアガイド内部にインクを乾燥させるヒーターが取り付けられています。
11	アジャスター	プリンターを設置後、本体ががたつかないように高さを調整するために使用します。
12	キャリッジ	プリントヘッドを内蔵しています。印刷中は左右に動きます。
13	加圧アーム	印刷時に、メディア全体を上から押さえて保持します。それぞれの加圧アームのスライドロックレバーで加圧力を減らしたりキャンセルすることができます。
14	メディアカット溝	メディアをまっすぐにカットするために使用します。
15	カッター	メディアを自動でカットする場合に使用します。
16	エッジホルダー	メディアの端に置いて、メディアが浮き上がるのを防ぎます（両端にあります）。
17	プラテン	本部位の上でメディアが印刷されます。内部に吸着ファンがあります。

背面



1 排気ファン 製品内部の排気を逃がします。

2 インクスロット インクをセットします。インク配列は下記のとおりです。



Slot	8色使用
1	K (ブラック)
2	Lk (ライトブラック)
3	C (シアン)
4	Lc (ライトシアン)
5	M (マゼンタ)
6	Lm (ライトマゼンタ)
7	Y (イエロー)
8	Or (オレンジ)

3 メディアセットレバー メディアを固定または解除するレバーです。
正面側のメディアセットレバーと連動しています。

4 メディアガイド メディアの通り道です。

5 ロール紙受け ロール紙をセットします。ロール紙にフランジを取り付け、ロール紙受けにセットします。

6 給紙スロット メディアをセットするとき、ここにメディアを差し込んで正面にメディアを通します。

7 ネットワークコネクタ イーサネットケーブルを接続し、プリンターとコンピューターとの接続に使用します。

8 AC インレット 電源コードを接続します。

9 巻き取りユニット用コネクタ (オプション) 巻き取りユニットをプリンターに接続するためのコネクタです。

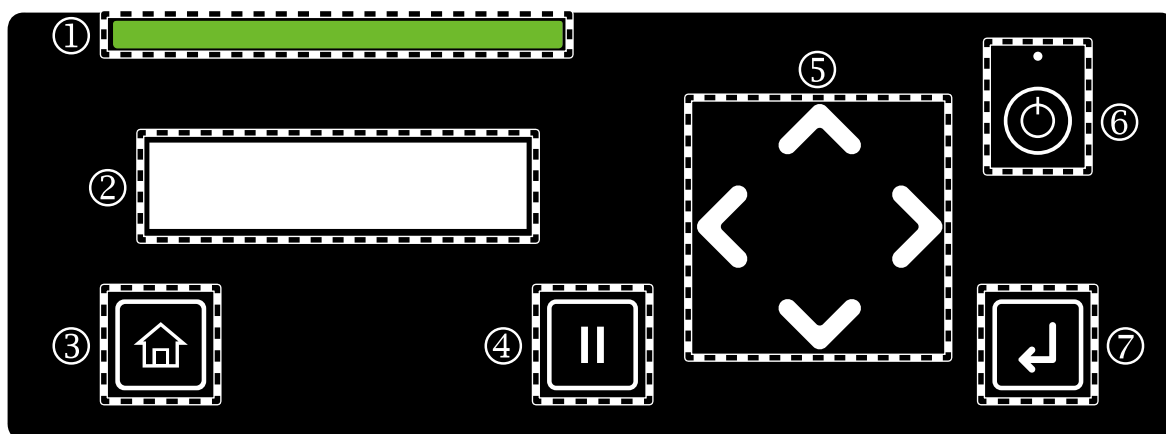
プリンターコントロールパネル




プリンターコントロールパネルの使い方

プリンターコントロールパネルはタッチパネルです。操作が有効なキーが発光して、操作をサポートします。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：キーを長押しします。

プリンターコントロールパネルの各部について



- | | | |
|---|---|--|
| ① | ステータスバー | 本製品の状態、エラーなどを表示します。
<ul style="list-style-type: none"> • 通常時：緑色に点灯 • エラー発生時：赤色に点灯 |
| ② | ディスプレイ | 本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。 |
| ③ |  | [Home] キー：
設定メニューに入るとき／出るときに使用します。 |
| ④ |  | [Cancel] キー：
<ul style="list-style-type: none"> • 印刷を一時停止します。印刷停止状態で、再度タップすると印刷を再開します。 • 印刷動作を行っていないときにタップすると、メディアをカットします。 |
| ⑤ |  | 方向キー：
設定メニュー表示中は、メニューの選択や、値の入力に使用します。
<ul style="list-style-type: none"> • [▲] キー：メニューを上に移動します。 • [◀] キー：変更を適用せず、前のメニューに戻ります。 • [▶] キー：次の階層のメニューに入ります。 • [▼] キー：メニューを下に移動します。 |

⑥



電源ボタン：

- 電源がオフの状態ですら2秒以上押すと、電源がオンになります。上部のLEDが白色に点灯します。
- 電源がオンの状態で2秒以上押すと、スリープモードになります。上部のLEDは点灯したままです。
- 電源をオフにする場合、通常時はパネル設定メニューから操作します。電源がオフになると上部のLEDは消灯します。

→ 「電源をオフにする」 P.42

Note

⏻マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ボタン上部の白色LEDが消灯していても、電源コードを接続していると微量の電力を消費します。本書ではこの状態を「電源オフ」と表記しています。

⑦



[Enter] キー：

メニューや、値の決定に使用します。

ダイレクトキー操作

[インサツデキマス]が表示されているときにタップすると、特定のメニューへショートカットすることができます。

インサツデキマス
PG: Low1 W: 1625 mm

⏪ [<] キー

ノズルチェックパターンFを印刷します。

→ 「ノズルチェックをする」 P.56

⏩ [>] キー

以下のメンテナンスメニューにアクセスします。

→ 「ヘッドクリーニングをする」 P.58

→ 「CRメンテナンスについて」 P.131

→ 「漬け置きクリーニング」 P.145

⏪ [^] / [v] キー

メディアを送ります。

→ 「メディア送り」 P.76

⏪ [Cancel] キー

メディアをカットします。

→ 「メディアのカット」 P.80

接続するコンピューターについて

Important!

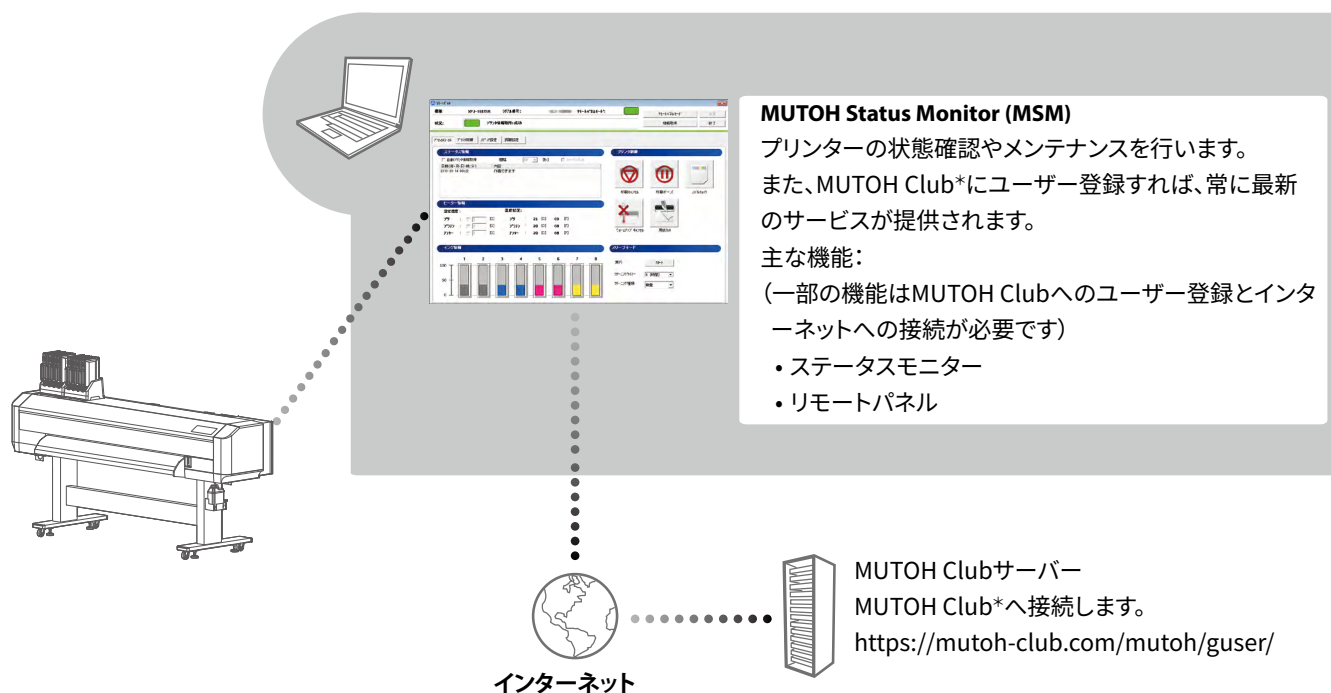
コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS: Windows 11
- CPU: Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ: 16GB 以上
- ネットワーク: ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

システム構成



* MUTOH Club

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供する Web サービスです。ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能：

- 最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- メディアプロファイルのダウンロード
- プリンター状態の確認 (MSM のプリンター情報提供サービス使用時)

< Vertelith 以外の RIP ソフトウェアをご利用の場合 >

プリンターのスペックを最大に発揮するためには、MSM をご利用ください。最新の MSM は、MUTOH Club からダウンロードできます。

Mutoh Print Server (以降、MPS) *2 機能をご利用の場合は、RIP の出力先を MPS 機能に切り替えてください。

Note

*2 MPS は、MUTOH プリンターの性能を向上させるアプリケーションです。前処理ソフトウェアとして機能し、イーサネット接続環境下でプリンター機能をサポートします。使用する際のネットワーク推奨環境や設定方法などの詳細は、「MUTOH Status Monitor 取扱説明書」をご参照ください。

MSM の起動 / 表示 / 終了の方法

MSM の起動方法



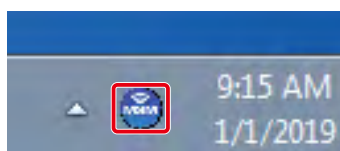
デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックする。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

- [スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [すべてのアプリ]) - [MUTOH] - [MUTOH Status Monitor] の順にクリックします。

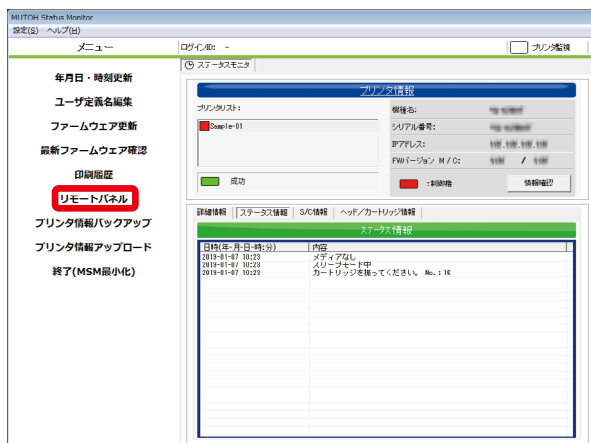
MSM の表示方法



タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックする。

リモートパネルの表示方法

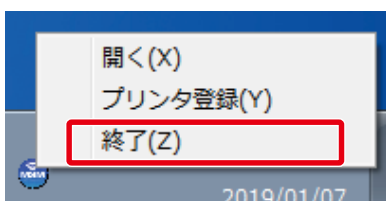
リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。



リモートパネルをクリックする。

- リモートパネルが開きます。

MSM の終了方法

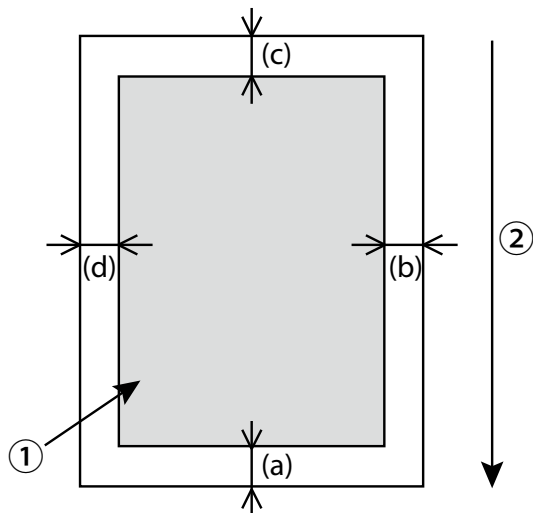


タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、[終了] をクリックする。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの [設定] - [閉じる] の順にクリックします。

印刷エリア



(a) : 5 mm^{*1}

(b) : 5 mm ~ 25 mm^{*2}

(c) : 5 mm

(d) : 5 mm ~ 25 mm^{*2}

① : 印刷可能領域

② : メディア搬送方向

^{*1}ただし、下記の場合は 15 mm となる。

- メディアイニシャル直後
- バックフィードを [▲] キーで行ったとき

また、下記の場合は 40mm となる。

- メディア検出メニュー [Top & Width] 設定時
- カット動作後

^{*2} サイドマージン設定から変更できます。

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用できます。

使用可能サイズ

ロール紙外径	200 mm 以下
紙管径	2 インチ : 50 mm ~ 52 mm 3 インチ : 75.5 mm ~ 79 mm
重量	30 kg 以下
幅	500 mm ~ 1,625 mm
推奨メディア厚さ	1.0 mm 以下

Important!

- 出荷時のヘッド高さは「Low1」に設定されています。
- ヘッド高さ「Low1」設定時、使用可能なメディアの最大厚さは 0.3 mm です。

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディアの取扱上の注意

メディアを取扱う場合は、以下の点に注意してください。

- メディアは、適切な環境下でご使用ください。
印刷に適した温度・湿度は次のとおりです。

本体精度保証環境	温度 : 22 °C ~ 30 °C
	湿度 : 40 % ~ 60 %、結露なきこと
変化率	温度 : 1 時間あたり 2 °C 以内
	湿度 : 1 時間あたり 5 % 以内

- 折り目、傷、破れ、および巻き癖のあるメディアは使用しないでください。
- メディアは、印刷環境の湿度変化により、一定の割合で寸法が変化することがあります。
メディアの使用前には、印刷環境に約 1 時間放置して、印刷環境に慣らしてください。印刷環境に慣らさないうちに印刷を行うと、印刷メディアのズレ、シワなどにより紙ジャムが発生するおそれがあります。また、印刷品質にも悪影響があります。
- 低湿時の環境で使用する場合は、メディアの貼付きによってカットしたメディアが落ちない場合があります。
その場合、メディア先端カット後、フロントカバーを開けてメディアを取除いてください。
- メディアの印刷面には手を触れないでください。
手についた水分・油脂が、印刷品質に影響します。
- メディアをセットした状態で、長時間放置しないでください。
メディアによっては癖がつき、紙浮き、紙ジャム、印刷品質低下の原因となります。特に冬季・乾燥期には、こうしたメディアの使用は避けてください。
- メディアの個装箱・個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、紛失しないでください。

メディアの使用後の注意

メディアの使用後は、シワなどによる品質低下を防ぐために、以下の点に注意して保管ください。

- 使用後のロール紙は、フランジを取り外し、きちんと巻きなおしてから、梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- メディアを濡らさないでください。

ご使用上のお願い

定期的にご使用してください

本製品は1週間に一度は使用することをお勧めします。

長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

インクパックの取り扱いに注意してください

- インクパックをはじめて使用する前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。
- インクパックを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
- インクパックを取り扱うときは、手袋・保護メガネ・保護マスクを着用してください。
- インクパックを取り扱うときは、インクが目に入ったり、皮膚に付着したりしないように注意してください。
目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクパックを落としたり、強く叩いたりしないでください。
インクが漏れる場合があります。
- インクは使用期限内に使い切ってください。
使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- インクは純正品を使用してください。
本製品はMUTOH純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前と印刷後に、ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
- 1週間に一度はクリーニングワイパーを清掃してください。
- 長時間使用しない場合*は、1週間に一度ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングが実施できない場合は、長期保存を実施してください。（*「長時間使用しない場合」とは、1週間から1か月間放置する場合を指します。）
→ 「長期保存」 P.164
- 1か月に一度は内部の清掃を行ってください。
- 廃液タンクを定期的を確認し、満タンになる前に廃液を排出してください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

- ユーザーによる交換が必要な部品：
フラッシングボックス用吸収材、カッター、クリーニングワイパー
- サービスマンによる交換が必要な部品：
各種モーター、各種ポンプ、プリントヘッド

2 基本的な使い方

作業の流れ	38
電源の操作	39
メディアのセット方法	43
ノズルチェックとクリーニング	56
印刷精度の調整	59
メディアに合わせた設定	60
印刷を開始する	71
プリンターコントロールパネルからの各種操作	76
インクの確認と交換	83

作業の流れ

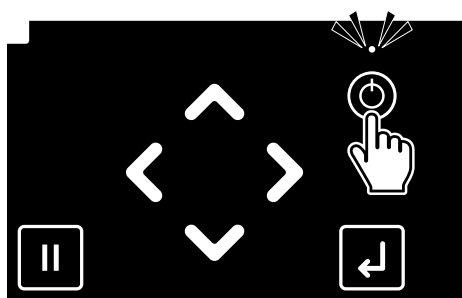
印刷をするときの基本的な作業の流れは次のとおりです。

- 1** プリンターの電源をオンにする。
→ 「電源をオンにする」 P.39
- 2** メディアをセットする。
→ 「メディアのセット方法」 P.43
- 3** テスト印刷をする。(ノズルチェック後、必要に応じてクリーニングします)
→ 「ノズルチェックとクリーニング」 P.56
- 4** 印刷精度の調整をする。(必要なとき)
→ 「印刷精度の調整」 P.59
- 5** メディアに合わせて設定する。
→ 「メディアに合わせた設定」 P.60
- 6** データを印刷する。
 - 当社の純正 RIP ソフトウェア「VerteLith」を使った印刷方法を説明します。→ 「印刷を開始する」 P.71

電源の操作

電源をオンにする

- 1 フロントカバーを閉じる。
- 2 プリンターコントロールパネルの電源ボタンを2秒以上押す。
 - 電源ボタン上部のLEDが点灯します。
 - 本製品が初期動作を開始します。



Note

LEDが点灯したら、電源ボタンから指を離してください。

スリープモードについて

本製品は電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが凝固し、画質不良や故障の原因となります。スリープモード中は、ヘッドクリーニングが自動で定期的に行われます。電源ボタン上部の LED が点灯し、[Enter] キー以外の操作は無効になります。

メンテナンスなどのために電源をオフにする必要がある場合は、パネル設定メニューから操作します。

→ 「電源をオフにする」 P.42

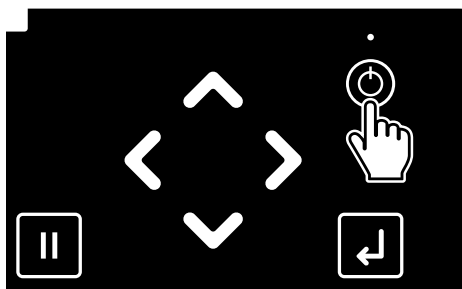
Important!

スリープモード中に以下の状態になった場合は、ヘッドクリーニングは実行されません（ヘッドクリーニング中は動作を停止します）。正常な状態に戻すと、ヘッドクリーニングを再開します。

1. フロントカバー、メンテナンスカバーが開いている
2. 加圧アームが上がっている
3. 廃液タンクが満タンになっている
4. インクパックケースが取り外されている
5. スマートチップカードが取り外されている
6. 純正品以外のスマートチップカードが挿入されている

スリープモードを開始する

- 1 印刷が終了して、メディアが取り外されていることを確認する。
- 2 プリンターコントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押す。



- [シバラクオマチクダサイ] と表示されます。
- 以下の表示に切り替わり、本製品がスリープモードを開始します。

スリープモード
シュウリョウ → Enter

Note

以下の場合は、スリープモードに移行できません。

- エラーが発生している（インクなし、パックなし、廃液満タン、カバーオープンなど）
- プリンターが動作している（メディア検出中、印刷中など）

■ スリープモードを開始できなかった場合

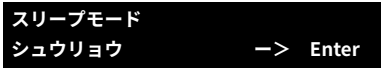
- [エラー] **ヲ** **カイジョシテクダサイ**]と表示されたとき：表示されているエラーを解除してからスリープモードを実行してください。
→ 「メッセージとエラーメッセージ」 P.174
- [スリープモード] **ヲ** **カイシデキマセン**]と表示されたとき：プリンターが動作中です。プリンターの動作が終わってからスリープモードを実行してください。

Note

- パネル設定メニューからもスリープモードにできます。スリープモード中のヘッドクリーニングの種類や間隔は、パネル設定メニューから変更します。
→ [メンテナンス] P.107 > [スリープモード] P.109 > [クリーニングセッティ] P.109、[ジッコウ] P.109
- 一定時間印刷がない場合、プリンターは自動でスリープモードに移行します。スリープモード移行までの時間は、パネル設定メニューから変更できますが、デフォルト設定の4時間での使用をお勧めします。
→ [メンテナンス] P.107 > [スリープモード] P.109 > [オートスリープタイマー] P.109

スリープモードを終了する

- 1 以下が表示されているときに、[Enter] キーをタップする。



スリープモード
シュウリョウ → Enter

スリープモードが終了し、[インサツデキマス]と表示されます。

電源をオフにする

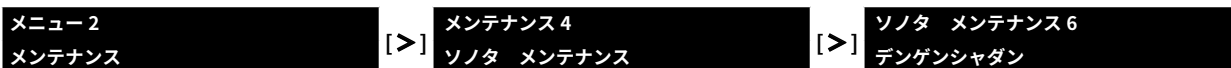
通常時は、パネル設定メニューを使用してプリンターの電源をオフにします。

1 印刷が終了して、メディアが取り外されていることを確認する。

2 **[Home]** キーをタップする。

3 「電源遮断」メニューにアクセスする。

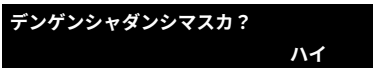
メニューフロー



- **[△]**/**[▽]**キー：メニューを選びます。
- **[>]**キー：メニューに入ります。

4 **[>]** キーをタップする。

5 **[△]**/**[▽]**キーで **[デンゲンシャダンシマスカ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



- 本製品が電源オフ動作を開始します。
- 電源ボタン上部の LED が消灯します。

Important!

以下の場合のみ、電源ボタンを 2 秒以上押しすと電源をオフにできます。

- 再起動が必要なエラー発生したとき
- インク未充てんのとき
- アクティベーション中
- MSM でプリンターのファームウェアを更新したとき

手順

1. 電源ボタンを 2 秒以上押します。
 - 本製品が電源オフ動作を開始します。
2. **[デンゲンシャダンチュウ]** と表示されたら、電源ボタンを離します。
 - 電源ボタン上部の LED が消灯します。

メディアのセット方法

メディアをセットする

Important!

セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

Step1. フランジをメディアに取り付ける

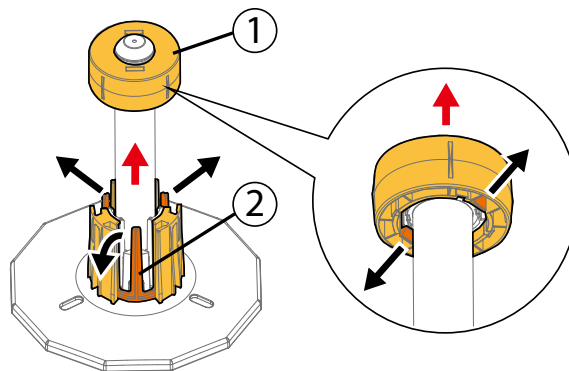
1 必要なものを用意する。

- メディア: 1本
- フランジ: 2個

2 用途に応じて、フランジのアダプターを変更する。

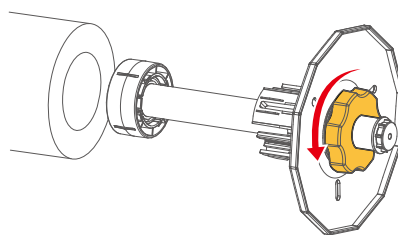
■ 内径が2インチのメディアを使用する場合

- フランジから3インチアダプターを取り外す。
 - ①: アダプターのツメ (2か所) を開きながら、アダプターを引き抜きます。
 - ②: アダプターのツメ (3か所) を開きながら、アダプターを引き抜きます。



Note

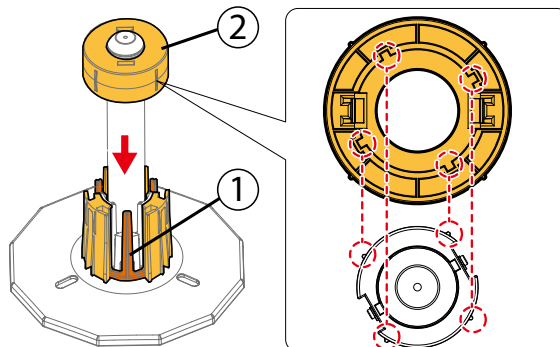
- ②のアダプターが外れない場合は、フランジのハンドルを反時計回りに回転させてゆるめてから再度実施してください。



- 内径が3インチのメディアを使用する場合は、この手順は実行しないでください。

■ 内径が 2 インチのメディアから 3 インチのメディアに変更して使用する場合

- フランジに 3 インチアダプターを取り付ける。
 - ①: フランジの根本の切り欠きにアダプターのツメ (x3) を合わせて取り付けます。
 - ②: フランジ先端の突起 (x4) にアダプター内側の切り欠き (x4) を合わせて取り付けます。

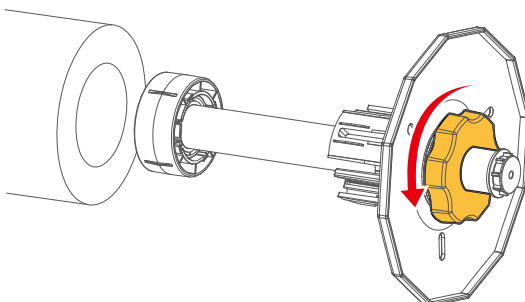


Note

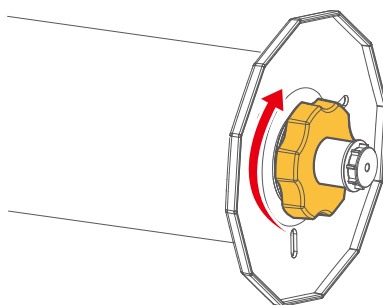
②のアダプターの位置を合わせずに取り付けられた場合、アダプターが固定されません。

3 メディア両端にフランジ (x2) を取り付け。

- フランジのハンドルを反時計回りに回転させて、メディアに取り付けられる状態にします。



4 フランジのハンドルを時計回りに回転させて、フランジを固定する。



Important!

メディアがしっかりと固定されていることを確認してください。固定が甘い場合、印刷中にメディアがフランジから外れ、印刷品質に影響を与えるおそれがあります。

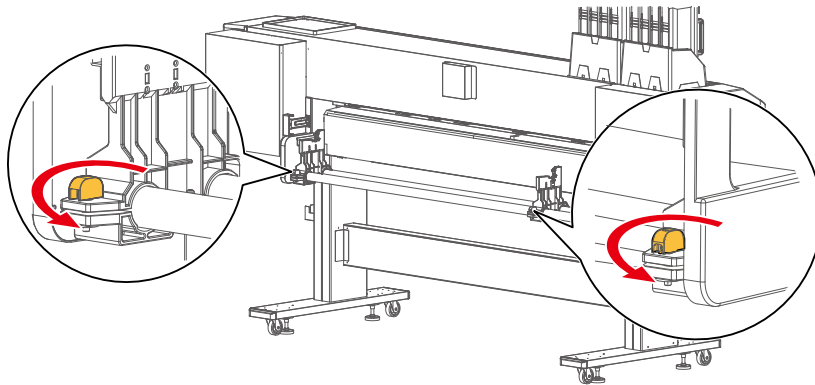
Step2. ロール紙受けのトルクを設定する

ロール紙受けにトルクを設定するには、以下の手順で実施します。

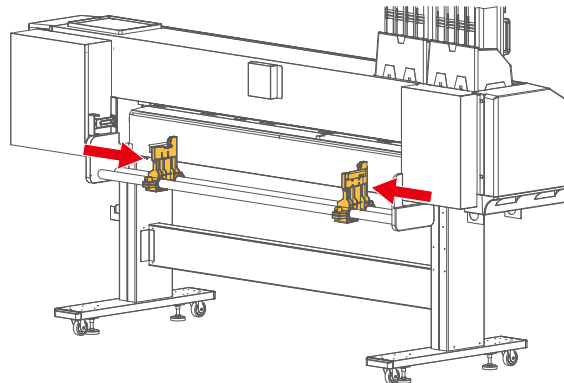
1 必要なものを用意する。

- ドライバー

2 左右のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて、緩める。

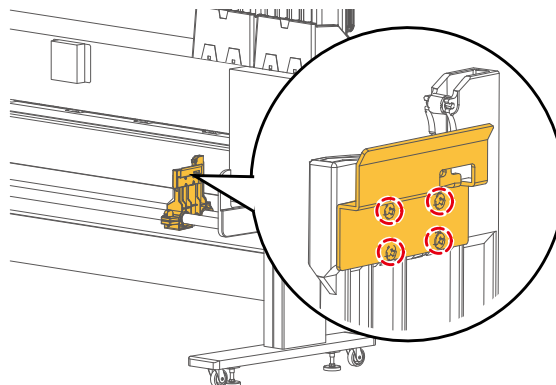


3 作業をしやすくするため、左右のロール紙受けをプリンターの中央に向かって 30cm ほど動かす。

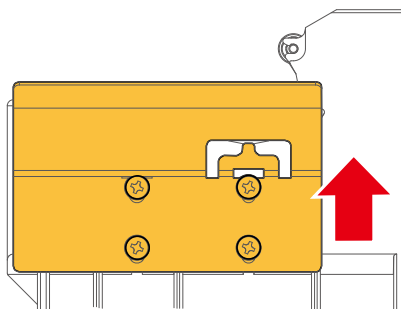


4 左右のロール紙受けのノブボルトを締める。

5 背面から向かって右側のロール紙受けにあるロール軸ガイドのネジをドライバーで緩める。

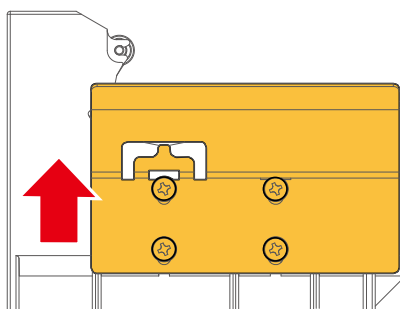


- 6 ロール軸ガイドを上にはずして、突き当たったところでネジを締める。



ロール軸ガイド (右)

- 7 左側のロール紙受けにあるロール軸ガイドも、同様にずらしてからネジを締める。



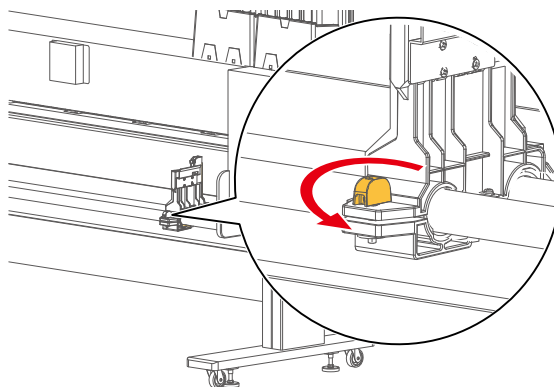
ロール軸ガイド (左)

- 8 左右のロール紙受けのノブボルトを緩め、左右のロール紙受けの位置を元に戻す。

- 9 左右のロール紙受けのノブボルトを締める。

Step3. ロール紙受けにメディアを取り付ける

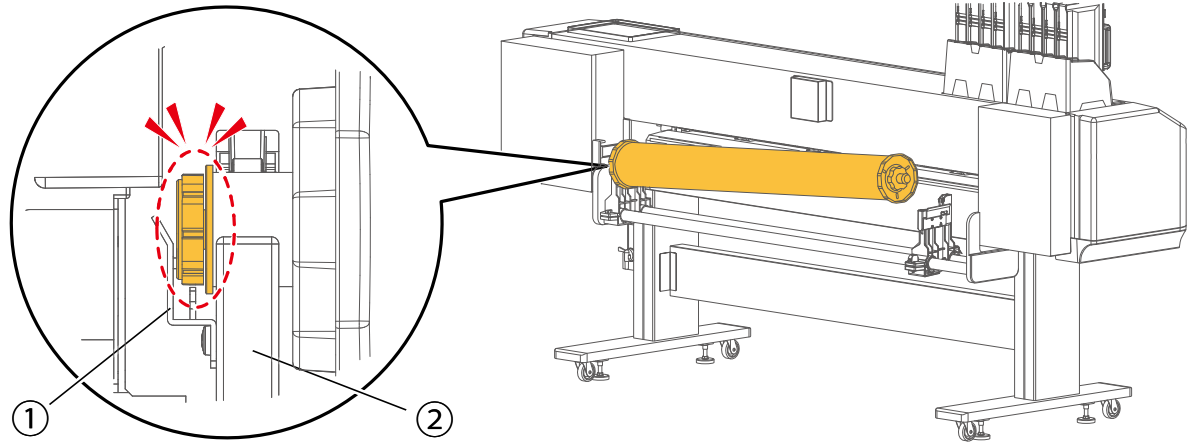
- 1 右側のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて、緩める。



2 メディアを左側のロール紙受けに取り付ける。

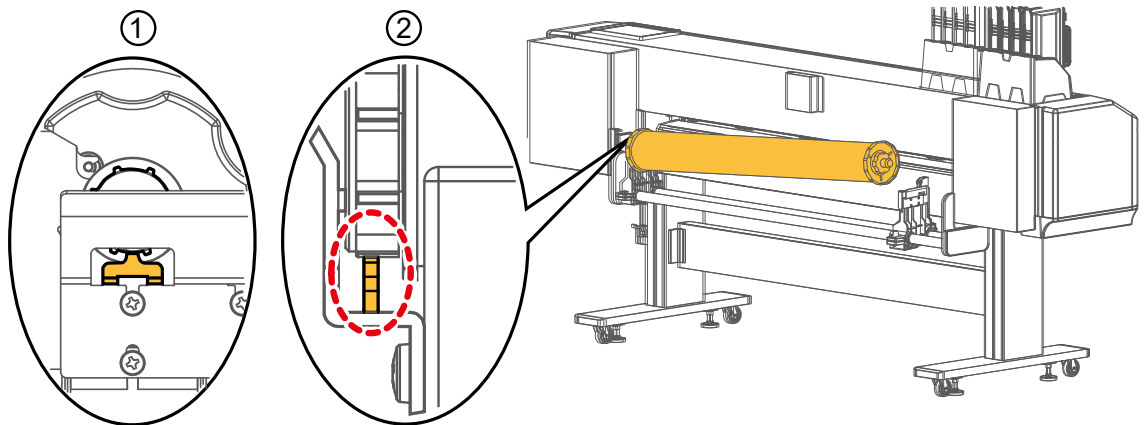
以下の手順で、ゆっくりと丁寧に取り付けてください。

- a. フランジの先を、ロール軸ガイド (①) とロール紙受け (②) の間にセットする。



- b. トルクを設定した場合は、続けて下記を確認する。

- ①: 真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていること。
- ②: 背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていること。



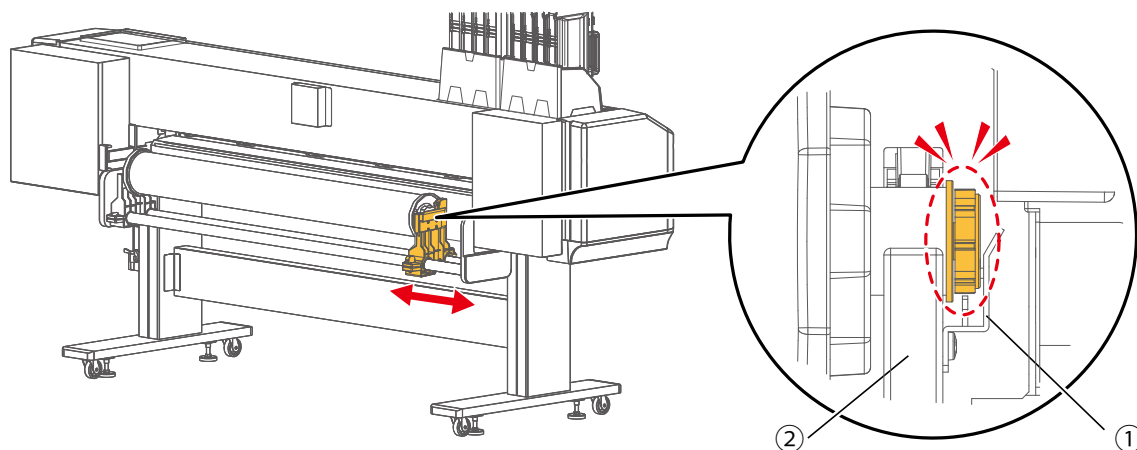
Important!

- メディア取り付けの際に強い衝撃を与えると、部品が破損するおそれがあります。
- ロール紙受け (左) を動かす場合は、左端から 450mm 以上右に動かさないでください。メディアの検出ができなくなります。

3 メディアを右側のロール紙受けに取り付ける。

以下の手順で、ゆっくりと丁寧に取り付けてください。

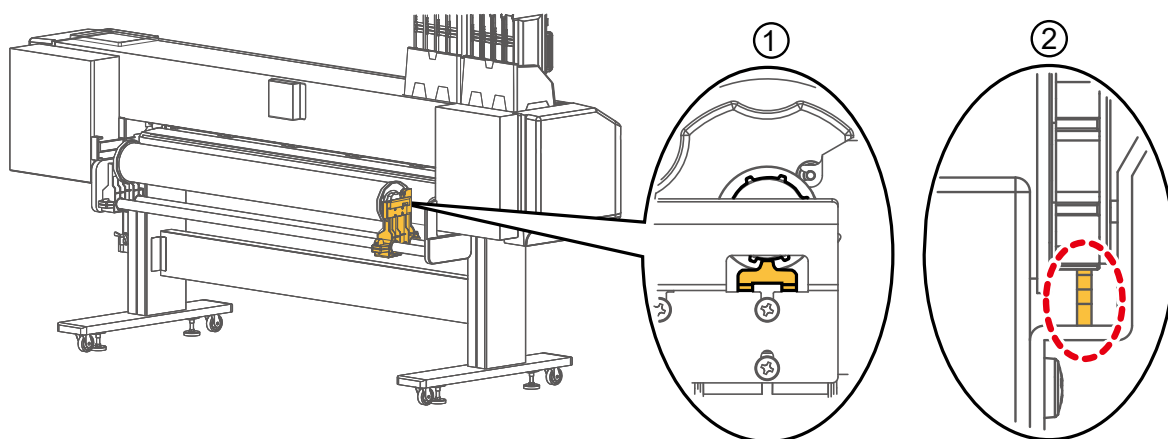
- a. 右側のロール紙受けを、メディアに合わせて移動させる。
- b. フランジ先を、下のイラストのようにロール軸ガイド (①) とロール紙受け (②) の間にセットする。



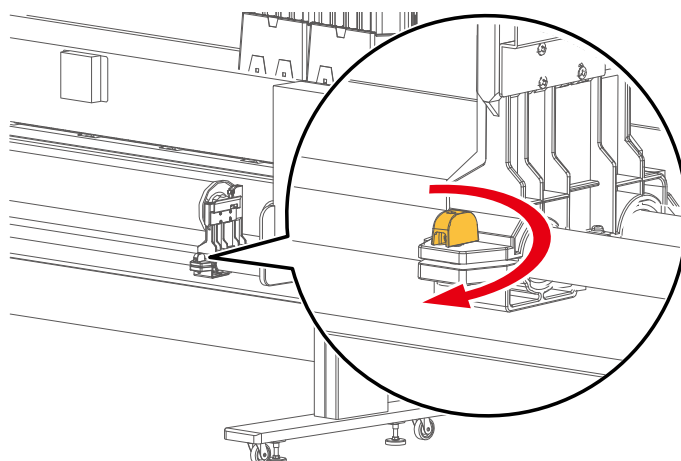
Important!

メディアの取り付け時に強い衝撃を与えると、部品が破損するおそれがあります。

- c. トルクを設定した場合は、続けて下記を確認する。
 - ①: 真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていること。
 - ②: 背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていること。

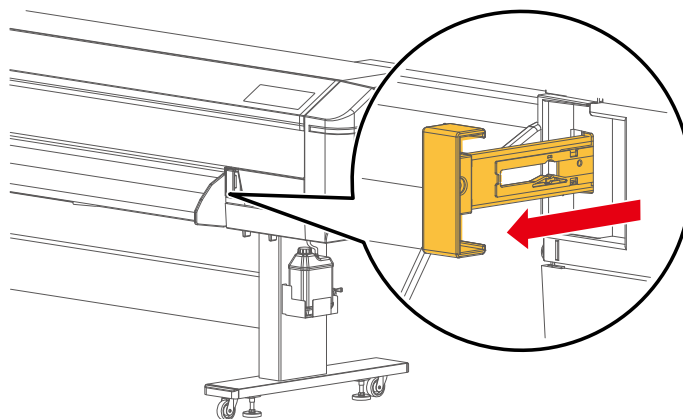


4 ロール紙受け（右）のノブボルトを時計回りに回転させて、締める。



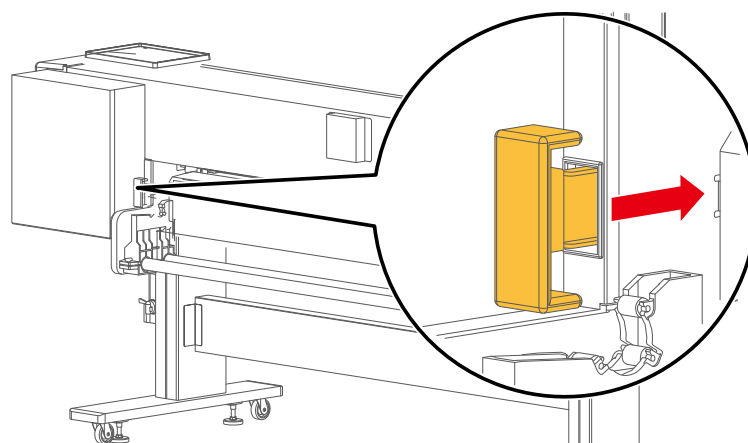
Step4. プリンターにメディアをセットする

- 1 プリンターの電源がオンになっていることを確認する。
- 2 メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げる。



メディアセットレバーは、プリンター背面からも操作できます。

- 奥に押し込むと、加圧アームが上がります。



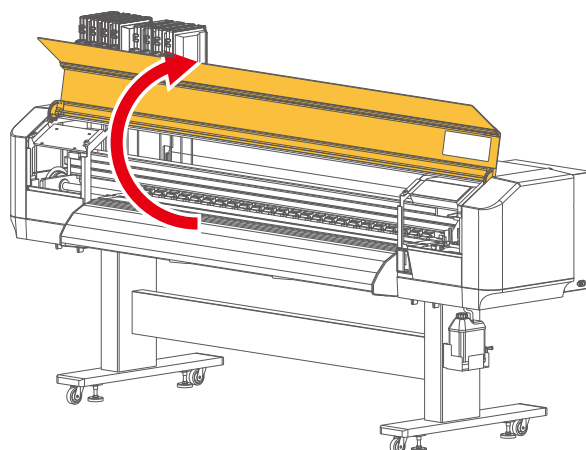
Note

メディアセットレバーは、「通常」と「強」の2段階に加圧力を変更できます。

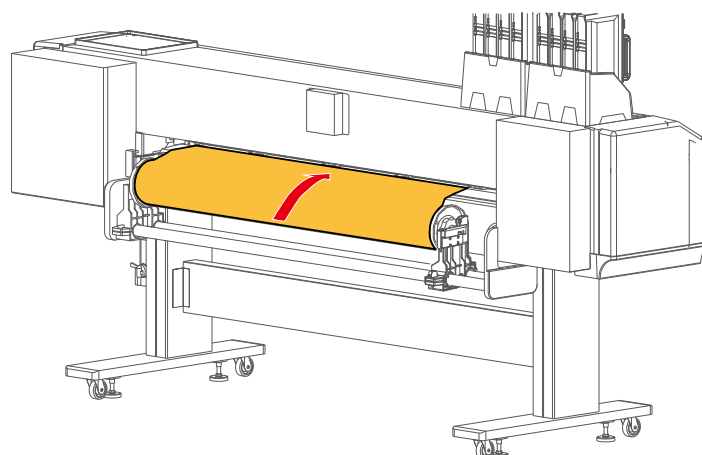
- 正面側のメディアセットレバーは一番奥まで押し込むと「強」となります。
- 背面側のメディアセットレバーは一番手前まで引くと「強」となります。

→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65

3 フロントカバーを開ける。



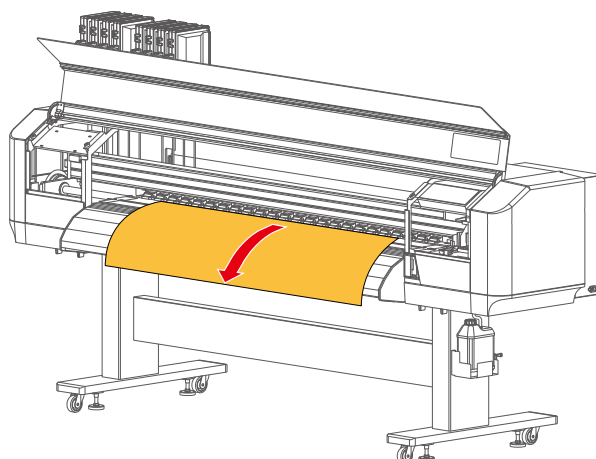
4 メディアを給紙スロットに差し込む。



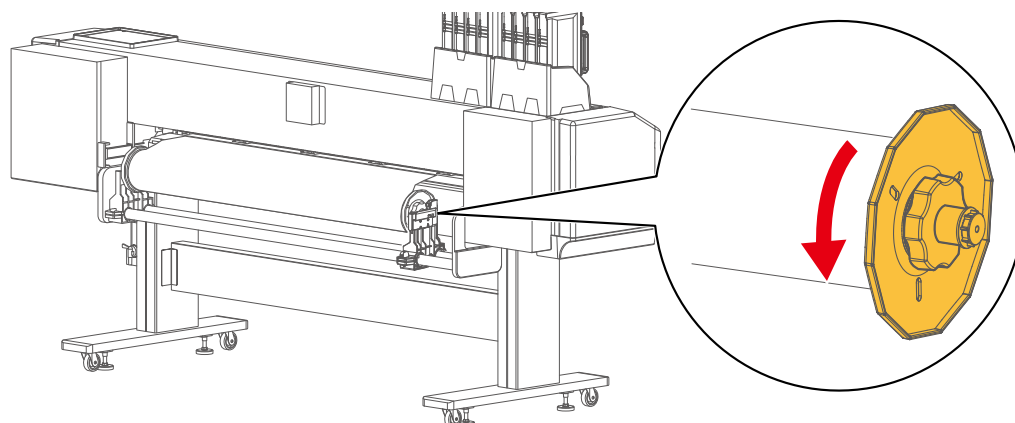
 Note

メディア端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。

5 正面側の給紙スロットから、メディアを約 1m 引き出す。



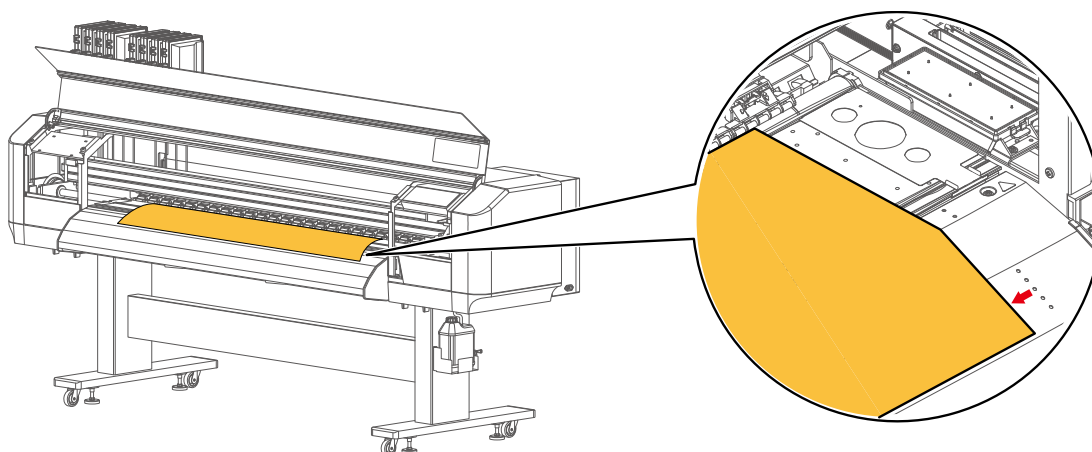
- 6 メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してメディアを少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除く。



Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けてプリンター背面側に落ちることがあります。

- 7 メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入っていないことを確認する。



Important!

メディアセット目安よりも右側にメディアがある場合、印刷品質に影響するおそれがあります。

- 8 必要に応じて、加圧アームの圧力を個別に変更する。

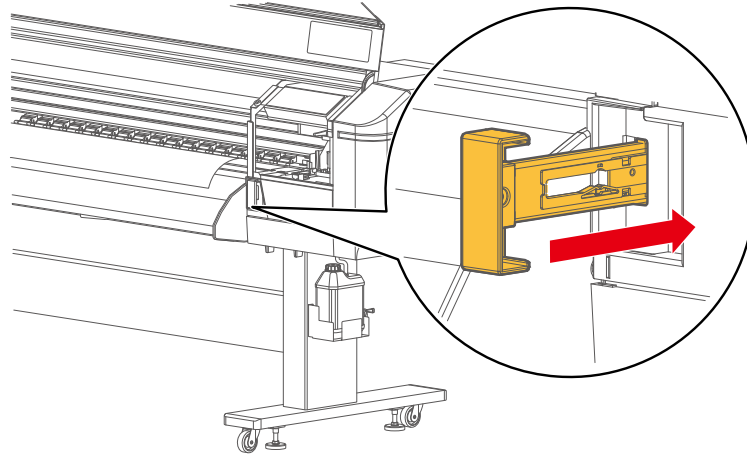
→ 「加圧アームの圧力を個別に変更する」 P.66

Note

通常は出荷時のままの加圧力で使用します。薄いメディアやコシのないメディアを印刷する場合は、加圧力を個別に弱めてください。

Step5. メディアセット後の手順

- 1 メディアセットレバーを押して、加圧アームを下ろす。



Note

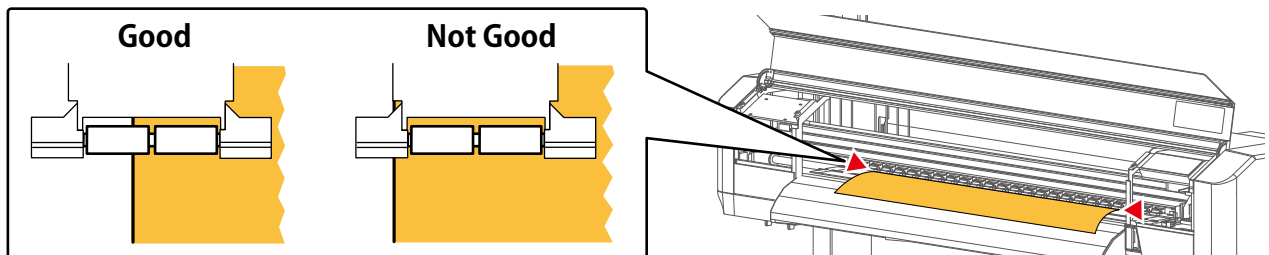
メディアセットレバーは、2段階（通常 / 強）の圧力に変更することができます。通常のご使用では、手前側のカチッと手ごたえがするところで止め、「通常」の圧力にします。

→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65

- 2 メディアの両端が加圧アームのローラーに押さえられていることを確認する。

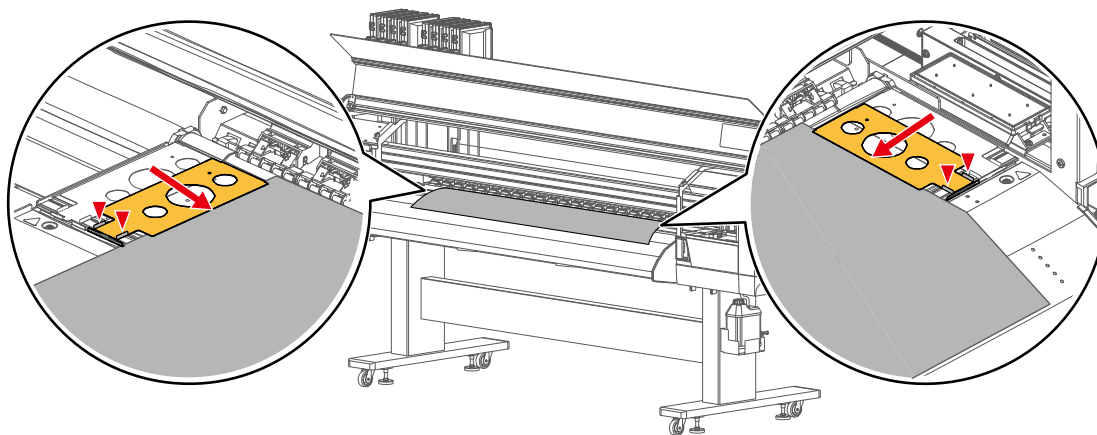
- イラストの「Not Good」に当てはまる場合は、メディアセットレバーを一番手前まで引いて加圧アームを上げてから左右のロール紙受けの位置を変更してください。メディア両端で確認してください。

→ 「Step3. ロール紙受けにメディアを取り付ける」 P.46



3 メディアの両端にエッジホルダーをセットする。

- エッジホルダーの手前にあるつまみを持ちあげると、エッジホルダーの中央が浮きます。エッジホルダーの中央を浮かせながら、エッジホルダーをメディアの端に被せるように動かしてください。



Note

セットするメディアに合わせて、エッジホルダーの取り付け方を変更してください。

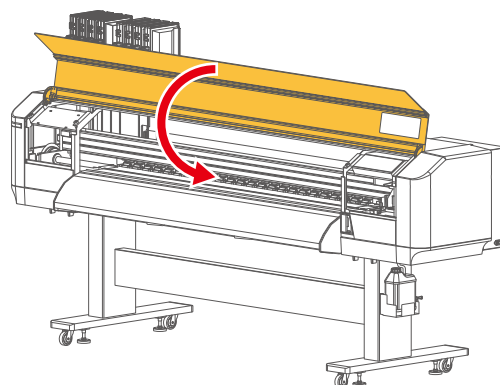
→ 「メディアに合わせてエッジホルダーの向きを変更する」 P.64

Important!

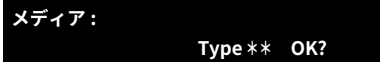
初期設定では、メディアの端から 6 mm の部分から印刷します。エッジホルダーの左右を入れ替えて取り付けした場合、エッジホルダーとメディアの重なり部分がインクで汚れるおそれがあるため、サイドマージンを 11mm 以上に設定してください。

→ [セッテイ] P.115 > [サイドマージン] P.118

4 フロントカバーを閉じる。



5 [△]/[▽]キーで使用するメディア設定 Type を選ぶ。



メディア:
Type ** OK?

- 登録済みメディアをセットした場合：登録したメディア設定 Type を選択します。
- キー操作がないまま 30 秒経過すると、自動でメディア検出が開始されます。

Note

メディア設定 Type 名は、MSM から変更することができます。

→ **MUTOH Satus Monitor 取扱説明書「メディア設定名編集」**

6 [Enter] キーをタップしてメディア検出を開始する。

メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まり（線の欠け）があったときは、プリントヘッドのクリーニングを実施してください。

ノズルチェックをする

ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

ノズルチェックの種類

ノズルチェック	メンテナンスメニューの「ノズル選択」で設定したノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。 → [メンテナンス] P.107 > [ノズルセンタク] P.108
ノズルチェック F	すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。

1 メディアをセットする。

→ [「メディアのセット方法」 P.43](#)

2 [インサツデキマス] 表示中に [<] キーをタップする。

下記が表示されます。

ノズルチェック F
カイン → Enter

3 [Enter] キーをタップする。

ノズルチェックパターン F が印刷されます。

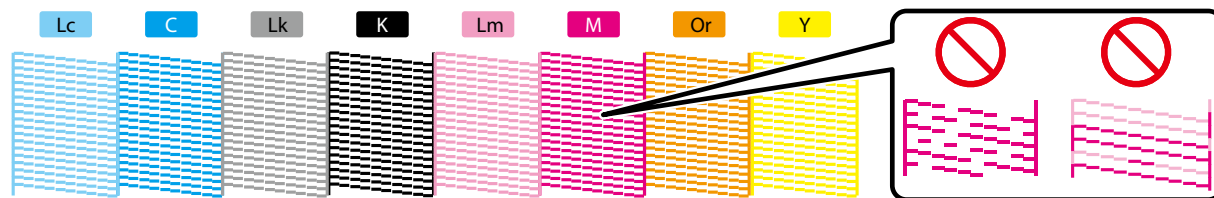
Note

パネル設定メニューから、ノズルチェックの種類を選んで実行できます。

1. [Home] キーをタップする。
2. [V] キーで [メニュー 3 テストインサツ] を選び、[>] キーをタップする。
- [テストインサツ 1 ノズルチェック] と表示されます。
3. [^]/[V] キーでノズルチェックの種類を選び、[Enter] キーをタップする。
- ノズルチェックパターンが印刷されます。

4 パターンを確認する。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「ヘッドクリーニングをする」P.58に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

ヘッドクリーニングをする

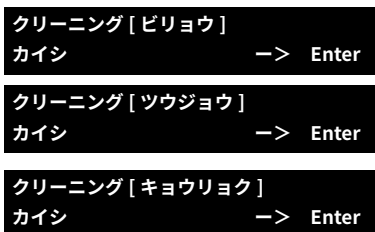
ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ノズルチェックの印刷結果によって使い分けてください。

ヘッドクリーニングモード

クリーニング「微量」	10 ノズル程度までの詰まりがある場合に使用します。少量のインクを消費します。
クリーニング「通常」	10 ノズル以上の詰まりがある場合に使用します。
クリーニング「強力」	クリーニング「通常」を実施してもノズルの目詰まりが解消しないときに使用します。クリーニング「通常」より多くのインクを消費します。

1 [インサツデキマス] 表示中に [>] キーをタップする。

2 [^] / [v] キーで実行するクリーニングモードを選び、[Enter] キーをタップする。



クリーニングが始まります。



Note

パネル設定メニューからもヘッドクリーニングを実行できます。

1. [Home] キーをタップする。
2. [v] キーで [メニュー 2 メンテナンス] を選び、[>] キーをタップする。
- [メンテナンス 1 クリーニング [ビリョウ]] と表示されます。
3. [^] / [v] キーでヘッドクリーニングの種類を選び、[Enter] キーをタップする。

3 もう一度ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりがないかどうかを確認する。

→ 「ノズルチェックをする」 P.56

- ノズルの目詰まりが解消しない場合は、クリーニング「通常」を2～3回繰り返してください。クリーニング「通常」を繰り返しても解消しない場合は、クリーニング「強力」を行ってください。
- クリーニング「強力」を2～3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、別の方法でクリーニングしてください。

→ 「ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき」 P.141

印刷精度の調整

はじめて印刷をするとき、メディアの種類を変更したときは、次の項目を調整してください。

- 双方向印刷のドット着弾位置を調整する

→ 「調整印刷」 P.94

- メディアの送り量を補正する

→ 「メディア送り補正」 P.100

メディアに合わせた設定

使用するメディアや使い方によって、プリンターの設定を変更してください。

- **メディアがプリントヘッドと擦れて汚れるとき**
 - 「プリントヘッドの高さについて」 P.61
- **薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき**
 - 「メディアに合わせてエッジホルダーの向きを変更する」 P.64
 - 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65
 - 「加圧アームの圧力を個別に変更する」 P.66

Note

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めることも、シワの防止に効果があります。

→ [メディアセッテイ] P.92 > [キュウチャクファン] P.93

プリントヘッドの高さについて

通常はメディアの厚さに応じて、「Low1」、または「Low2」のヘッド高さで使用してください。

メディアとプリントヘッドの距離が近いほど画質が安定します。

Important!

- メディアの状態や印刷条件によるシワの発生によっては、メディアがプリントヘッドと擦れて汚れることがあります。そのようなときは以下をお試しください。
 - プリヒーター、プラテンヒーターの設定温度を下げる
 - [\[メディアセッテイ\] P.92](#) > [\[ヒータ\] P.93](#) > [\[プリヒータ\] P.93](#)、[\[プラテンヒータ\] P.93](#)
 - シワが発生した部分に対して、加圧アームの加圧力を個別に弱める / キャンセルする
 - [「加圧アームの圧力を個別に変更する」 P.66](#)
- プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず「調整印刷」を行ってください。
 - [「調整印刷」 P.94](#)
- 印刷中にフロントカバーを開け、ヘッド高さを切り替えないでください。ヘッド高さを切り替えると、調整が変わってしまい、印刷品質が保証できません。

ヘッド高さと推奨メディア厚さの関係は次の表を参照してください。

むやみにプリントヘッドを高くすると、メディアとプリントヘッドの距離が広がることで、ミスト化したインクがノズルやメディア、機体内部に付着し、印刷品質の低下や部品の破損を引き起こすことがあります。

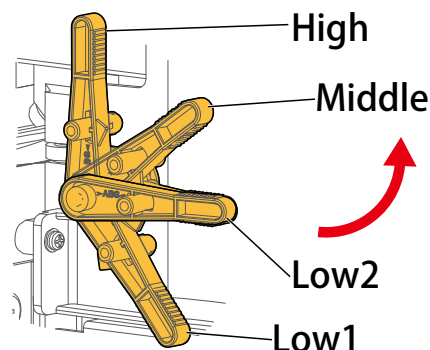
ヘッド高さ	推奨メディア厚さ (1.0 mm 以下)	通紙可能な最大 メディア厚さ	説明
Low1	～ 0.3 mm	0.3 mm	通常はこの高さで使用してください。
Low2	0.3 mm ～ 0.8 mm	0.8 mm	メディア厚さが 0.3 mm ～ 0.8 mm の場合、または Low1 でヘッド擦れが発生する場合に使用してください。
Middle	0.8 mm ～ 1.0 mm	1.3 mm	メディア厚さが 0.8 mm ～ 1.0 mm の場合、または Low2 でヘッド擦れが発生する場合に使用してください。
High	-	2.8 mm	Middle でヘッド擦れが発生する場合以外は、使用しないでください。 メディアとプリントヘッドとの距離が遠いため、印刷中に発生するミスト化したインクにより、下記の現象が発生します。 <ul style="list-style-type: none"> • ノズルの目詰まり • ミスト付着によるメディアのインク汚れ • ミスト付着による機体内部のインク汚れ

ヘッド高さを変更する

1 フロントカバーを開ける。

2 レバーを動かして、ヘッド高さを切り替える。

- **High:** プリントヘッドの高さが最も高くなります。
- **Middle:** メディア厚さが 0.8 mm ~ 1.0 mm の場合、または Low2 でヘッド擦れが発生する場合に使用してください。
- **Low2:** メディア厚さが 0.3 mm ~ 0.8 mm の場合、または Low1 でヘッド擦れが発生する場合に使用してください。
- **Low1:** 初期状態のプリントヘッド高さです。プリントヘッドの高さが最も低くなります。



3 フロントカバーを閉じる。

Important!

プリントヘッドの高さとクリーニングワイパーの組み合わせがあります。プリントヘッドの高さを次のように変更した場合は、正しい組み合わせのクリーニングワイパーに交換してください。

- 「Low1」、「Low2」、「Middle」から「High」に変更したとき
- 「High」から「Low1」、「Low2」、「Middle」に変更したとき

→ 「ヘッド高さに合わせてクリーニングワイパーを交換する」 P.63

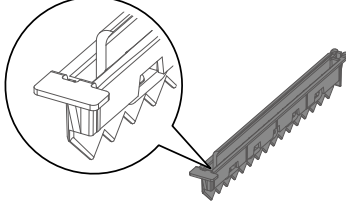
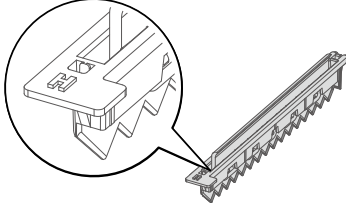
4 「調整印刷」を実施する。

→ 「調整印刷」 P.94

ヘッド高さに合わせてクリーニングワイパーを交換する

Important!

- クリーニングワイパーは2種類（黒 / グレー）あります。
- プリントヘッドの高さとクリーニングワイパーの組み合わせがあります（下表参照）。正しい組み合わせでない場合、正常にクリーニングすることができません。プリントヘッドの高さを変更した場合は、組み合わせを確認し、必要に応じてクリーニングワイパーを交換してください。
- 出荷時は黒のクリーニングワイパーが取り付けられています。

プリントヘッドの高さ	クリーニングワイパーの種類
「Low1」、「Low2」、「Middle」の場合	黒（出荷時装着） 
「High」の場合	グレー（同梱品） 

交換手順については、「[クリーニングワイパーの交換](#)」P.158 をご参照ください。

メディアに合わせてエッジホルダーの向きを変更する

エッジホルダーはセットするメディアによって、取り付け方が異なります。取り付け方を変更する場合は、プラテンからエッジホルダーを取り外してから、左右を入れ替えて取り付け直します。

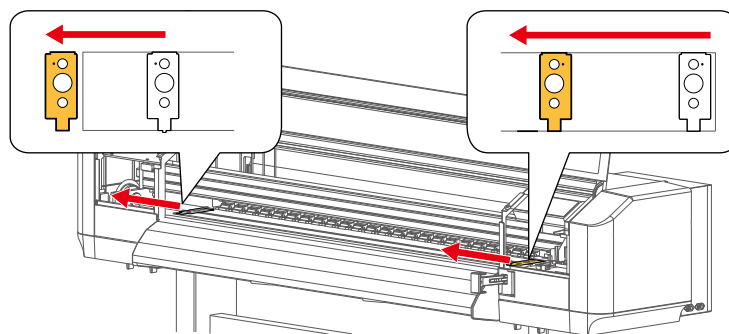
- 通常の実り付け方
エッジホルダー上の穴が外側に位置します。メディアはエッジホルダーによって浅く押さえられます。



- 薄いメディアやコシのないメディアを印刷する場合の実り付け方
下図のようにエッジホルダーの左右を入れ替えてセットしてください。エッジホルダー上の穴が内側に位置します。メディアはエッジホルダーによって広く押さえられます。



- 1 フロントカバーを開ける。
- 2 左右のエッジホルダーをプラテンに沿って、メンテナンスカバー L 側に移動する。
メンテナンスカバー L 側のプラテンの端からエッジホルダーを取り外します。



- 3 左右を入れ替えて、エッジホルダーをセットする。
メンテナンスカバー L 側から、プラテンの溝に合わせてエッジホルダーを取り付けます。

Important!

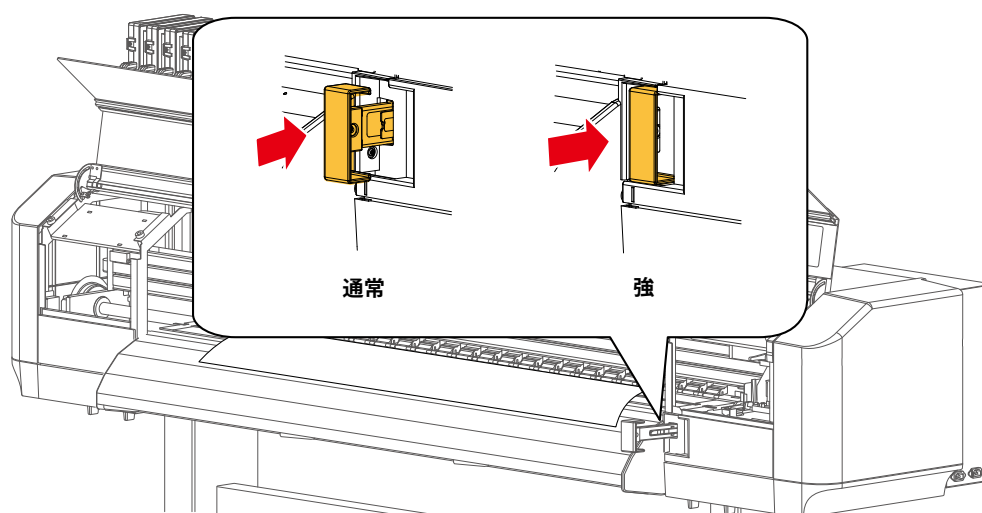
初期設定では、メディアの端から 6 mm の部分から印刷します。エッジホルダーの左右を入れ替えて取り付けた場合、エッジホルダーとメディアの重なり部分がインクで汚れるおそれがあるため、サイドマージンを 11mm 以上に設定してください。

→ [セッテイ] P.115 > [サイドマージン] P.118

メディア全体にかかる圧力を変更する

メディア全体にかかる圧力を変更する場合は、メディアセットレバーを使用します。メディアセットレバーは2段階（通常 / 強）の圧力に変更することができます。

- **通常**：一般的なメディアで使用する場合は「通常」で加圧します。レバーを押して、手前のセット位置で止めます。
- **強**：重量のあるメディア（ターポリンなど）の印刷時に圧力を強くしたい場合に使用します。レバーを奥まで押し込みます。



Important!

加圧アームの圧力を変更した場合は、必ず「メディア送り補正」を実施してください。

→ 「メディア送り補正」 P.100

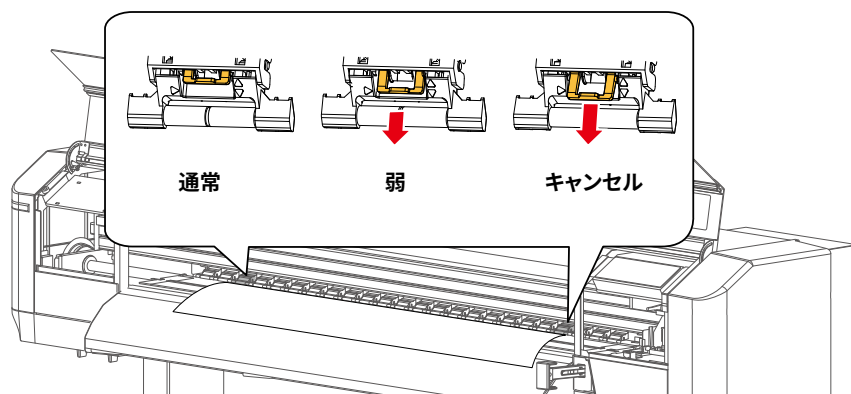
加圧アームの圧力を個別に変更する

薄いメディアやコシのないメディアに印刷する場合、プリントヘッドが擦れてメディアが汚れることがあります。そのような場合は、メディアを押さえている加圧アームの圧力を個別に減らすか、無効にすると改善することがあります。

加圧アームの圧力を個別に変更する場合は、スライドロックレバーを使用します。

スライドロックレバーは、3段階（「通常」、「弱」、「キャンセル」）の圧力に変更することができます。

- **通常**：一般的なメディアに印刷する場合は「通常」で加圧します。出荷時の状態です。
- **弱**：「通常」より圧力が弱くなります。
- **キャンセル**：メディアセットレバーを押して加圧アームを下げても、個別に設定した加圧アームは上がった状態になります。



Important!

加圧アームの圧力を変更した場合は、必ず「メディア送り補正」を実施してください。

→ 「メディア送り補正」 P.100

Note

- 薄いメディアやコシのないメディアは、印刷時にシワになりやすい傾向があります。シワがプリントヘッドに接触して、メディアが汚れる原因となります。メディア両端の加圧アームを「キャンセル」にするとシワを防ぐ効果があります。
- はじめにメディア両端を押さえている加圧アームで試して改善するかどうかを確認してください。改善がみられない場合は「弱」や「キャンセル」にする加圧アームの数を増やして改善するかどうかを確認してください。

1 フロントカバーを開ける。

2 用途に応じて、メディアセットレバーとスライドロックレバーの位置を変更する。

スライドロックレバーは、押し下げながら位置を変更します。

- 「スライドロックレバーを「通常」にする場合」 P.67
- 「スライドロックレバーを「弱」にする場合」 P.68
- 「スライドロックレバーを「キャンセル」にする場合」 P.69

3 フロントカバーを閉じる。

4 「メディア送り補正」を実施する。

→ 「メディア送り補正」 P.100

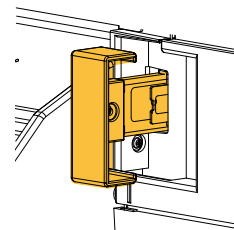
スライドロックレバーを「通常」にする場合

Important!

メディアセットレバーを一番手前に引いた（加圧アームが上がっている）状態で、スライドロックレバーを「通常」もしくは「弱」に変更すると故障の原因となります。次の操作手順を守って圧力を変更してください。

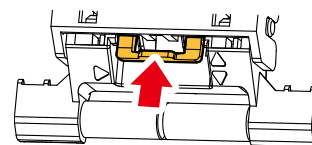
- 1 メディアセットレバーを「通常」のセット位置にする。

→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65



- 2 スライドロックレバーを「通常」にする。

- 奥まで押し込みます。



Note

メディア全体にかかる加圧アームの圧力を「強」にしたい場合は、スライドロックレバーを変更したあとにメディアセットレバーを奥まで押し込んで圧力を変更してください。

→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65

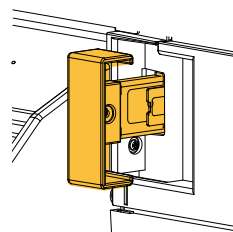
スライドロックレバーを「弱」にする場合

Important!

メディアセットレバーを一番手前に引いた（加圧アームが上がっている）状態で、スライドロックレバーを「通常」もしくは「弱」に変更すると故障の原因となります。次の操作手順を守って圧力を変更してください。

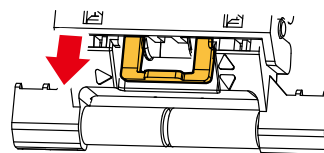
- 1 メディアセットレバーを「通常」のセット位置にする。

→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65



- 2 スライドロックレバーを「弱」にする。

「通常」より一段手前のカチッとはまる位置に変更します。



Note

メディア全体にかかる加圧アームの圧力を「強」にしたい場合は、スライドロックレバーを変更したあとにメディアセットレバーを奥まで押し込んで圧力を変更してください。

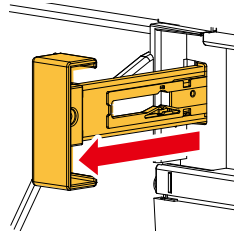
→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65

スライドロックレバーを「キャンセル」にする場合

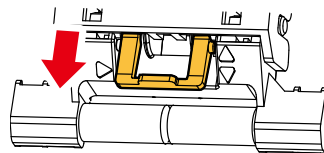
Important!

メディアセットレバーを「通常」もしくは「強」にセットした（加圧アームが下がっている）状態で、スライドロックレバーを「キャンセル」に変更すると故障の原因となります。次の操作手順を守って圧力を変更してください。

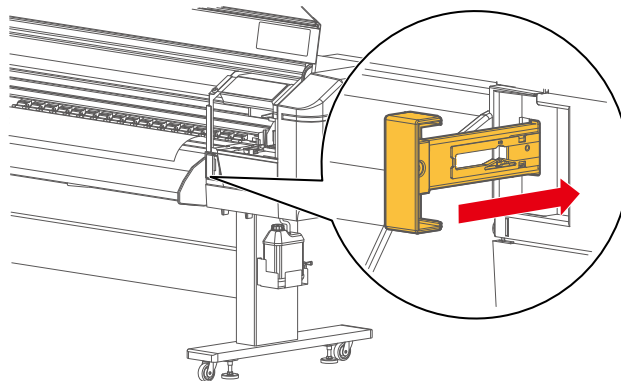
- 1 メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げる。



- 2 スライドロックレバーを「キャンセル」にする。
 - 一番手前まで引き出します。



- 3 メディアセットレバーを押して、加圧アームを下ろす。



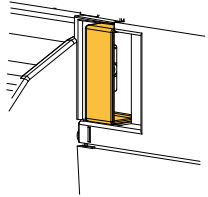
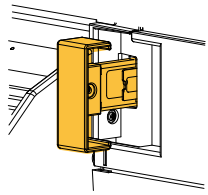
Note

メディアセットレバーは、2段階（通常 / 強）の圧力に変更することができます。通常のご使用では、手前側のカチッと手ごたえがするところで止め、「通常」の圧力にします。

→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65

◎ スライドロックレバーに関する制限について

メディアセットレバーを「強」にセットした場合、スライドロックレバーで変更できる圧力は「通常」か「キャンセル」のみです。「弱」にセットしても、圧力を弱くすることはできません。

メディアセットレバー	スライドロックレバー
<p>強</p> 	通常 / キャンセル
<p>通常</p> 	通常 / 弱 / キャンセル

🗨 Important!

メディアセットレバーを一番手前に引いた（加圧アームが上がっている）状態で、スライドロックレバーを「通常」もしくは「弱」に変更すると故障の原因となります。

印刷を開始する

純正 RIP ソフトウェア「VerteLith」を使った場合の基本的な印刷を説明します。

VerteLith のセットアップおよび詳しい操作方法については、別冊の「VerteLith ユーザーマニュアル」を参照してください。

画像を印刷する

1 VerteLith を起動し、使用するプリンターに「XPJ-1681SR-P」を選ぶ (①)。

- 「XPJ-1681SR-P」が表示されます (②)。



Note

プリンターの登録方法は、「VerteLith ユーザーマニュアル」をご参照ください。

2 印刷したい画像ファイルを追加する。

- ホールドタブの [**ジョブ追加**] アイコン (③) をクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示されます。



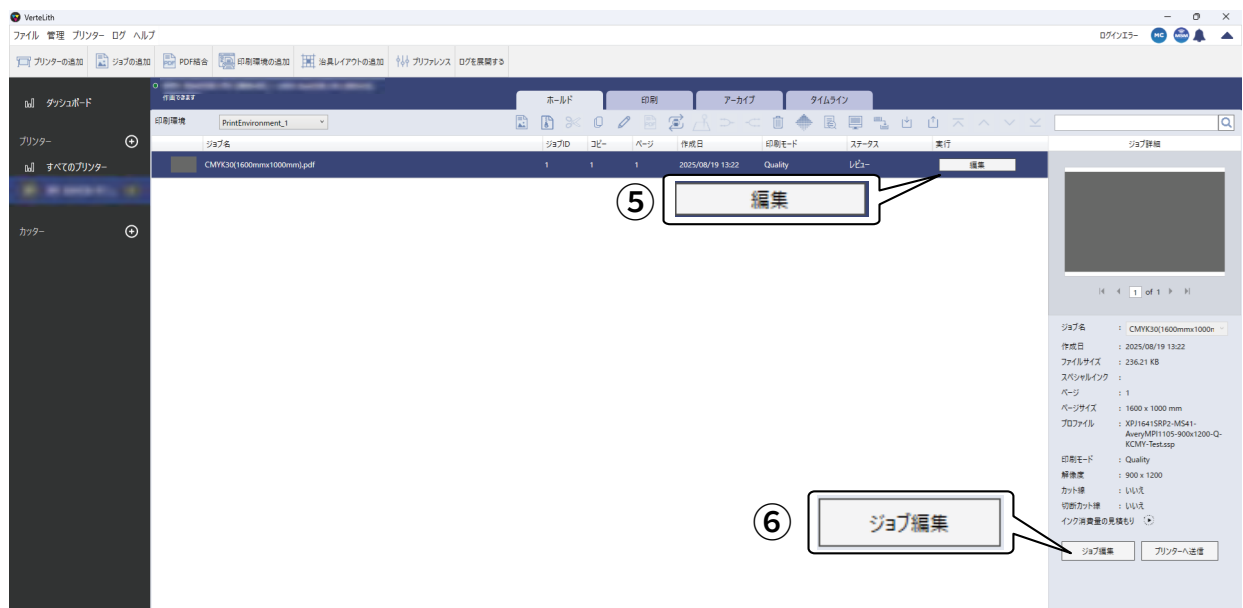
- ダイアログから追加したい画像ファイルを選択して [**OK**] をクリックすると、ホールドタブ内にジョブが追加されます (④)。複数のファイルも追加できます。



Note

ホールドタブにファイルをドラッグ&ドロップでも追加できます。

3 ジョブを選択して、[**編集**] (⑤) か [**ジョブ編集**] (⑥) をクリックする。

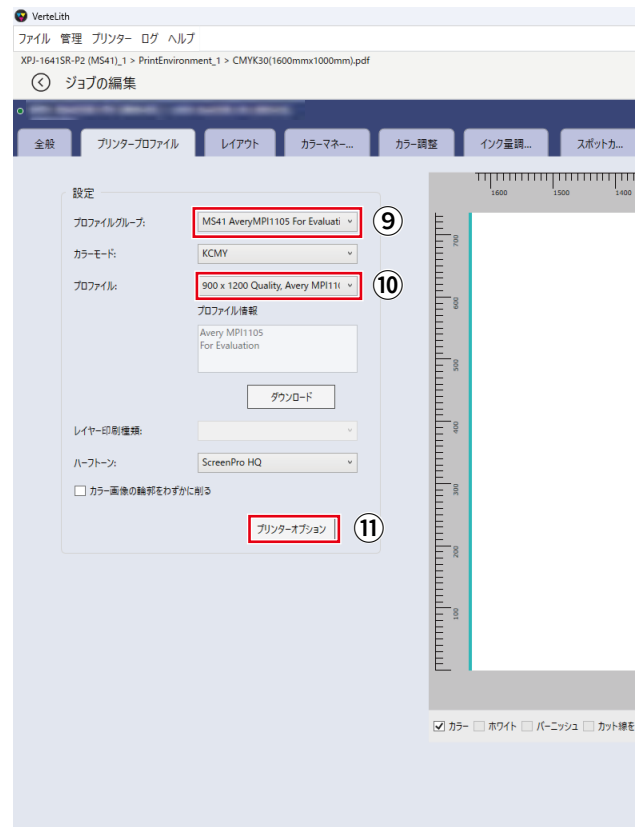


4 [ジョブの編集] (7) が表示されたら、プリンタープロファイルタブ (8) をクリックする。



5 基本の印刷設定をする。

- プロファイルグループを選択 (9)
 - 使用しているインクに合わせて選択します。
- プロファイルを選択 (10)
 - 印刷に使用するメディア種類、印刷スピードに合わせて選択します。
- プリンターオプション (11)
 - 詳細な印刷設定ができます(デフォルトでも印刷できます)。



6 [プリンターへ送信] (12) をクリックする。

- ジョブは印刷タブに移動します。RIP 処理に続いて印刷を開始します。



- 送信中は、ジョブのステータス（送信中、RIP 処理待ち、RIP 処理中、印刷待ち）が表示されます (13)。



- 印刷終了後、ホールドタブに再びジョブが表示されます (14)。



ジョブの停止 / 再開 / キャンセル

- 1 **[キュー停止]** アイコン (①) をクリックすると、RIP 処理後のジョブが「印刷待ち」状態になります (送信中のジョブの一時停止はできません)。



- 2 **[キュー再開]** アイコン (②) をクリックすると、「印刷待ち」のジョブの印刷が再開します。



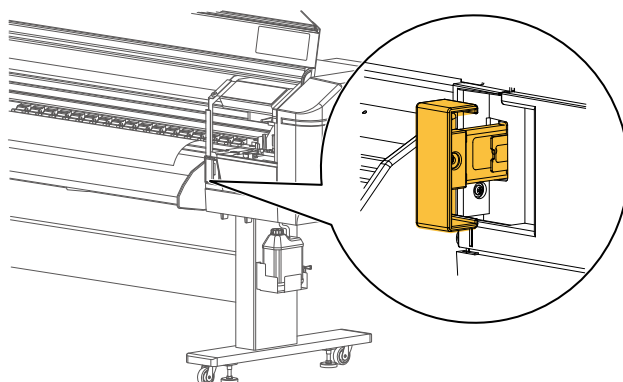
- 3 **[キャンセル]** アイコン (③) をクリックすると、ジョブの印刷がキャンセルされます。



プリンターコントロールパネルからの各種操作

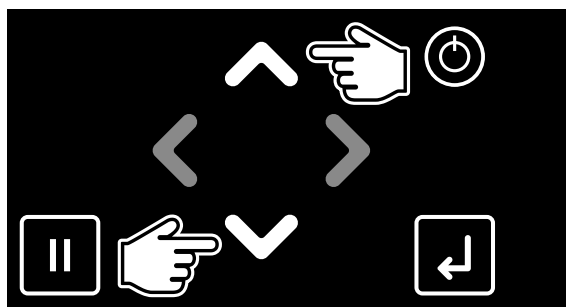
メディア送り

- 1 加圧アームが下がっていることを確認する。



- 2 [▲]キーまたは[▼]キーをタップする。

- [▲]キー：メディアをバックフィードします。
- [▼]キー：メディアをフロントフィードします。



Note

キーをロングタッチすると、高速フィードします。

- 3 メディアを任意の位置まで送ったら、キーを離す。

印刷の一時停止／再開

1 印刷中に、[Cancel] キーをタップする。

印刷が一時停止します。



Note

本操作ではプリンターに送信された印刷データは削除されません。印刷を中止してデータを削除する場合は、以下を参照してください。

→ 「印刷のキャンセル」 P.78

2 印刷を再開するには、[Cancel] キーをもう一度タップする。

インサツ イチジテイシチュウ
インサツ キャンセル → Enter

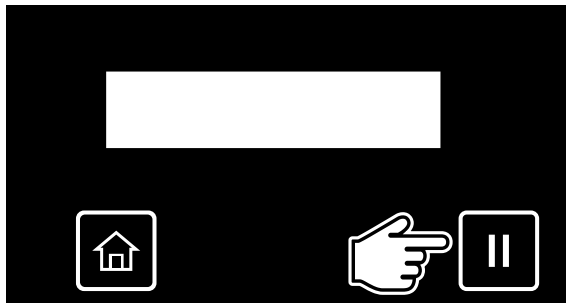
Important!

印刷を一時停止させた場合、印刷品質は保証できません。

印刷のキャンセル

1 印刷中に、[Cancel] キーをタップする。

印刷が一時停止します。



Note

再度 [Cancel] キーをタップすると、印刷を再開します。

2 [Enter] キーをタップして印刷をキャンセルする。

- 一度キャンセルすると、このジョブは再開できません。
- プリンターに送信された印刷データが削除されます。

インサツ イチジテイシチュウ
インサツ キャンセル → Enter

Important!

MSM のリモートパネルでも、印刷をキャンセルできます。

ウォームアップ中に印刷を開始する

⚠ 注意

- ❌ ディスプレイに [ウォームアップ° チュウ] を表示中や印刷中は、メディアガイドに触れないでください。やけどをするおそれがあります。

- 1 製品がウォームアップ中であることを確認する。

ウォームアップチュウ

- 2 印刷データを送信する。

- a. [ウォームアップ ° スキップシマスカ? イイエ] と表示されます。
- b. [ハイ] を選び、[Enter] キーをタップすると印刷を開始します。

ウォームアップ° スキップシマスカ?

ハイ

📢 Important!

ウォームアップ中に印刷を開始した場合、印刷品質は保証できません。

📝 Note

ウォームアップ中に印刷を開始した場合も、ウォームアップは設定温度まで継続されます。

メディアのカット

- 1 印刷が終了していることを確認し、[Cancel] キーをタップする。



- 2 [Enter] キーをタップする。

メディアカット
カイン → Enter

余白分のメディアを送り出し、メディアをカットをします。

Note

- 新しいメディアをセットした場合にメディアの先端がまっすぐでないときは、先端をカットしてください。
- 「メディア検出」メニューが [オフ] に設定されている場合は、自動でカットすることができません。
→ [セッテイ] P.115 > [メディアケンシュツ] P.115
- 「排紙モード」メニューを [オートカット] に設定すると、印刷終了時にメディアが自動的にカットされます。
→ [セッテイ] P.115 > [ハイシモード] P.115
- カッターは消耗品です。定期的に交換してください。
→ 「カッターの交換」 P.155

印刷中にプリンターコントロールパネルでできること





1 次のいずれかのメッセージが表示されているときに、[Home] キーをタップする。



データジュシynchuu
PG: Low1 W: 1625 mm

データカイセキynchuu
PG: Low1 W: 1625 mm

データインサツynchuu
PG: Low1 W: 1625 mm

2 メニューを選び、[>] キーをタップする。

項目	内容
オンドジョウキョウ	<p>印刷中のヒーターの温度状況を確認できます。現在温度と、[] 内に設定温度が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [^]/[v] キー：表示する項目を選択 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示される温度は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。 • 現在温度はウォームアップの完了、未完了にかかわらず常時点減します。 </div>
ヒータ	<p>各ヒーターの設定値を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [^]/[v] キー：設定値を変更 • [Enter] キー：決定 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。 • 変更した内容を選択中のメディア設定 Type に反映することができます。 <p>→ [ホゾン] P.82</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> •  ディスプレイに [ウォームアップ チュウ] を表示中や印刷中は、メディアガイドに触れないでください。やけどをするおそれがあります。 </div>

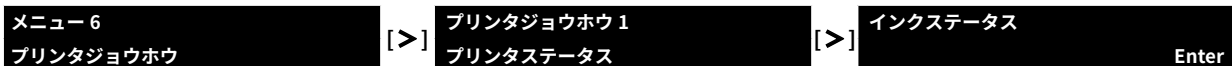
項目	内容
オクリチョウセイチ	<p>メディアの送り量を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [▲]/[▼] キー：設定値を変更 • [Enter] キー：決定 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定値の変更は、印刷完了後は無効になります。 • 変更した内容を選択中のメディア設定 Type に反映することができます。 <p>→ [ホゾン] P.82</p> </div>
ホゾン	<p>下記項目を、選択中のメディア設定 Type に保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリヒーター • プラテンヒーター • アフターヒーター • 送り微調整 <p>[パラメータヲ ホゾンシマスカ? ハイ] を選び、[Enter] キーをタップします。</p>
ジョブステータス	<p>印刷中のデータの情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [▲]/[▼] キー：表示する項目を選択 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • この機能で表示される数値は目安です。厳密な精度を保証するものではありません。 • 印刷データに長さ情報が含まれていない場合は、すべての項目で「0」が表示されます。 </div>
MPS	MPS 機能の状態を表示します。MPS 機能の設定は、MSM から変更できます。

インクの確認と交換

インク残量を確認する

- 1 [Home] キーをタップする。
- 2 「インクステータス」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [>]キー：メニューに入ります。

- 3 [Enter] キーをタップする。
インクの残量が 0% ~ 100% で表示されます。

```
1 2 3 4 : 100/ 90/ 90/ 80/
5 6 7 8 : 100/ 90/ 90/ 80/
```

→ 「インクの交換が近づいたら」 P.84

Note

- インクとスロットとの対応は、「**インクスロット**」 P.26 を参照してください。
- インクに関する各種情報を表示させる場合は、純正品のインクおよびスマートチップカードを使用してください。純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。
- インク残量が 10% で点滅表示している場合、対応しているインクパックに対してスマートチップリカバリーが実行されています。
→ 「**スマートチップリカバリー**」 P.179

インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、プリンターコントロールパネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

1 [Enter] キーをタップする。

- ブザーが停止します。
- 下の表示の場合、Slot1 のインクの交換が近づいています。

[1] S/C インク スクナイ
PG: Low1 W: 1625 mm

2 インクを交換する。

→ 「[インクパックの交換](#)」 P.85

インクパックの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。

ディスプレイに [インクナシ] または、[S/C インクナシ] と表示されます。すみやかにインクを交換してください。

一定時間インクが交換されないと印刷が一時停止します。その場合は新しいインクパックに交換すると、印刷が再開されます。

Important!

- プリンターの電源がオフになっている場合は、インクを交換しないでください。インク残量の検出が正しくできなくなります。
- インクパックを寒い場所から暖かい場所へ移動させた場合は、移動先の環境に馴染ませるため、3 時間以上放置してから使用してください。
- 交換用インクパックがない場合は、空のインクパックをプリンターから取り外さないでください。インクパックを取り外した状態で放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因になります。

! 作業前に、必ず以下をお読みください。

- 「製品の取り扱いについて」 P.12
- 「インクと廃液について」 P.17

インクパックケースの取り外し

1 保護具を着用する。

- 「保護具をつける」 P.130

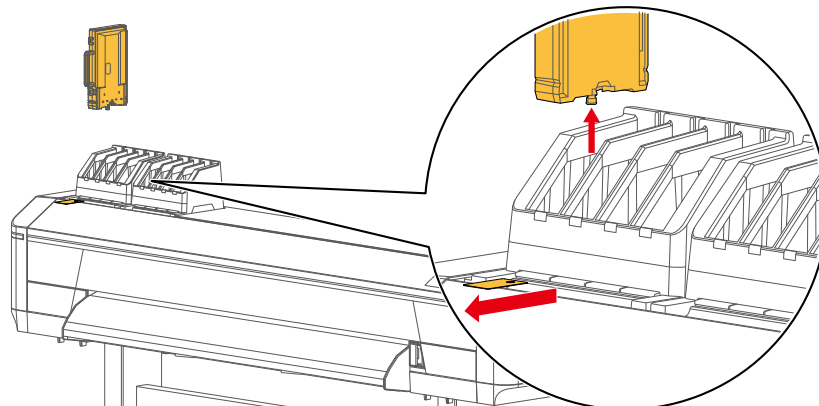
2 [Enter] キーをタップする。

- ブザーが停止します。しばらくしてもインクが交換されない場合、再びブザーが鳴ります。
- 以下の表示の場合、Slot1 のインクの交換が必要です。

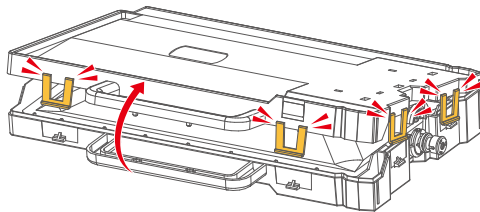
[1] インク ナシ

3 インクを交換する。

交換するインクパックケースと、それに対応するスマートチップカードを取り外します。



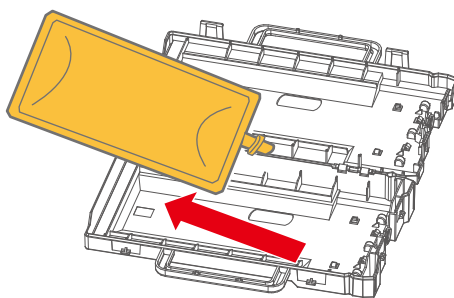
4 インクパッケージの留め具（4 か所）を外し、インクパッケージを開ける。



Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

5 空のインクパックを取り外す。



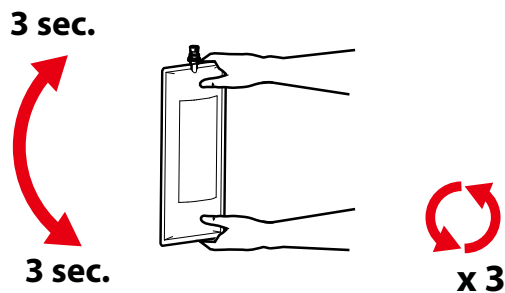
Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

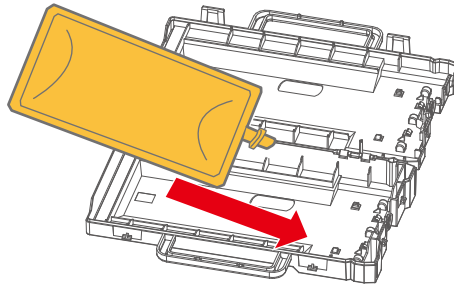
インクパックの取り付け

1 新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんする。

- a. 差し込み口を上に向けて3秒待ちます。
- b. 次に差し込み口を下に向けて3秒待ちます。
- c. 上記を3回繰り返します。

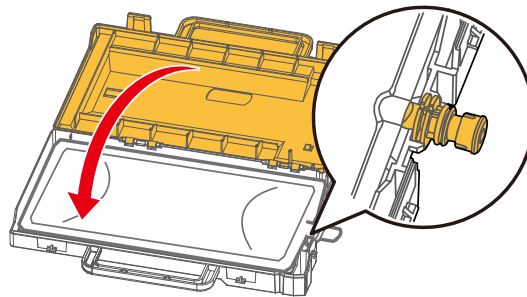


2 インクパックをインクパックケースにセットする。



3 インクパックケースを閉じる。

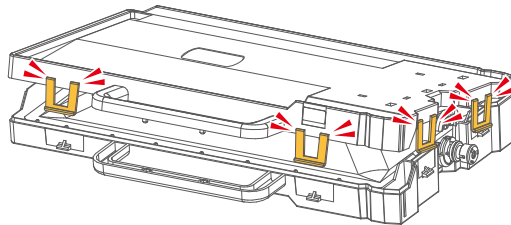
- a. インクパックの口が固定されていることを確認してください。



Important!

固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。

- b. インクパックケースの留め具（4 か所）をしっかりと固定してください。

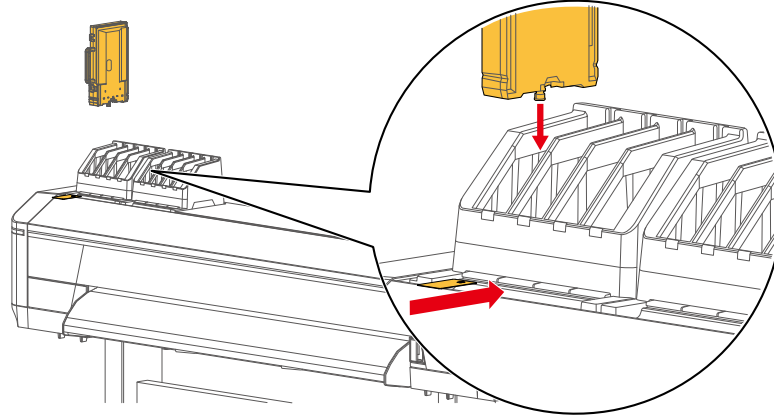


Important!

固定されていない場合、インク漏れの原因となるおそれがあります。

4 インクパッケージとスマートチップカードをインクスロットにセットする。

- a. 本製品のインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。
- b. インクパッケージの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- c. 奥までしっかり差し込んでください。



Important!

インクパッケージが奥まで差し込まれていない場合、インク漏れの原因になります。

3 各種設定

パネル設定メニュー	90
メニュー 1: メディア設定	92
メニュー 2: メンテナンス	107
メニュー 3: テスト印刷	112
メニュー 4: 設定	115
メニュー 5: ロール紙残量管理	122
メニュー 6: プリンタ情報	125

パネル設定メニュー

プリンターの各種設定は、パネル設定メニューを使います。

メニューの操作方法

1 [Home] キーをタップする。

パネル設定メニューが表示されます。

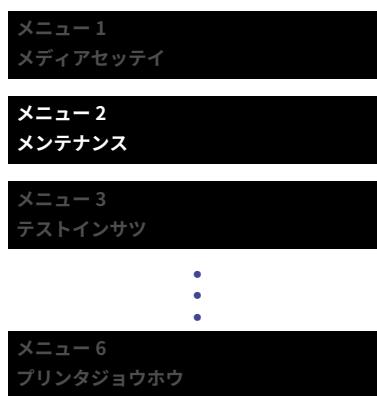


Note

印刷中やデータ受信中（電源ボタン点滅中）は、パネル設定メニューに入れません。

2 メニューを選ぶ。

[▲] キーまたは [▼] キーをタップすると、メニューがスクロールします。



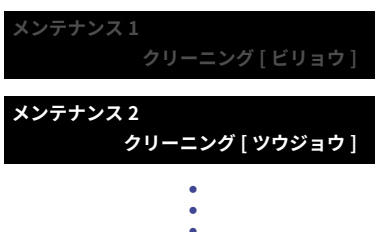
3 選んだメニューに入る。

[>] キーをタップします。



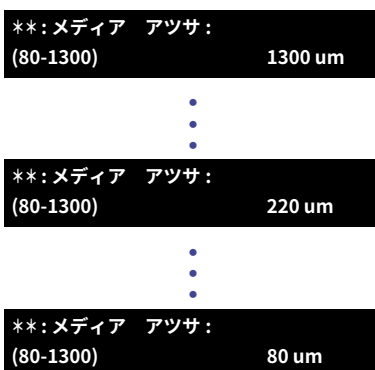
4 ひとつ前の階層のメニューに戻る。

[<] キーをタップします。以下の例の場合、[メニュー 2 メンテナンス]に戻ります。



5 設定項目を選ぶ、または設定値を入力する。

[^] キーまたは [v] キーをタップすると、項目がスクロール、または数値が増減します。



6 決定 / 実行する。

[Enter] キーをタップします。



メニュー 1: メディア設定

メニュー一覧

- 設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	→
メディアセッテイ		メディアの種類ごとにメディア情報や印刷条件を設定します。最大 15 個の Type を登録できます。	
Type1 ~ Type15			
チョウセイインサツ		双方向印刷のドット着弾位置を調整します。調整する前にメディアの厚さを入力します。	
オート	オール、スタンダード、チョウセイパターン A, C, D	<p>カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動で「調整印刷」を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オール: すべての調整パターンを自動で調整します。 • スタンダード: 調整方式「スタンダード」と同じ調整を自動で行います。 • 調整パターン A, C, D: 選択した調整パターンを自動で調整します。 	
スタンダード	カクニンパターン、ソチョウセイパターン、ピチョウセイパターン	<p>調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。メディア設定 Type で設定した作画モードのみを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 確認パターン: 調整印刷のためのテストパターンを印刷します。 • 粗調整パターン: ズレ量が大きい場合に実行します。調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 微調整パターン: ズレ量が小さい場合に実行します。調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 	P.94
カスタム	カクニンパターン、ソチョウセイオール、ソチョウセイパターン A, C, D、ピチョウセイオール、ピチョウセイパターン A, C, D	<p>調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。すべての作画モードを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 確認パターン: 調整印刷のためのテストパターンを印刷します。 • 粗調整オール: すべての粗調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 粗調整パターン A, C, D: 選択した粗調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 微調整オール: すべての微調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 • 微調整パターン A, C, D: 選択した微調整パターンを印刷し、調整値を入力します。 	

		設定値 / サブメニュー	内容	→												
	オクリホセイ		メディアの送り量を補正します。	P100												
	オート		カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動で「メディア送り補正」を実行します。													
	インサツ	0%、±0.1%、±0.2%、±0.5%、±0.8%、±1.2%の11パターン	調整パターンを印刷します。													
	チョウセイチ	-5.00 ~ <u>0.00</u> ~ 5.00 %	調整パターンを確認して、最適な調整パターンの値を入力します。													
	キヨリホセイ		印刷された図面や寸法にズレが見られる場合に補正します。													
	ショキインサツ	100 ~ <u>250</u> ~ 500 mm	指定した長さの調整パターンを印刷します。													
	ソクテイチ	初期印刷時の設定 ± 50.0 mm	印刷された調整パターンを実測して値を入力します。													
	カクニンインサツ	100 ~ <u>250</u> ~ 500 mm	補正された確認用の調整パターンを印刷します。													
	ヒータ		ヒータの温度を適切に設定することで、インクのにじみを抑えたり、インクが乾きやすくなります。													
	プリヒータ	オフ、 <u>30</u> ~ 50 °C	メディアを予熱して、急激な温度変化を抑制します。													
プラテンヒータ	オフ、 <u>30</u> ~ 50 °C	印刷したインクのにじみを抑制します。														
アフターヒータ	オフ、 <u>30</u> ~ 50 °C	印刷したインクを乾燥させます。														
キュウチャクファン	オフ、Low、Medium、High、 <u>Ex High</u>	メディアを吸着する強さを設定します。コシのないメディアなどを使用する場合は、ファンの強さを弱めてください。														
サクガモード	Ex High Quality, High Quality, Quality, Production, Banner, Draft, Super Draft	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作画モード</th> <th>品質</th> <th>速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ex High Quality</td> <td rowspan="5">↑ 高い ↓ 低い</td> <td rowspan="5">↑ 遅い ↓ 速い</td> </tr> <tr> <td>High Quality</td> </tr> <tr> <td>Quality</td> </tr> <tr> <td>Production</td> </tr> <tr> <td>Banner</td> </tr> <tr> <td>Draft</td> <td rowspan="2">↓ 低い ↑ 高い</td> <td rowspan="2">↓ 速い ↑ 遅い</td> </tr> <tr> <td>Super Draft</td> </tr> </tbody> </table>	作画モード	品質	速度	Ex High Quality	↑ 高い ↓ 低い	↑ 遅い ↓ 速い	High Quality	Quality	Production	Banner	Draft	↓ 低い ↑ 高い	↓ 速い ↑ 遅い	Super Draft
作画モード	品質	速度														
Ex High Quality	↑ 高い ↓ 低い	↑ 遅い ↓ 速い														
High Quality																
Quality																
Production																
Banner																
Draft	↓ 低い ↑ 高い	↓ 速い ↑ 遅い														
Super Draft																
エフェクト	None, i-ScreenFine	選択されている作画モードに合ったエフェクトパターンが自動で選択されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Super Draft 以外 : i-ScreenFine • Super Draft: None 														
メディアアツサ	80 ~ <u>220</u> ~ 1300 um	使用するメディアの厚さを入力します。「調整印刷」にて設定済みの場合は、入力不要です。	P.94													
メディアセッテイコピー	<u>Type1</u> ~ Type15、オール	選択したメディア設定 Type の設定（調整印刷、送り補正、各種ヒータ温度、吸着ファン、作画モード、メディア厚さ）を別のメディア設定 Type にコピーします。[オール] を選択すると、すべてのメディア設定 Type にコピーされます。														

調整印刷

双方向印刷のドット着弾位置を調整します。ドット着弾位置は、プリントヘッドの高さやメディアの厚みによって変わります。次の場合は、必ず調整してください。

- 本製品をはじめて使うとき
- メディアの種類を変更したとき

次の症状がみられる場合も調整してください。

- 双方向印刷をして、粒状感があったり、線がぼやけていたりするとき

Note

調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 550 mm 以上必要です。550 mm 未満の場合、調整できません。印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR（キャリッジ移動）方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

→ [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[メディアハバ\] P.115](#)、[\[ゲンテンセッテイ\] P.118](#)、[\[サイドマージン\] P.118](#)

Note

パターンを印刷する前に、ヒーターをウォームアップします。ディスプレイに **[ウォームアップヲスキップシマスカ? イイエ]** と表示されます。ウォームアップ中に印刷を開始することもできますが、ドット着弾位置が変わってしまう可能性があるため、お勧めできません。

→ [「ウォームアップ中に印刷を開始する」 P.79](#)

注意

- ❌ ディスプレイに **[ウォームアップ チュウ]** を表示中や印刷中は、メディアガイドに触れないでください。やけどをするおそれがあります。

1 メディアをセットする。

→ [「メディアのセット方法」 P.43](#)

メディアが浮き上がらないようにセットしてください。

2 [Home] キーをタップする。

3 「調整印刷」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- [メディアセッテイ]** を選び、**[>]** キーをタップします。
- [^]/[v]** キーで任意のメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップします。
 - **[チョウセイインサツ]** と表示されます。

4 [>] キーをタップする。

メディアの厚さ入力に移行します。

5 [^] / [v] キーでメディア厚さを入力し、[Enter] キーをタップする。

** : メディア アツサ :
(80-1300) 220 um

6 [^] / [v] キーで調整方式を選び、[>] キーをタップする。

通常はオート調整を実施し、オート調整がうまくいかない場合は手動調整を実施してください。

オート	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動で「調整印刷」を実行します。
スタンダード	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。調整前にメディアの厚さを入力します。 メディア設定 Type で設定した作画モードのみを調整します。RIP 側とメディア設定 Type の作画モードは同じにしてください。
カスタム	調整パターンを印刷して、ズレの少ない調整値を入力します。調整前にメディアの厚さを入力します。 すべての作画モードを調整します。RIP 側とメディア設定 Type の作画モードが異なっても、最適な画質で印刷されます。

Note

- スタンダード調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、必ず「調整印刷」もあわせて行ってください。
- カスタム調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても調整印刷は不要です。
- RIP ソフトなどで、メディア設定 Type での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、カスタム調整であらかじめすべてのパターン (A, C, D) に対して調整しておいてください。

7 手順に従って調整する。

- 「調整印刷 : [オート] を選択した場合の手順」 P.96
- 「調整印刷 : [スタンダード]、[カスタム] を選択した場合の手順」 P.97

調整印刷 : [オート] を選択した場合の手順

Note

[オート]、[スタンダード]、[カスタム] では、選択するパターンの名称が異なります。詳しくはメニュー一覧をご参照ください。

→ [メディアセッテイ] P.92 > [チョウセイインサツ] P.92

1 [へ] / [ｖ] キーで調整パターンを選ぶ。

- **オール** : すべての調整パターンを自動で調整します。
- **スタンダード** : 調整方式 [スタンダード] と同じ調整を自動で行います。
- **チョウセイパターン*** : 選択した調整パターンを自動で調整します。

2 [Enter] キーをタップする。

調整パターンの印刷と補正值の入力が自動で実施されます。

3 結果に応じて以下を実施する。

■ 調整に成功した場合

```
セイジョウニシュウリョウシマシタ
カクニン          -> Enter
```

- [Enter] キーをタップして、自動調整を終了します。

■ 調整に失敗した場合

```
チョウセイニシツパイシマシタ
カクニン          -> Enter
```

- [Enter] キーをタップして、自動調整を終了します。オート調整をやり直すか、オート以外の方式で調整してください。
→ 「調整印刷 : [スタンダード]、[カスタム] を選択した場合の手順」 P.97
- 失敗したパターンとそれ以降のパターンの調整値は反映されません。

Note

オート調整をしても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られるとき）は、スタンダードかカスタムで調整してください。

→ 「調整印刷 : [スタンダード]、[カスタム] を選択した場合の手順」 P.97

調整印刷:[スタンダード]、[カスタム]を選択した場合の手順

Note

[オート]、[スタンダード]、[カスタム]では、選択するパターンの名称が異なります。詳しくはメニュー一覧をご参照ください。

→ [メディアセットイ] P.92 > [チョウセイインサツ] P.92

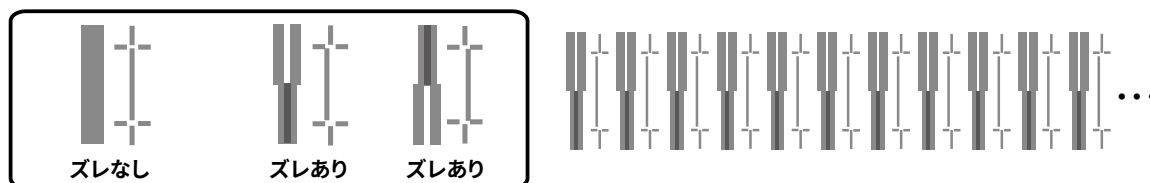
● 確認パターン

1 確認パターンを印刷する。

スタンダード調整またはカスタム調整から [カクニンパターン] を選び、[Enter] キーをタップする。

- 確認パターンが印刷されます。

2 印刷結果を見て、パターンにズレがないかどうかを確認する。



- ズレがない場合、[Enter] キーをタップして調整を終了します。
- ズレがある場合、以下の手順に従って調整します。
 - ズレ量大きいとき: 粗調整パターンを実行します。
→ 「粗調整パターン」 P.98
 - ズレ量小さいとき: 微調整パターンを実行します。
→ 「微調整パターン」 P.99

◎ 粗調整パターン

1 粗調整パターンを印刷する。

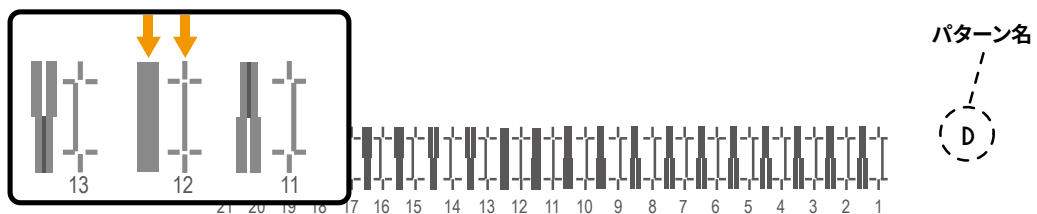
■ [スタンダード] を選択した場合

[ソチョウセイパターン] を選び、[Enter] キーをタップする。

■ [カスタム] を選択した場合

[ソチョウセイオール] または [ソチョウセイパターン] の A, C, D から粗調整パターンを選び、[Enter] キーをタップする。

2 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3 [^]/[V] キーでズレのないパターンの番号を選び、[Enter] キーをタップする。

- 上のイラストの場合、[パターン D: 12] と入力します。

** : パターン D
(1-21)

12

- [カスタム] で [ソチョウセイオール] を選択した場合は、パターン A, C, D すべてに入力します。

4 続いて、「微調整」を実施する。

→ 「微調整パターン」 P.99

● 微調整パターン

1 微調整パターンを印刷する。

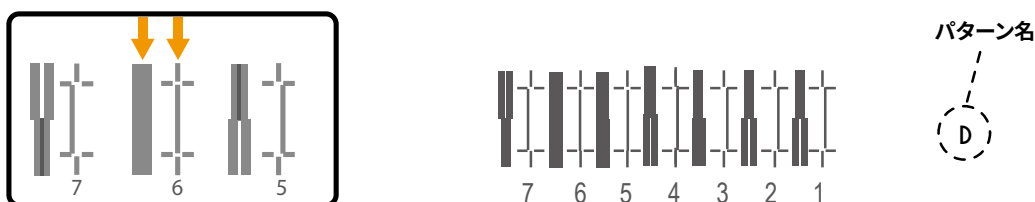
■ [スタンダード] を選択した場合

- [ピチヨウセイパターン] を選び、[Enter] キーをタップします。

■ [カスタム] を選択した場合

- [ピチヨウセイオール] または [ピチヨウセイパターン] の A, C, D からパターンを選び、[Enter] キーをタップします。

2 印刷結果を確認して、もっともズレのないパターンの番号を探す。



3 [^]/[V] キーでズレのないパターンの番号を入力する。

- 上のイラストの場合、[パターン D: 6] と入力します。

** : パターン D
(1-7) 6

- [カスタム] で [ピチヨウセイオール] を選択した場合は、すべてのパターンに入力します。

4 [Enter] キーをタップする。

調整を終了します。

作画モードに対応する調整パターン

作画モード	調整パターン
Ex High Quality	C
High Quality	C
Quality	C
Production	D
Banner	D
Draft	D
Super Draft	D

Note

調整パターン A, C は、RIP ソフトウェアで「キャリッジ速度」を [低速] に設定している場合に選択してください。「キャリッジ速度」はお使いの RIP ソフトウェアによって名称が異なる場合があります。

メディア送り補正

メディアの送り量を補正します。次の場合は、必ず調整してください。

- 本製品をはじめて使うとき
- メディアの種類を変更したとき
- 加圧アームの圧力を変更したとき

次の症状がみられる場合も調整してください。

- キャリッジのスキャン方向に、白いスジや色の濃いスジが発生しているとき

Note

調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 400 mm 以上必要です。400 mm 未満の場合、調整できません。印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR（キャリッジ移動）方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

→ [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[メディアハバ\] P.115](#)、[\[ゲンテンセッテイ\] P.118](#)、[\[サイドマージン\] P.118](#)

Note

パターンを印刷する前に、ヒーターをウォームアップします。ディスプレイに **[ウォームアップヲスキップシマスカ? イイエ]** と表示されます。ウォームアップ中に印刷を開始することもできますが、ドット着弾位置が変わってしまう可能性があるため、お勧めできません。

→ [「ウォームアップ中に印刷を開始する」 P.79](#)

注意

- ⊘ ディスプレイに **[ウォームアップ チュウ]** を表示中や印刷中は、メディアガイドに触れないでください。やけどをするおそれがあります。

1 メディアをセットする。

→ [「メディアのセット方法」 P.43](#)

メディアが浮き上がらないようにセットしてください。

2 [Home] キーをタップする。

3 「送り補正」メニューにアクセスする。

メニューフロー

メニュー 1
メディアセッテイ

[>]

メディアセッテイ:

Type **

[Enter]

Type **: 2
オクリホセイ

- [**メディアセッテイ**] を選び、[>] キーをタップします。
- [**▲**] / [**▼**] キーで任意のメディア設定 Type を選び、[**Enter**] キーをタップします。
- [**▲**] / [**▼**] キーで [**オクリホセイ**] を選びます。

4 [>] キーをタップする。

5 [^] / [v] キーで調整方式を選び、手順に従って調整する。

通常はオート調整を実施し、オート調整がうまくいかない場合は手動調整を実施してください。

オート	カラーセンサーが調整パターンを検出して、自動で「メディア送り補正」を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 手動の送り補正の「調整値」に自動調整後の値が反映されます。 • 手動の距離補正の「測定値」の値が初期化されることがあります。 		→「自動でメディア送り補正を実行する」 P.102
印刷	調整パターンを印刷し、最適な調整値を入力します。		
調整値	調整値を入力し、確認パターンを印刷します。		→「手動でメディア送り補正を実行する」 P.103
距離補正	初期印刷	指定した長さの調整パターンを印刷します。	
	測定値	印刷された調整パターンを実測して値を入力します。	
	確認印刷	補正された確認用の調整パターンを印刷します。	

自動でメディア送り補正を実行する

1 [Enter] キーをタップして、オート調整を開始する。

** : オクリホセイ 1
オート

- 調整パターンが印刷されます。
- カラーセンサーが印刷結果を読み取り、自動で調整します。

2 結果に応じて以下を実施する。

■ 調整に成功した場合

セイジョウニシュウリョウシマシタ
カクニン → Enter

- [Enter] キーをタップして、自動調整を終了します。

■ 調整に失敗した場合

チヨウセイニシツパイシマシタ
カクニン → Enter

- [Enter] キーをタップして、自動調整を終了します。手動で「メディア送り補正」を実施してください。
→ [「手動でメディア送り補正を実行する」 P.103](#)

Note

オート調整をしてもスジが発生している場合は、手動で「メディア送り補正」を実施してください。

→ [「手動でメディア送り補正を実行する」 P.103](#)

手動でメディア送り補正を実行する

手動のメディア送り補正には以下の方法があります。印刷の目的に合わせて適切な補正方法をご使用ください。

- 「送り補正」 P.103
印刷物に入った横スジを軽減します。
- 「距離補正」 P.105
印刷物の寸法にズレがある場合に、印刷長の誤差を補正します。

送り補正

はじめに調整パターンを印刷し、調整値を確認・入力します。

すでに調整値が分かっている場合（メディア交換など）は、「調整値」に値を入力してください。

→ 「すでに調整値が分かっている場合」 P.104

1 「印刷」メニューを実行する。

[** : オクリホセイ 2 インサツ] を選び、[Enter] キーをタップする。

- 調整パターンが印刷されます。印刷後、「調整値」の入力に移行します。

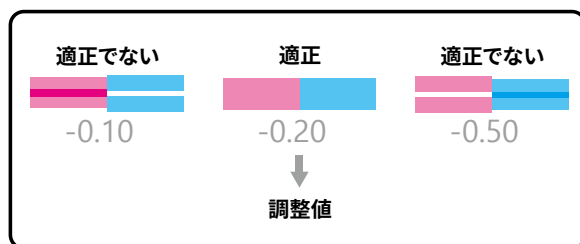
2 印刷結果を確認し、[^]/[v]キーで調整値を入力する。

もっとも白スジ、色の濃いスジのないパターンを探します。そのパターンの下にある数値が「調整値」です。

Note

調整値を入力すると、その値を基準として各調整値が補正されます。

調整値に「-0.20」を保存した場合、調整パターンの下の値は、左から「+1.00」、「+0.60」、「+0.30」、「0.00」、「-0.10」、「-0.20（基準値）」、「-0.30」、「-0.40」、「-0.70」、「-1.00」、「-1.40」となります。



3 [Enter] キーをタップして、調整を終了する。

すでに調整値が分かっている場合

1 「調整値」に値を入力する。

- a. [**:**オクリホセイ3** **チョウセイチ**]を選び、[>]キーをタップする。
 - b. [^]/[v]キーで調整値を入力し、[Enter]キーをタップする。
-

2 以下を実施する。

カクニンインサツシマスカ?

ハイ

- 確認印刷が必要な場合は、[Enter]キーをタップします。印刷結果を確認し、必要に応じて補正してください。
 - 確認印刷が不要な場合は、[^]/[v]キーで[**イエ**]を選び、[Enter]キーをタップします。
-

◎ 距離補正

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

この調整を実施した場合は、送り補正の「調整値」と距離補正の「測定値」がリセットされます。

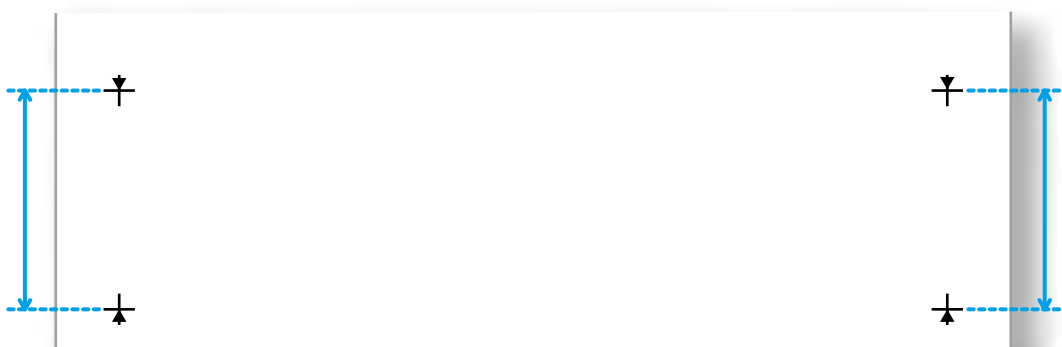
1 「初期印刷」を実行する。

- a. [**:**キヨリホセイ 1 ショキインサツ**] を選び、[>] キーをタップする。
 - [フィードナガサ] と表示されます。
- b. [^]/[v] キーでフィードの長さを入力し、[Enter] キーをタップする。
 - 調整パターンが印刷されます。
- c. メディアをカットする（任意）。
→ **「メディアのカット」 P.80**

Note

フィード長さの初期値は、250mm に設定されています。フィード長さを長くすると、「メディア送り補正」の精度が若干向上します。

2 定規を使って、印刷された「〒」間の長さを測る。



3 「測定値」に実測値を入力する。

- a. [**:**キヨリホセイ 2 ソクテイチ**] を選び、[>] キーをタップする。
- b. [^]/[v] キーで実測値を入力し、[Enter] キーをタップする。

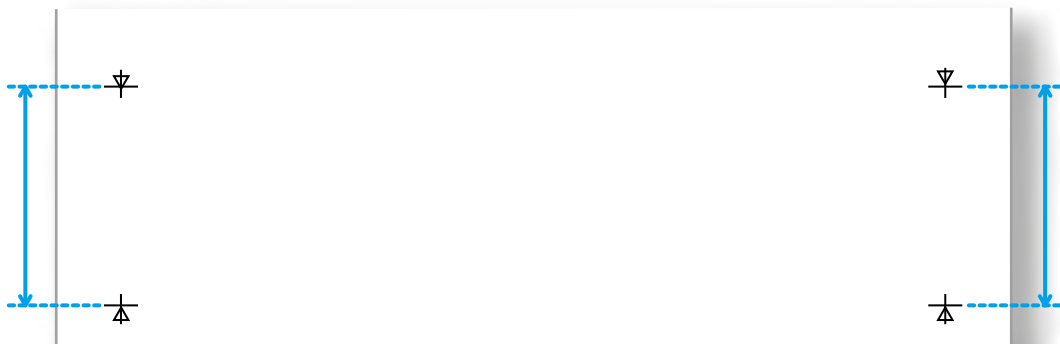
4 「確認印刷」を実行する。

- a. [** : キヨリホセイ 3 カクニンインサツ] を選び、[>] キーをタップする。
- b. [^]/[v] キーでフィードの長さを入力し、[Enter] キーをタップする。
 - 調整パターンが印刷されます。
- c. メディアをカットする (任意)。
→ 「メディアのカット」 P.80

Note

フィード長さの初期値は、250 mm に設定されています。フィード長さを長くすると、「メディア送り補正」の精度が若干向上します。

5 定規を使って、印刷された「平」間の長さを測る。




- 表示されている長さと測定値が一致した場合 : 調整を終了します。
- 表示されている長さと測定値が一致しない場合 : 「初期印刷」 (Step1) からやり直してください。


メニュー 2: メンテナンス

メニュー一覧

- 設定範囲の下線は初期値です。

	設定値	内容	→
メンテナンス			
クリーニング [ビリョウ]		少量のインクを消費します。	P.58
クリーニング [ツウジョウ]		ノズルの目詰まりがある場合に使用します。	
クリーニング [キョウリョク]		クリーニング「通常」を繰り返してもノズルの目詰まりが解消しないときに使用します。	
ソノタ メンテナンス			
CR メンテナンス		キャリッジを移動して、プリンターのメンテナンスを実施します。	P.131
ツケオキクリーニング		メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。専用のメンテナンス液が必要です。	P.145
ビリョウジュウテン		クリーニング効果が高いですが、多くのインクを消費します。	P.144
ショキジュウテン		微量充てんよりクリーニング効果が高いですが、かなり多くのインクを消費します。	
インクハイシュツ		プリントヘッドを洗浄します。	P.164
デンゲンシャダン		プリンターの電源をオフにします。	P.42
メンテナンスセッテイ			
オートクリーニング			
タイキチュウ		待機中のクリーニング動作を設定します。間隔は電源のオフ時間も含みます。電源オフのときはオートクリーニングは実行せず、次回電源をオンにしたときにクリーニングを実行します。	
クリーニングシュルイ	オフ、 <u>フラッシング</u> 、微量、通常、強力	クリーニングの種類を設定します。	
クリーニングカンカク	10 ~ <u>360</u> ~ 1440 分	クリーニングの間隔を設定します。	
インサツチュウ			
クリーニングシュルイ	オフ、微量、通常、強力	クリーニングの種類を設定します。	
クリーニングカンカク	5 ~ <u>180</u> 分	クリーニングの間隔を設定します。	
インサツマエ			
クリーニングシュルイ	オフ、微量、通常、強力	クリーニングの種類を設定します。	

		設定値	内容	→
	ノズルセンタク		クリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが改善しない場合に、確認パターンを印刷し、目詰まりがないノズルだけを使用するように設定することができます。	P.148
	カクニンパターンインサツ		確認パターンを印刷します。	
	ノズルエリアセッテイ	ノズルオール、ノズル A, B, C, D, E, F	使用するノズルを設定します。	
	ジドウノズルチェック	オン、 <u>オフ</u>	<p>[オン] に設定すると、吐出検知ユニットのセンサーがノズルの状態を確認し、目詰まりがある場合はプリンターが自動でヘッドクリーニングします。パターンを印刷しないため、メディアを消費しません。</p>	P.110
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p> Note</p> <p>吐出検知ユニット（オプション品）を使用しない場合は表示されません。</p> </div>				
	ジョブカイスウ	オフ、 <u>1</u> ~ 30 回	自動ノズルチェックを行う間隔を印刷ジョブの回数で設定できます。	
	ノズルセンタク	<u>オン</u> 、オフ	[オン] に設定すると、自動ノズルチェックの結果、3回クリーニングをしてもノズルの目詰まりが解消できなかった場合は、正常に吐出しているノズルを自動的に選択して印刷します。	

	設定値	内容	→
スリープモード		スリープモードにすると、自動でヘッドクリーニングが定期的に行われます。	
クリーニングセットイ		スリープモード中のヘッドクリーニングを設定します。	
クリーニングシュルイ	微量、通常、強力	クリーニングの種類を設定します。 [Enter] キーをタップすると、クリーニングタイマーの設定に移行します。	
クリーニングタイマー	12 時間、1、2、3、4、5、6、7 日	クリーニングの間隔を設定します。	
オートスリープタイマー	4、8、12、24 時間	一定時間印刷がない場合に、プリンターが自動的にスリープモードに入るまでのタイマーを設定します。	
ジッコウ		<p>スリープモードを開始します。</p> <p>1. [>] キーをタップする。</p> <p>- [スリープモード カイシ -> Enter] と表示されます。</p> <p>2. [Enter] キーをタップし、スリープモードを開始する。</p> <p>- [スリープモード シュウリョウ -> Enter] と表示されます。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p> Note</p> <p>以下の場合、スリープモードに移行できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エラーが発生している（インクなし、パックなし、廃液満タン、カバーオープンなど） • プリンターが動作している（メディア検出中、印刷中など） </div> <p>3. スリープモードを終了する場合は、[Enter] キーをタップします。</p>	P.40

自動ノズルチェック（オプション品装着時）

本機能はオプションの「吐出検知ユニット」装着時に使用できます。

→ 「吐出検知ユニット 取扱説明書」

[オン] に設定すると、以下のタイミングで吐出検知ユニットのセンサーがノズルの状態を確認し、目詰まりがある場合はプリンターが自動でヘッドクリーニングします。

- プリンターの電源をオンにしたとき
- プリンターがスリープモードから復帰したとき
- 「ジョブ回数」を設定した後の最初の印刷前と、設定した回数ごとの印刷前

3 回クリーニングしてもノズルの目詰まりが解消されない場合は、正常に吐出しているノズルを自動的に選択して印刷します。

Important!

- 本機能をお使いになる場合、プリントヘッドの高さを「Low1」、「Low2」、「Middle」に設定し、かつ黒のクリーニングワイパー（通常用）を取り付けてください。

プリントヘッドの高さを「High」に設定した場合、本機能は動作しません。

また、グレーのクリーニングワイパー（ヘッド高さ High 用）を取り付けた場合、本機能の動作が保証できません。

- 「本製品の仕様」 P.193 以外でのご使用や、お使いのインクによっては次の現象が発生する可能性があります。

- 自動ノズルチェックの動作ごとに、毎回クリーニングが実行される（インク使用量の増加）
- 自動ノズルチェックの動作時間が長くなる
- 自動ノズルチェックを使用しても、ノズルが目詰まりしたまま印刷される *

* ノズルが目詰まりしたまま印刷が続く場合は、手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。

→ 「ノズルチェックとクリーニング」 P.56

- 本機能は 100 % ノズルの目詰まり防止を保証するものではありません。

Note

クリーニングで解消できないノズルの目詰まりがある状態で自動ノズルチェックを [オン] に設定した場合、自動ノズルチェックの動作ごとに毎回クリーニングが実行され、インク使用量が増加します。

上記の状態を避けるために、「ノズル選択」であらかじめノズルの目詰まりがないパターンを選択してから、自動ノズルチェックを [オン] に設定してください。

→ 「ノズル選択」 P.148

Note

自動ノズルチェックで目詰まりのないノズルが自動的に選択された場合、MPS 機能は無効になります。

自動ノズルチェックの流れ

- 1 吐出検知ユニットのセンサーがノズルの状態を確認します。

ジドウノズルチェックチュウ

Note

- [Cancel] キーをタップすると、自動ノズルチェック動作を中止します。
- 検出時間は 3 ~ 5 分程度を想定していますが、ノズルの目詰まり数に応じてさらに時間がかかる場合があります。

- 2 ノズルの目詰まりを検知した場合、プリンターがヘッドクリーニングを実行します。

クリーニングチュウ **%

- ノズルの目詰まりが解消するまで、手順 1 と 2 が繰り返されます (最大 3 セット)。

- 3 3 回クリーニングしてもノズルの目詰まりが解消されない場合、目詰まりのないノズルパターンが自動的に選択されます。

インサツデキマス
PG: Low1 ノズルセンタク : A

- 正常なノズルのみで印刷できます。
- プリンターが待機中、自動的に選択されたノズルパターン (アルファベット) が、ディスプレイに表示されます。「[ノズル選択](#) P.148 で設定を変更した場合、メディア幅表示に戻ります。

- 4 自動ノズル選択でもノズルの目詰まりを回避できない場合、[**ジドウノズルチェック ノズルヌケガ アリマス**] と表示されます。

ジドウノズルチェック
ノズルヌケ ガ アリマス

- プリンターに送信済みの印刷ジョブがある場合、ノズルの目詰まりを検知した印刷ジョブは削除、それ以降の印刷ジョブは保留となります。印刷ジョブの送信元で、保留された印刷ジョブを削除してから、手動でノズルチェックとクリーニングをしてください。
→ [「ノズルチェックとクリーニング」 P.56](#)
- ノズルの目詰まりが解消してから、印刷を再度やり直すことを推奨します。
- [Enter] キーをタップすると表示が消え、ノズルが目詰まりしたままの状態、保留された印刷ジョブの印刷を継続します。

メニュー 3: テスト印刷

メニュー一覧

- 設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	→
テストインサツ			
ノズルチェック		「ノズル選択」で設定したノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。	P.56
ノズルチェックF		すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。	
メディアチョウセイ	<u>Type1</u> ~ Type15	「調整印刷」と「メディア送り補正」を自動で調整します。	P.113

メディア調整

「調整印刷」と「メディア送り補正」を自動で調整します。

→ 「調整印刷」 P.94、「メディア送り補正」 P.100

Note

調整パターンを印刷します。印刷可能領域の幅が 550 mm 以上必要です。550 mm 未満の場合、調整できません。印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR（キャリッジ移動）方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。

→ [セッテイ] P.115 > [メディアハバ] P.115、[ゲンテンセッテイ] P.118、[サイドマージン] P.118

Note

パターンを印刷する前に、ヒーターをウォームアップします。ディスプレイに [ウォームアップ スキップ シマスカ? イイエ] と表示されます。ウォームアップ中に印刷を開始することもできますが、ドット着弾位置が変わってしまう可能性があるため、お勧めできません。

→ 「ウォームアップ中に印刷を開始する」 P.79

Note

「メディア調整」で選択したメディア設定、メディア厚さは、設定値に反映されます。

注意

⊘ ディスプレイに [ウォームアップ チュウ] を表示中や印刷中は、メディアガイドに触れないでください。やけどをするおそれがあります。

1 メディアをセットする。

→ 「メディアのセット方法」 P.43

メディアが浮き上がらないようにセットしてください。

2 [Home] キーをタップする。

3 「メディア調整」メニューにアクセスする。

メニューフロー

メニュー 3
テストインサツ

[>]

テストインサツ 3
メディアチョウセイ

- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [>]キー：メニューに入ります。

4 [>] キーをタップする。

5 任意のメディア設定 Type を選び、[Enter] キーをタップする。

```
メディアセッテイ：
Type** OK?
```

6 [^]/[V] キーでメディア厚さを入力する。

```
**：メディア アツサ：
(80-1300)                220 um
```

Note

ここで変更した内容は、メディア設定 Type に保存されます。

7 [Enter] キーをタップする。

自動調整を開始します。

```
** セイドチョウセイ インサツ **
PG: Low1                W: 1625 mm
```

8 結果に応じて以下を実施する。

■ 調整に成功した場合

```
セイジョウニシュウリョウシマシタ
カクニン                -> Enter
```

- [Enter] キーをタップして、自動調整を終了します。

■ 調整に失敗した場合

```
チョウセイニシツバイシマシタ
カクニン                -> Enter
```

- [Enter] キーをタップして、自動調整を終了します。調整に失敗した場合、手動で調整してください。
- 「調整印刷」 P.94、「メディア送り補正」 P.100
- 失敗したパターンとそれ以降のパターンの調整値は反映されません。

Note

- オート調整をしても画質が向上しないとき（バンディングや粒状感が見られるとき）は、オート調整をやり直すか、調整印刷のオート以外の調整を実施してください。
- メディア設定 Type、およびメディア厚さの初期値は、現在選択中のメディア設定 Type の値が反映されます。


メニュー 4: 設定

メニュー一覧

- 設定範囲の下線は初期値です。

	設定値	内容	→
セッテイ			
メディアケンシュツ	Off, Top&Width, <u>Width</u>	メディア幅の検出動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> Off: メディア幅を検出しません。「メディア幅」でメディアの幅を入力してください。 Top & Width: 自動でメディア幅、およびメディア先端を検出します。 Width: 自動でメディア幅を検出します。 	
メディアハバ	210 ~ <u>1370</u> ~ 1625 mm	使用するメディア幅を入力します。「メディア検出」メニューを [Top&Width] または [Width] に設定している場合は、自動検出されたメディア幅を表示します。	
ハイシモード	<u>オフ</u> 、マキトリ、オートカット	印刷後のメディア動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> オフ: 巻き取りユニットを使用しません。 巻き取り: 巻き取りユニットが回転してメディアを巻き取ります。 オートカット: 印刷後に自動でメディアをカットします。 	
ページカンヨハク	<u>ツウジョウ</u> 、セマイ	印刷結果どうしの間の余白を変更できます。排紙モードを「巻き取り」に設定している場合のみ表示されます。	
インクカンソウジカン	<u>0 秒</u> ~ 60 分	インクを乾燥させるため、印刷後のプリンター停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータを印刷します。	
カットホウホウ	1ドギリ - 2ダンカイ、 <u>1ドギリ - 3ダンカイ</u> 、2ドギリ - 2ダンカイ、2ドギリ - 3ダンカイ	印刷後のメディアカット動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 1度切り-2段階: 「1度切り-3段階」よりも少ない工程でカットします。幅が狭めのメディアに適しています。 1度切り-3段階: 通常のカット方法です。 2度切り-2段階: 「1度切り-2段階」ではカットできない場合に設定します。 2度切り-3段階: 「1度切り-3段階」ではカットできない場合に設定します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> 「メディア検出」メニューを [Off] に設定している場合は、メディアカットは実行されません。 → [メディアケンシュツ] P.115 メディアの種類によってカットできない場合は、「排紙モード」メニューを [オフ] に設定して、メディアを手動でカットしてください。 → [ハイシモード] P.115 </div>	

		設定値	内容	→
	カットアツ	ヨワイ、ツヨイ	メディアをカットする圧力を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 弱い: 「強い」では圧力が強すぎる場合や、薄いメディアを使用するときなどに使用します。 強い: 通常のカット圧です。 	
	タイキヒート	10 ~ 60 分	プリンターが待機中のときに、ヒーターを予熱する時間を設定します。 設定した時間が経過すると、各ヒーターがオフになります。	
	シャコウチェック	オフ、オン	印刷後にメディアの斜行をチェックします。斜行が確認されたら、エラーを表示します。	
	ヒータコントロール	ツウジョウ、ハイ	ヒーターの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 通常: 設定したヒーター温度に到達すると印刷を開始します。メディアの波打ちが発生しない場合は、この設定をご使用ください。 速い: 設定したヒーター温度に到達する前に印刷を開始します。印刷の色が変わる可能性があります。 	
	ハリツキボウシ	オフ、オン	印刷前にメディアを前後にフィードして、メディアの張り付きを防止します。「排紙モード」メニューが [マキトリ] に設定されている場合は、本メニューは無効になります。 <ul style="list-style-type: none"> [オン]の時のフィード量: 200mm 	
	ハイキファン	Off, Low, High	プリンター内部の空気を排気します。インクミストも排出されるので、プリンター内部の汚れを軽減します。長時間印刷する場合は、動作することをお勧めします。	
	スタートフィード	-10 ~ 0 ~ 500 mm	印刷データ間の余白を設定します。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> 「排紙モード」メニューを [Off] に設定している場合は、設定した長さ +10 mm が印刷データ間のマージンになります。 「排紙モード」メニューを [マキトリ] に設定している場合は、設定した長さが印刷データ間のマージンになります。 印刷データ間のマージンは 10 mm に設定されています。 <p>→ 「印刷エリア」 P.32</p> </div>	

	設定値	内容	→
ヘッダーダンプ	オフ、オン、ダンプ、印刷	<p>印刷データに関するダンプデータ(データヘッダー / データドット数 / 印刷日時 / プリンターシリアル / FW バージョン / 受信時間 / 受信サイズ) を印刷するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ: ダンプデータを印刷しません。 • オン: データ印刷後、ダンプデータを印刷します。「受信時間」と「受信サイズ」は印刷しません。 • ダンプ: ダンプデータのみ印刷します。「データドット数」は印刷しません。 • 印刷: 前回印刷したダンプデータを印刷します。「受信時間」と「受信サイズ」は印刷しません。ダンプデータの履歴がない場合は、[データガアリマセン]と表示されます。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • テクニカルサポートを受ける際は、ダンプデータの提供をお願いいたします。 • コンピューターと接続して印刷する場合は、「データヘッダー」に RIP ソフトの印刷設定が印刷されます。 </div>	
インサツドウサセッテイ			
フラッシング	オン、メディア上、オフ	<p>フラッシングを設定します。フラッシングは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防止するためのメンテナンス動作です。微量のインクを消費します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オン: フラッシングボックスでフラッシングします。リターン回数を増やすと、印刷品質を保証することができません。通常は [1] でご使用ください。 • メディア上: フラッシングボックスとメディアの余白でフラッシングします。最大印刷幅が 16 mm 短くなります。 → [サイドマージン] P.118 • オフ: フラッシングしません。ノズルの目詰まりが発生しやすくなります。通常は [オフ] にしないでください。 	

		設定値	内容	→													
	リターンカイスウ	1、2 ~ 999 回	<p>フラッシングボックスでフラッシングする間隔を設定します。フラッシングを [オフ] に設定している場合は表示されません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>フラッシング</th> <th>リターン回数</th> <th>動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">オン</td> <td>1 回</td> <td>キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。</td> </tr> <tr> <td>5 回</td> <td>キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">メディア上</td> <td>1 回</td> <td>キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスとメディアの余白部分でフラッシングを実行します。</td> </tr> <tr> <td>5 回</td> <td>キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。またメディアの余白部分では往復ごとにフラッシングしています。</td> </tr> </tbody> </table>	フラッシング	リターン回数	動作	オン	1 回	キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。	5 回	キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。	メディア上	1 回	キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスとメディアの余白部分でフラッシングを実行します。	5 回	キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。またメディアの余白部分では往復ごとにフラッシングしています。	
フラッシング	リターン回数	動作															
オン	1 回	キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。															
	5 回	キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。															
メディア上	1 回	キャリッジが往復するごとに、フラッシングボックスとメディアの余白部分でフラッシングを実行します。															
	5 回	キャリッジが 5 往復に 1 回、フラッシングボックスでフラッシングを実行します。またメディアの余白部分では往復ごとにフラッシングしています。															
	サイドマージン	5 ~ <u>6</u> ~ 25 mm	<p>メディアの左右の余白を設定します。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Important!</p> <p>エッジホルダーの左右を入れ替えて取り付けした場合、エッジホルダーとメディアの重なり部分がインクで汚れるおそれがあるため、サイドマージンを 11mm 以上に設定してください。</p> <p>→ 「メディアに合わせてエッジホルダーの向きを変更する」 P.64</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Note</p> <p>「フラッシング」の設定を [メディア上] にした場合は、最大印刷幅が 16 mm 短くなります。左右それぞれの余白は、「設定値 +8 mm」になります。</p> <p>→ 「フラッシング」 P.117</p> </div>														
	ゲンテンセッテイ	PF, CR	印刷開始位置（原点）を設定します。	P.120													
	CR インサツイドウ	データハバ、キカイハバ、 <u>メディアハバ</u>	<p>印刷中のキャリッジ移動範囲を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> データハバ：印刷データの範囲を左右に移動します。 キカイハバ：プリンターの最大印刷範囲を左右に移動します。 メディアハバ：メディア幅の範囲を左右に移動します。 														
	カサネガキカイスウ	1 ~ 9 回	指定した回数分を重ねて印刷します。透過メディアなどに印刷するときに回数を増やしてください。														
	パスカンウエイト	<u>0.0</u> ~ 5.0 秒	キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを一時停止させる時間を設定します。重ね塗りなどでインクが乾燥しにくい場合、インクのにじみを改善することができます。														

	設定値	内容	→
センタンショリ	オート、オフ	印刷の先頭部分の画質を向上するために、用紙送り量を微調整します。通常は【オート】のままで使用してください。ただし、下記の場合は、【オフ】にすると画質が向上することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷の先頭部分にノズルの目詰まりによる画質低下が見られるとき。 【オート】で印刷した場合に、印刷の先頭部分とそれ以外で画質の差があるとき。 	
ショキカ		各種設定を工場出荷時の状態に戻します。	
オール		すべての設定を初期化します。	
メディアセッテイ		すべてのメディア設定を初期化します。	
メディアセッテイイガイ		メディア設定以外を初期化します。	
ショキセッテイ			
ゲング	English、Dutch、Spanish、French、Italian、Portuguese、German、ニホンゴ	ディスプレイに表示させる言語を選択します。	
オンド	Celsius [°C]、Fahrenheit [°F]	ディスプレイに表示させる温度単位を選択します。	
ナガサ	mm、inch	ディスプレイに表示させる長さ単位を選択します。	
IP アドレス	0.0.0.0 ~ 192.168.1.253 ~ 255.255.255.255	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>Important!</p> <p>プリンターの IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイは、必ずネットワーク管理者に相談してから設定してください。</p> </div>	
サブネットマスク	0.0.0.0 ~ 255.255.255.0 ~ 255.255.255.255		
ゲートウェイ	0.0.0.0 ~ 192.168.1.254 ~ 255.255.255.255		
ケイコクブザー	オフ、オン		エラー発生時の警告ブザーの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> オフ：ブザーが一定回数なったあとに停止します。夜間など操作する人が不在のときに、警告ブザーが鳴り続けることを防止できます。 オン：ブザーが鳴り続けます。
LED ライト	オート、オン、オフ	機内照明の動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> オート：機内照明が自動で点灯します。印刷中、カバーオープン時、メディア検出中、メディアカット中、原点設定時、メディアフィード中に点灯します。 オン：機内照明が常時点灯します。ただし、スリープモード中や電源オフした場合は消灯します。 オフ：機内照明が常時消灯します。 	

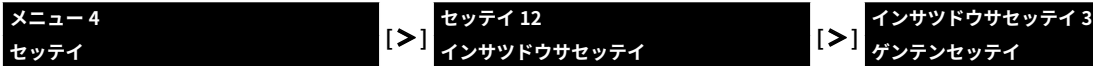
原点設定

印刷データの印刷開始位置（原点）を変更することができます。既に印刷したメディアに、印刷データの配置を変えて余白部分に再度印刷したい場合などに設定します。

1 [Home] キーをタップする。

2 「原点設定」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [>]キー：メニューに入ります。

3 [>] キーをタップする。

4 印刷開始位置（原点）を設定する。

- [▲]/[▼]キー：PF（メディア送り）方向
 - 設定範囲：-15,000 mm ~ 15,000 mm（「排紙モード」メニューの設定が「巻き取り」の場合、設定範囲は 0 mm ~ 15,000 mm になります）
- [<]/[>]キー：CR（キャリッジ移動）方向
 - 設定範囲：0 mm ~ 1,405 mm*¹

```

    ゲンテンセッテイ：
    PF:      0   CR:      0
  
```

5 [Enter] キーをタップする。

設定した位置にメディアとキャリッジが移動します。

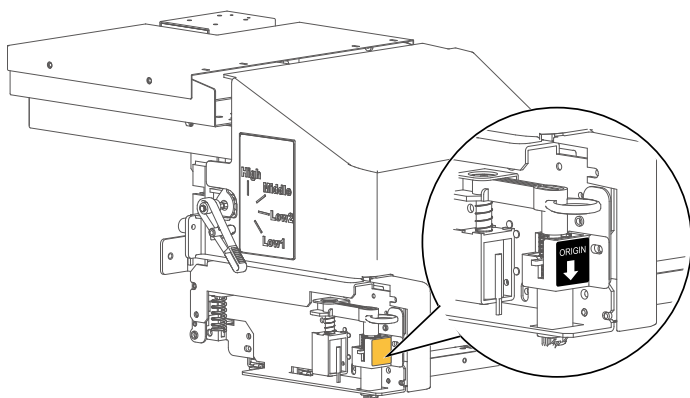
6 [Enter] キーをタップして、手順を終了する。

```

    イチカクニン：
    シュウリョウ   -> Enter
  
```

 Note

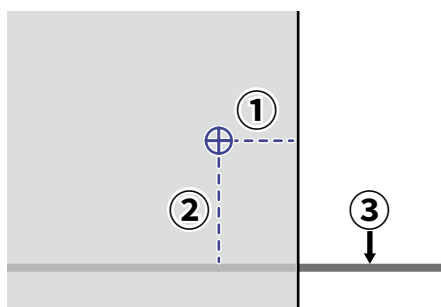
- *¹CR(キャリッジ移動) 方向の設定可能最大値は、セットしているメディアの幅によって増減します。
 - CR 方向設定可能最大値 = メディア幅 - サイドマージン設定 (左右合計) - 210 (最低確保印刷領域)
 - 例 : メディア幅 1625 mm、サイドマージン設定 5 mm のとき
 - CR 方向設定可能最大値 = $1625 - (5 \times 2) - 210 = 1405$ (mm)
- [\[セッテイ \] P.115](#) > [\[サイドマージン \] P.118](#)
- メディア右側の余白は、下記の合計値になります。
 - 原点設定の CR (キャリッジ移動) 方向の変更量 + サイドマージン設定 (左右合計) *²
- *² 「フラッシング」の設定が「メディア上」の場合は、上記の値にさらに 8 mm を追加してください。
- [\[セッテイ \] P.115](#) > [\[サイドマージン \] P.118](#)、[\[フラッシング \] P.117](#)



Origin ラベルの矢印は、現在の CR (キャリッジ移動) 方向の印刷開始位置を示しています。

原点初期値

- ① CR (キャリッジ移動) 方向 : メディア右端から 6 mm
- ② PF (メディア送り) 方向 : プラテンのカット溝 (③) から約 95 mm



メニュー 5: ロール紙残量管理

ロール紙の残量管理情報を印刷したり、印刷された残量管理コードを読み取ってロール紙の残量を管理したりすることができます。

Note

- 「印刷」、または「簡易印刷」を行う場合は、印刷可能領域の幅が 400 mm 以上必要です。400 mm 未満の場合、印刷を実行することができません（エラーメッセージを表示）。印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR（キャリッジ移動）方向の変更量と、サイドマージンの変更量（左右合計）によって増減します。
→ [セッテイ] P.115 > [メディアハバ] P.115、[ゲンテンセッテイ] P.118、[サイドマージン] P.118
- 次の場合は、「ロール紙長さ設定」以外のメニューを実行することができません（エラーメッセージを表示）。
- 「メディア検出」メニューを [オフ] に設定しているとき。
→ [セッテイ] P.115 > [メディアケンシュツ] P.115
- メディアを検出していないとき。
→ 「メディアのセット方法」 P.43

メニュー一覧

- 設定範囲の下線は初期値です。

	設定値 / サブメニュー	内容	→
ロールシザンリョウカンリ			
インサツ		メディアをカットしたあとに、メディア残量管理情報（ロール紙種類、残量、印刷日、残量管理コード）を印刷します。「ロール紙長さ設定」が [オフ] に設定されている場合は、印刷できません。	
カンイインサツ		メディアをカットしたあとに、メディア残量管理情報（ロール紙種類、残量、印刷日）を印刷します。「ロール紙長さ設定」が [オフ] に設定されている場合は、印刷できません。	
ヨミトリ		印刷した残量管理コードを読み取ります。読み取りに失敗すると、「ロール紙長さ設定」メニューが表示されます。手動で入力してください。	P.124
ロールシナガサセッテイ	オフ、 <u>ロールシ</u> 1,2,3	セットしたメディアの長さを設定できます（3 つまで）。[オフ] 以外を選択して [Enter] キーをタップすると、「長さ」メニューに移行します。	
ナガサ	1 m ~ <u>45 m</u> ~ 1500 m	1m 単位でロール紙の長さを設定できます。[Enter] キーをタップすると、「印刷停止」メニューに移行します。	
インサツテイシ	オフ、オン	ロール紙残量のカウント値がゼロになったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 • オフ: リアセンサーが検出したときに印刷が停止します。 • オン: メディアの残量カウントがゼロになると、[ロールシザンリョウエラー] と表示され、印刷を停止します。メディアが紙管から離れにくい場合は、[オン] に設定してください。[オン] に設定し [Enter] キーをタップすると、「ニアエンド」メニューに移行します。	

				設定値 / サブメニュー	内容	→
			ニアエンド	オフ、1 ~ 10 m	<p>ロール紙残量のカウント値がゼロになる前に、パネルにロール紙の残量を表示させるかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ: ロール紙残量は表示されません。 • ノコリ**m (**は1 ~ 10で設定可): カウント値が設定値以下になった場合、パネルに【ニアエンド】を表示します。 	
			ジドウヨミトリセッテイ	オフ、オン	<p>残量管理コードを自動で読み取るかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ: 残量管理コードを読み取りません。 • オン: 以下のタイミングで残量管理コードを読み取ります。 <ul style="list-style-type: none"> - プリンターの電源をオンにしたとき - ロール紙を交換したとき <p>読み取り中に【Cancel】キーをタップすると、読み取りを中止します。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> • 残量管理コードが汚れていたり折れ曲がっていたりすると、読み取りに失敗する可能性があります。読み取りに失敗した場合、残量管理コード外に印刷されている値を入力して、ロール紙長さを設定してください。 <p>→ 【ロールシナガサセッテイ】 P.122</p> • 「自動読み取り設定」を【オン】に設定していても読み取りしない場合は、以下の設定が【オフ】、または【オートカット】になっているかどうかを確認してください。 <p>→ 【メディアケンシュツ】 P.115、【ハイシモード】 P.115</p> </div>	
			ジドウインサツセッテイ	オフ、オン	<p>メディアをカットしたあとにロール紙残量管理情報を印刷するメッセージを表示するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オフ: メッセージは表示されません。 • オン: メディアカット後、【ザンリョウラインサツシマスカ?】と表示されます。【ハイ】または【イイエ】を選択し、【Enter】キーをタップします。 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Note</p> <p>「ロール紙長さ設定」が【オフ】に設定されている場合、「自動印刷設定」は有効にできません。</p> <p>→ 【ロールシナガサセッテイ】 P.122</p> </div>	

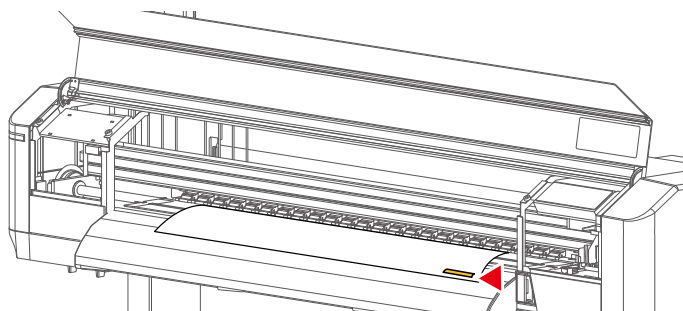
読み取り

1 残量管理コードが印刷されているメディアをセットする。

→ 「メディアのセット方法」 P.43

メディアが浮き上がらないようにセットしてください。

2 残量管理コードが加圧アームを通過していることを確認する。



3 [Home] キーをタップする。

4 「読み取り」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [>]キー：メニューに入ります。

5 [Enter] キーをタップして、読み取りを開始する。

6 読み取りに成功した場合、ロール紙長さ設定に以下の情報が設定されます。

- ロール紙種類
- 残量

Note

- 残量管理コードが汚れていたり折れ曲がっていたりすると、読み取りに失敗する可能性があります。
- 「排紙モード」メニューが [マキトリ] に設定されている場合は、読み取りできません。
- 読み取りに失敗した場合、残量管理コード外に印刷されている値を入力して、ロール紙長さを設定してください。
→ [ロールシナガサセッテイ] P.122

メニュー 6: プリンタ情報

メニュー一覧

		内容
プリンタジョウホウ		プリンターの情報を表示します。
プリンタステータス		
インクステータス		<p>各インクパックのインク残量を表示します（単位：％）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 純正品のインクおよびスマートチップカードを使用してください。純正品以外を使用すると、インクステータスが正しく表示されません。 インク残量が10%で点滅表示している場合、対応しているインクパックに対してスマートチップリカバリーが実行されています。 <p>→ 「スマートチップリカバリー」 P.179</p>
ジュミョウカクニン		<p>下記部品の寿命を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘッド ポンプ CR モーター PF モーター <p>部品寿命は、[*] 印の数で表示します（最大 5 個：残り 100 %）。部品寿命が近づくにつれて、[*] 印の数が 1 個（20 %）ずつ減っていきます。</p> <p>例：</p> <ul style="list-style-type: none"> [ポンプ : E ***** F]: 残り 100 ~ 80 % [ポンプ : E ** F]: 残り 40 ~ 20 % [ポンプ : E * F]: 残り 20 % 以下 [ポンプ : コウカン]: 部品の交換を依頼してください。交換になると、ディスプレイに [ジュミョウカクニン [ポンプ]] と表示されます。この表示は、[Enter] キーにて、非表示にできます。7 日経過すると再度表示されます。
ジョブステータス		
	ステータス	印刷が完了したかどうかを表示します。
	データナガサ	印刷データの全長（メディア送り方向）を表示します。
	インサツズミ	印刷されたデータの長さを表示します。
	インサツノコリ	印刷されなかったデータの長さを表示します。
ルイセキインサツメンセキ		購入してから現在までの印刷累積面積を表示します。
システムジョウホウ		
	バージョン	ファームウェア（M: メイン、C: コントローラー）のバージョンを表示します。
	モデル	プリンターのモデル名称を表示します。
	シリアル No.	プリンターのシリアル No. を表示します。
	インクシュルイ	使用しているインク種類を表示します。
	カラー	本製品のインク色数を表示します。

4 メンテナンス

メンテナンスについて	127
定期メンテナンス	132
廃液タンクを空にする	138
ご使用に合わせたメンテナンス	140
消耗品の交換	152
移動・輸送	161
長期保存	164

メンテナンスについて

プリンターの性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。

メンテナンスの種類と実施目安

◎ 定期メンテナンス

日常的、定期的に必要なメンテナンスです。

タイミング	項目
毎日の作業の開始前後	「ノズルチェックとクリーニング」 P.56
1週間に一度	<ul style="list-style-type: none"> 「クリーニングワイパーの清掃」 P.132 「キャップ外周の清掃」 P.134 「漬け置きクリーニング」 P.145 (推奨)
1か月に一度	「内部の清掃」 P.136
メッセージが表示されたら	「廃液タンクを空にする」 P.138

◎ ご使用に合わせたメンテナンス

プリンターの状況に合わせて適切な時期に実施してください。

タイミング	項目
ノズルの目詰まりがあったとき	「ヘッドクリーニング」 P.140
ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき	<ul style="list-style-type: none"> 「クリーニングワイパーの清掃」 P.132 「プリントヘッド周りの清掃」 P.141
ノズルの目詰まりが重度のとき	<ul style="list-style-type: none"> 「微量充てん」 P.144 「漬け置きクリーニング」 P.145 「ノズル選択」 P.148
調整印刷でオート調整が何度も失敗するとき	「カラーセンサーの清掃」 P.150
長期間使用しないとき	「長期保存」 P.164

● 消耗品の交換

安定した印刷を行うために、次の部品を適切な時期に交換してください。

タイミング	項目
約 2 か月 (使用頻度によりますので定期的に確認してください)	「フラッシングボックス用吸収材の交換」 P.152
<ul style="list-style-type: none"> メディアがきれいにカットできないとき カット部に毛羽立ちなどが発生したとき 	「カッターの交換」 P.155
約 12 か月	「クリーニングワイパーの交換」 P.158

📢 Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- 重障害エラーが繰り返し発生した。
- 各種モーター、ポンプ、プリントヘッドの寿命を知らせる画面が表示された。
→ [「メッセージとエラーメッセージ」 P.174](#)

メンテナンスの準備

❗ メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

メンテナンスに必要なもの

				
ゴーグル	ポリエチレン手袋	保護マスク	保護衣	クリーンスティック
				
スポイト	メンテナンス液	ペーパータオル		

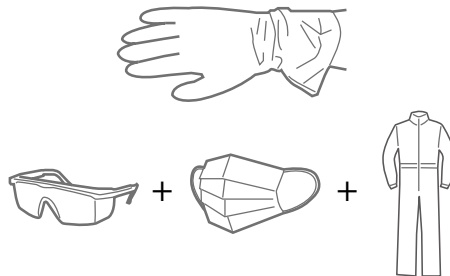
Note

- ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。
- ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
- 専用メンテナンス液などのサプライ品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

保護具をつける

次のメンテナンスを実施する場合は、付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグル等の保護具を着用してください。

- 「インクの確認と交換」 P.83
- 「クリーニングワイパーの清掃」 P.132
- 「キャップ外周の清掃」 P.134
- 「内部の清掃」 P.136
- 「廃液タンクを空にする」 P.138
- 「プリントヘッド周りの清掃」 P.141
- 「漬け置きクリーニング」 P.145
- 「カラーセンサーの清掃」 P.150
- 「フラッシングボックス用吸収材の交換」 P.152
- 「クリーニングワイパーの交換」 P.158



CR メンテナンスについて

キャリッジを移動して、メンテナンスが実施できる状態にします。

以下のメンテナンスを実施するときに使用します。

- 「クリーニングワイパーの清掃」 P.132
- 「キャップ外周の清掃」 P.134
- 「プリントヘッド周りの清掃」 P.141
- 「カラーセンサーの清掃」 P.150
- 「カッターの交換」 P.155
- 「クリーニングワイパーの交換」 P.158

1 [インサツデキマス] 表示中に [>] キーをタップする。

2 [^]/[V] キーで [CR メンテナンス カイシ -> Enter] を選びます。

CR メンテナンス
カイシ -> Enter

Note

パネル設定メニューからも実行できます。

1. [Home] キーをタップする。
2. [V] キーで [メニュー 2 メンテナンス] を選び、[>] キーをタップする。
- [メンテナンス 1 クリーニング [ビリョウ]] と表示されます。
3. [^]/[V] キーで [メンテナンス 4 ソノタ メンテナンス] を選び、[>] キーをタップする。
- [メンテナンス 1 CR メンテナンス] と表示されます。
4. [>] キーをタップする。
- [CR メンテナンス カイシ -> Enter] と表示されます。

3 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを開始する。

- キャリッジが左側のメンテナンススペースに移動します。
- ワイパーがメンテナンス位置に移動します。
- [CR メンテナンス シュウリョウ -> Enter] と表示されます。

4 カバーを開いて、各種メンテナンスを実施する。

- カバーを開いてから 10 分経過すると、[カバー ㊦ トジテクダサイ] と表示されます。

Note

[V] キーをタップすると、吸引ポンプが駆動し、キャップ内の液体を吸引します。

5 メンテナンスが終了したら、すべてのカバーを閉じる。

6 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

CR メンテナンス
シュウリョウ -> Enter

定期メンテナンス

クリーニングワイパーの清掃

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- 汚れが落ちにくいときは、クリーニング [微量] を実行してから清掃してください。
- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は 5 分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク
- クリーンスティック

2 保護具を着用する。

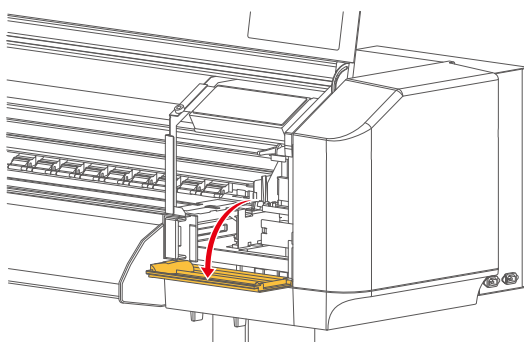
→ 「保護具をつける」 P.130

3 CR メンテナンス状態にする。

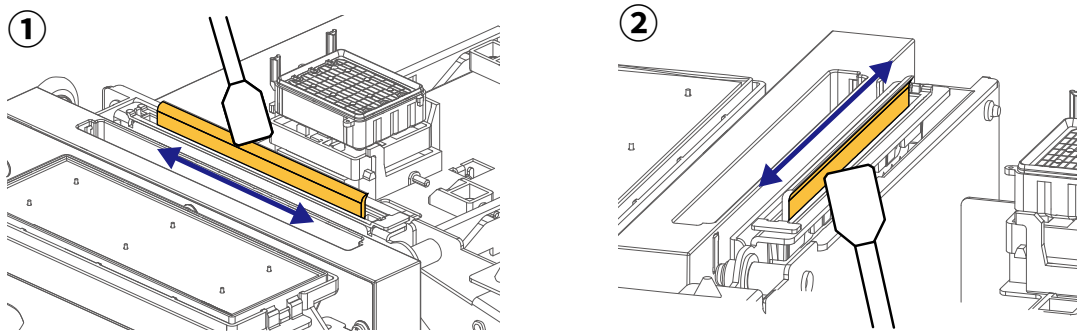
→ 「CR メンテナンスについて」 P.131

4 フロントカバーを開ける。

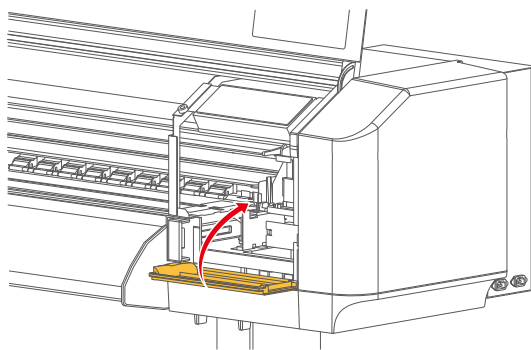
5 右側のメンテナンスカバーを開ける。



- 6** クリーニングワイパーに付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃する。
 クリーニングワイパーの左側面 (①) と右側面 (②) を前後に拭き取ります。



- 7** 右側のメンテナンスカバーを閉じる。



- 8** フロントカバーを閉じる。

- 9** [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

CR メンテナンス
 シュウリョウ → Enter

- 10** [Home] キーをタップして、手順を終了する。

CR メンテナンス
 カイシ → Enter

Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

キャップ外周の清掃

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- 汚れが落ちにくいときは、クリーニング [微量] を実行してから清掃してください。
- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク、保護衣
- クリーンスティック

2 保護具を着用する。

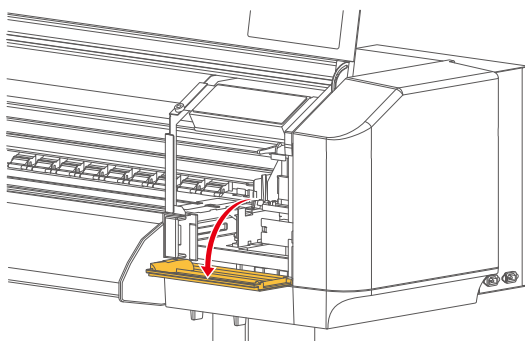
→ 「保護具をつける」 P.130

3 CR メンテナンス状態にする。

→ 「CR メンテナンスについて」 P.131

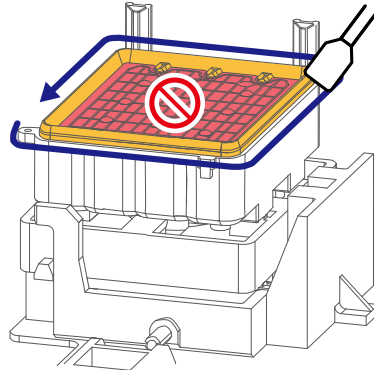
4 フロントカバーを開ける。

5 右側のメンテナンスカバーを開ける。



6 クリーンスティックで、キャップゴム外周とキャップゴムのふちに付着したインクやホコリを拭き取る。

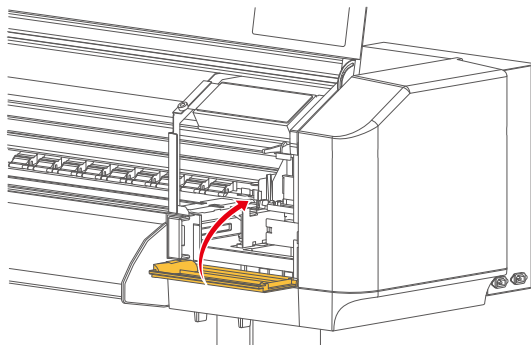
- ・  : 清掃箇所
- ・  : 吸収材 (絶対に触れないでください)



Important!

汚れが落ちにくいときは、クリーニング [微量] を実行してから清掃してください。

7 右側のメンテナンスカバーを閉じる。



8 フロントカバーを閉じる。

9 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

CR メンテナンス
シュウリョウ -> Enter

10 [Home] キーをタップして、手順を終了する。

CR メンテナンス
カイシ -> Enter

Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

内部の清掃

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

! 注意

! プリンター内部の清掃を実施するときは、必ず電源をオフして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

! Important!

印刷終了直後は、本製品のヒーターの温度が高くなっています。

プラテンやメディアガイドにさわってみて、熱い場合はしばらく時間をおいてから作業を始めてください。

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- 柔らかいブラシ
- ペーパータオルまたは柔らかい布
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）
- 手袋

2 保護具を着用する。

→ 「保護具をつける」 P.130

3 メディアを取り外す。

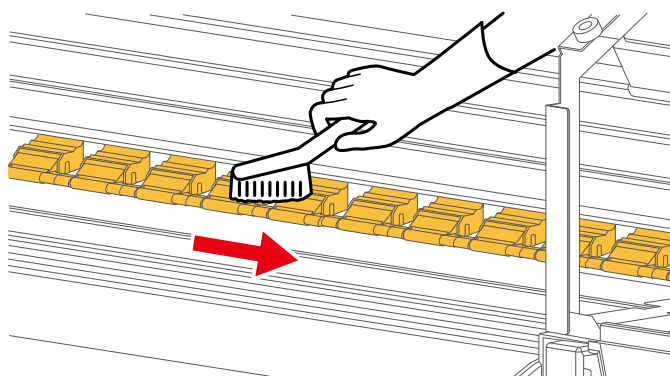
4 プリンターの電源をオフにする。

→ 「電源をオフにする」 P.42

5 電源プラグをコンセントから抜く。

6 フロントカバーを開ける。

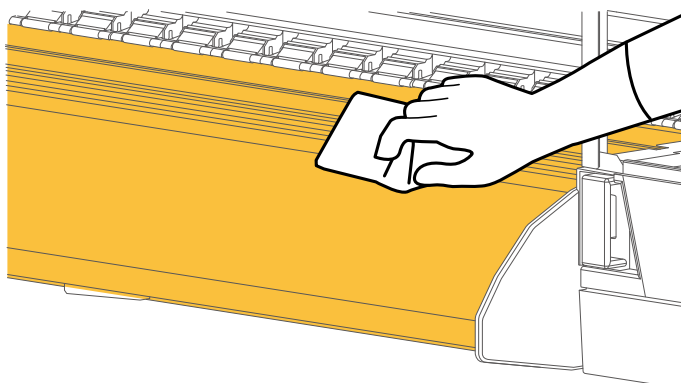
- 7 柔らかいブラシを使って、加圧アームのホコリを払う。



Important!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となるおそれがあります。

- 8 エタノールを少量染み込ませたペーパータオルまたは柔らかい布で、プラテンとメディアガイドおよびエッジホルダーなどに付着している汚れを拭き取る。



- 9 フロントカバーを閉じる。

- 10 電源プラグをコンセントに接続し、プリンターの電源をオンにする。

→ 「電源をオンにする」 P.39

廃液タンクを空にする

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

次の場合には、廃液タンクの廃液を容器に移して排出してください。

- 印刷開始前に廃液が廃液タンクに半分以上たまっている
- ディスプレイに下記の画面が表示された

ハイエキタンク マンタン

→ (P.176)

ハイエキ ヲ ステテ、
Enter キーヲ タップシテクダサイ

→ (P.175)

1 廃液を移し替える容器を用意する。

Important!

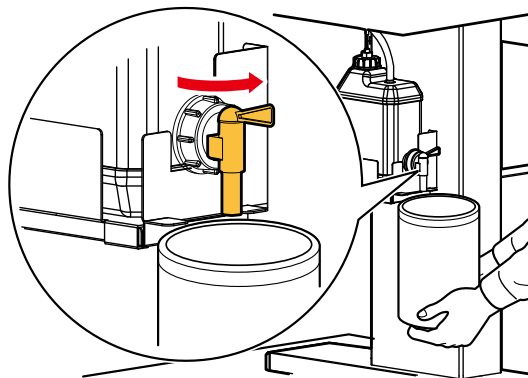
廃液タンクの容量は 2,000 ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

2 不要なメディアなどを廃液タンクの下の床に敷く。

3 保護具を着用する。

→ 「保護具をつける」 P.130

4 廃液コックを開き、空容器に廃液を移す。

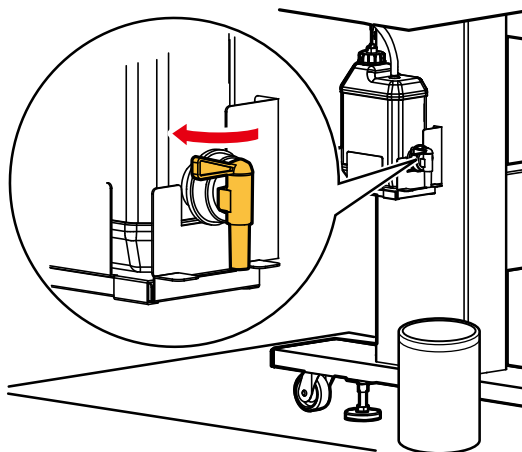


Important!

廃液バルブを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。廃液バルブの先端を空容器に入れてから処理してください。

5 廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉める。

- 廃液コックの口を布等で拭き取ります。

**6** 廃液は産業廃棄物として処理する。

ご使用に合わせたメンテナンス

ノズルの目詰まりがあったとき

ヘッドクリーニング

印刷の前にノズルチェックをして、ノズルの目詰まりがあったときはプリントヘッドをクリーニングします。

Important!

プリンターを1週間以上使用しない場合でも、1週間に一度はヘッドクリーニングを実施してください。

- 1 ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認する。
→ 「ノズルチェックをする」 P.56
- 2 ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
→ 「ヘッドクリーニングをする」 P.58

Note

→ 「ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき」 P.141

ヘッドクリーニングを繰り返しても効果がないとき

クリーニング「強力」を繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、プリントヘッド周り（プリントヘッド外周とクリーニングワイパー）を清掃してください。

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- 汚れが落ちにくいときは、クリーニング[微量]を実行してから清掃してください。
- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

プリントヘッド周りの清掃

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク
- クリーンスティック

2 保護具を着用する。

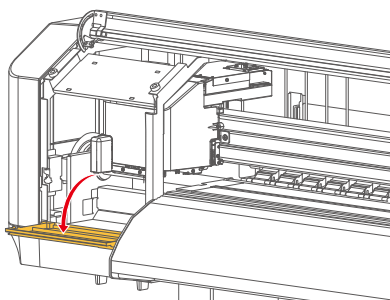
→ 「保護具をつける」 P.130

3 CRメンテナンス状態にする。

→ 「CRメンテナンスについて」 P.131

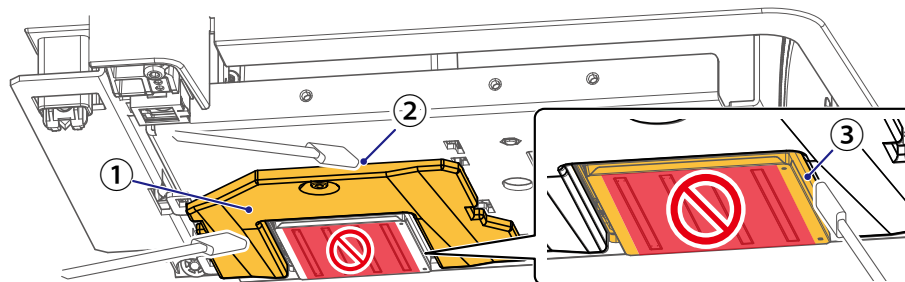
4 フロントカバーを開ける。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける。

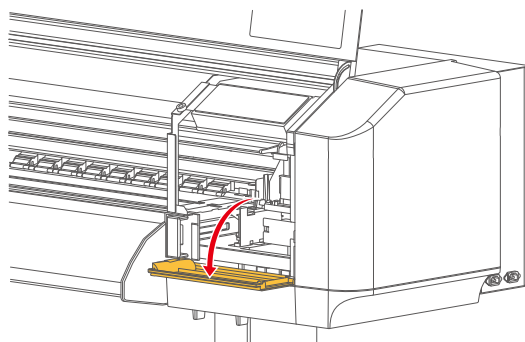


6 プリントヘッド周辺に付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃する。

- : 清掃箇所
 - プリントヘッドガイド部 (①)
 - プリントヘッドガイド部とキャリッジ底部とのすき間 (②)
 - プリントヘッドガイド部とプリントヘッドとのすき間 (③)
- : ノズル面 (絶対に触れないでください)

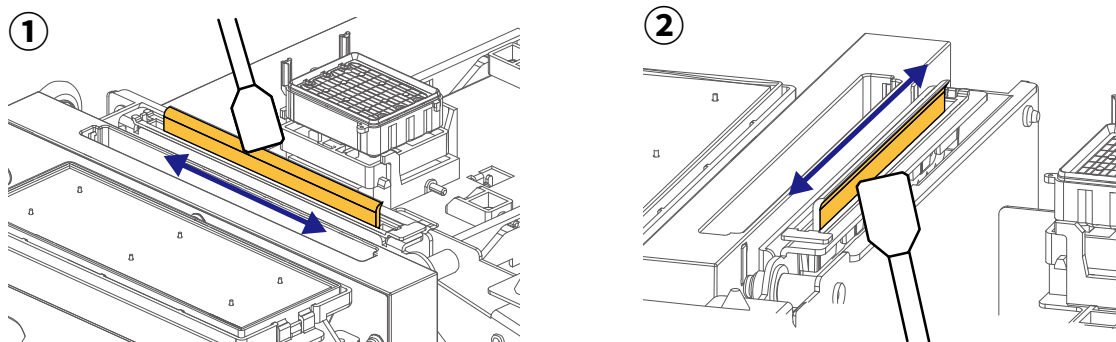


7 右側のメンテナンスカバーを開ける。



8 クリーニングワイパーに付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃する。

クリーニングワイパーの左側面 (①) と右側面 (②) を前後に拭き取ります。



9 左右のメンテナンスカバーを閉じる。

10 フロントカバーを閉じる。

11 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

```
CR メンテナンス
シュウリョウ      -> Enter
```

12 [Home] キーをタップして、手順を終了する。

```
CR メンテナンス
カイシ            -> Enter
```

 Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

 Note

プリントヘッド周り（プリントヘッド外周とクリーニングワイパー）を清掃してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、「微量充てん」を実施してください。

→ 「ノズルの目詰まりが重度のとき」 P.144

ノズルの目詰まりが重度のとき

微量充てん

クリーニング「強力」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。実施の際は注意事項をお守りください。

⚠ 注意

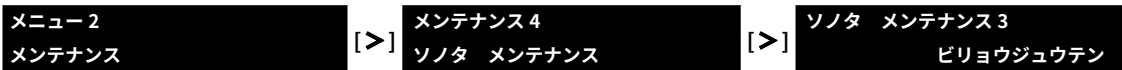
微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断すると、再充てんによるインク損失が発生します。

- 電源をオフにしないこと。
- 電源コードを抜かないこと。
- フロントカバー、メンテナンスカバーを開けないこと。
- 加圧アームを上げないこと。
- インクパックケース、スマートチップカードを抜かないこと。
- インク残量の少ないインクパックを使用しないこと。

1 [Home] キーをタップする。

2 「微量充てん」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [➤]キー：メニューに入ります。

3 [Enter] キーをタップして、微量充てんを開始する。

インクジュウテンチュウ **%

微量充てんが終了すると、[インサツデキマス]と表示されます。

Note

「微量充てん」を2～3回繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、「漬け置きクリーニング」を実施してください。

➔ 「漬け置きクリーニング」 P.145

漬け置きクリーニング

メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク
- スポイト（市販品）
- 専用メンテナンス液

2 保護具を着用する。

→ 「保護具をつける」 P.130

3 [インサツデキマス] 表示中に [>] キーをタップする。

4 [^] / [v] キーで [ツケオキクリーニング カイシ -> Enter] を選ぶ。

ツケオキクリーニング
カイシ -> Enter

Note

パネル設定メニューからも「漬け置きクリーニング」を実行できます。

1. [Home] キーをタップする。
2. [v] キーで [メニュー 2 メンテナンス] を選び、[>] キーをタップする。
- [メンテナンス 1 クリーニング [ピリョウ]] と表示されます。
3. [^] / [v] キーで [メンテナンス 4 ソノタ メンテナンス] を選び、[>] キーをタップする。
- [メンテナンス 1 CR メンテナンス] と表示されます。
4. [v] キーで [メンテナンス 2 ツケオキクリーニング] を選び、[>] キーをタップする。
- [ツケオキクリーニング カイシ -> Enter] と表示されます。

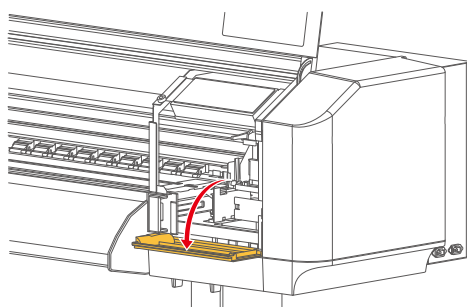
5 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを開始する。

- a. キャリッジが左側のメンテナンススペースに移動します。
- b. [センジョウエキヨミタス シュウリョウ → Enter] と表示されます。

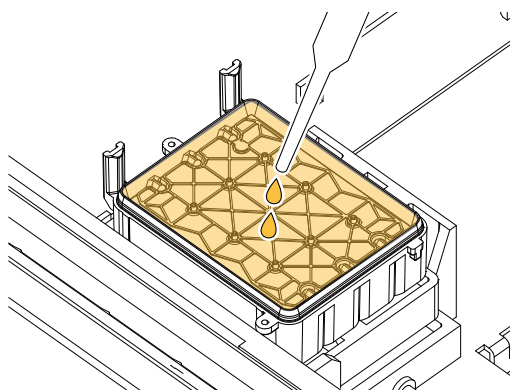
Important!

プリンターが以下の状態のときは、漬け置きクリーニングを実行できません。

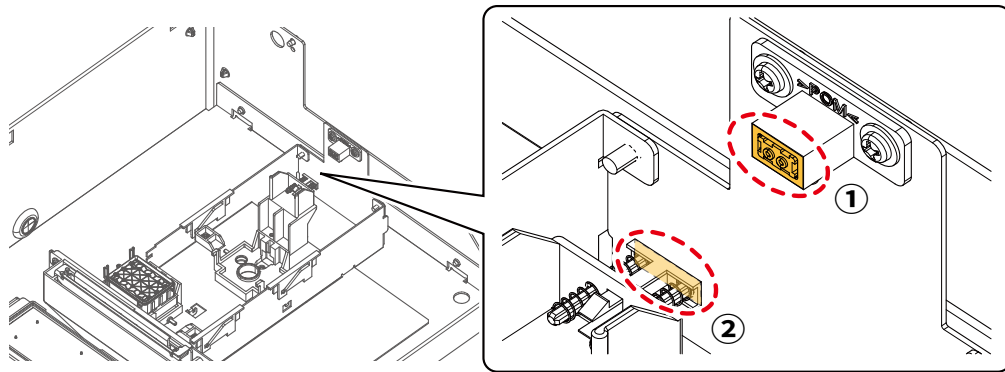
- フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている
- 廃液タンクが満タンになっている
- インクパックケースが取り外されている
- スマートチップカードが取り外されている
- 純正品以外のスマートチップカードが挿入されている

6 フロントカバーを開ける。**7** 右側のメンテナンスカバーを開ける。**8** キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

スポイトでメンテナンス液をとり、キャップからあふれる寸前まで注入してください。



9 ペーパータオルを使って、エアバルブの表面 (①と②の部分) に付着したインクを拭き取る。



10 [Enter] キーをタップする。

- キャリッジが元の位置へ戻ります。

センジョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ → Enter

11 [△]/[▽] キーで漬け置き時間を選び、[Enter] キーをタップする。

- 漬け置き時間は 10 分を推奨します。
- 漬け置き時間のカウントダウンが始まります。漬け置き時間経過後、空吸引につづいてクリーニングを開始します。(クリーニングが実行できない場合は、空吸引のみ)

ツケオキジカン
(1-99) 10 フン

12 漬け置きクリーニングを終了する。

スポイトに付着したメンテナンス液をペーパータオルで拭き取ります。

Note

専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

Note

「漬け置きクリーニング」を実施してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、目詰まりのないノズルを選択することができます。

→ 「ノズル選択」 P.148

ノズル選択

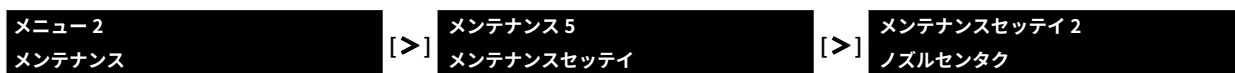
使用するノズルを制限することができます。ノズルの目詰まりが解消しない場合に使用します。確認パターンを印刷し、目詰まりがないパターンを選びます。

Step1. 確認パターンを印刷する

1 [Home] キーをタップする。

2 「ノズル選択」メニューにアクセスする。

メニューフロー

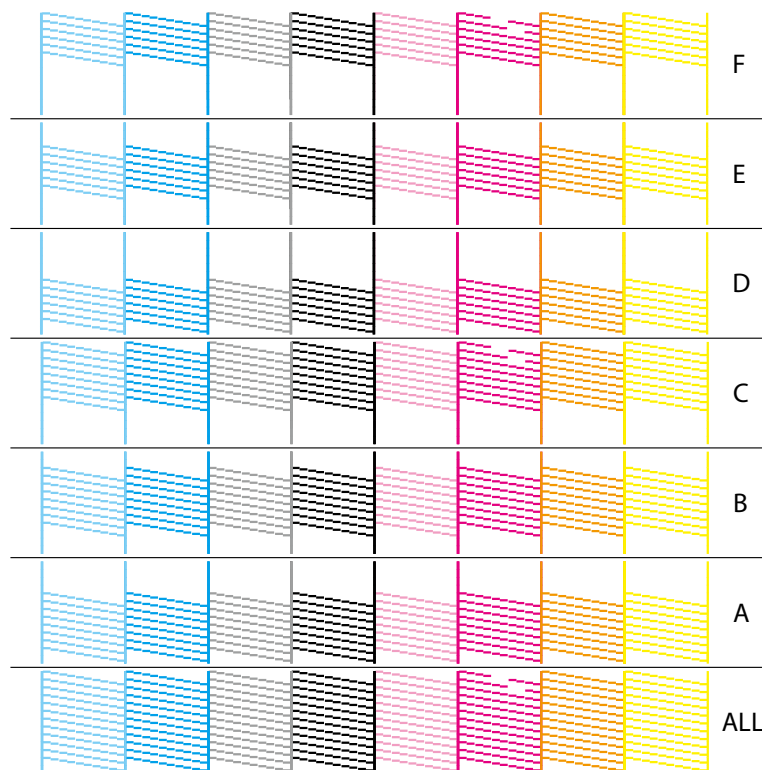


- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [➤]キー：メニューに入ります。

3 [➤]キーをタップする。

4 [▲]/[▼]キーで [カクニパターンインサツ] を選び、[Enter] キーをタップする。

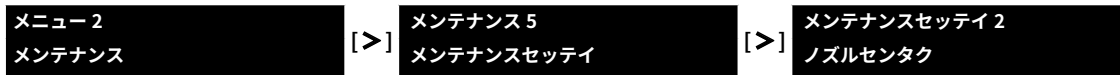
- 確認パターンが印刷されます。
- 印刷結果を確認し、ノズルの目詰まりがないパターンを探します。下図の場合、A,B,D,E のパターンはノズルの目詰まりがありません。



Step2. ノズルを選ぶ

1 「ノズル選択」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- [↑]/[↓]キー：メニューを選びます。
- [→]キー：メニューに入ります。

2 [→]キーをタップする。

3 [↑]/[↓]キーで[ノズルエリアセッテイ]を選び、[→]キーをタップする。

[↑]/[↓]キーでノズルの目詰まりのないパターンを選択し、[Enter]キーをタップして決定します。

Note

- ノズルの目詰まりがないパターンが複数ある場合は、使用するノズルが多いパターンを選択します。ノズルが多い順番は、ALL>A=B=C>D=E=F になります。例えば A と D が選択可能な場合は、A を選択してください。
- ノズルエリア設定を有効にした場合、MPS 機能は無効になります。

調整印刷でオート調整が何度も失敗するとき

カラーセンサーの清掃

! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

- クリーンスティックでカラーセンサーのガラス面を強く押さないでください。ガラスが破損する原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、カラーセンサーの誤動作の原因となります。
- 作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク
- クリーンスティック
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

2 保護具を着用する。

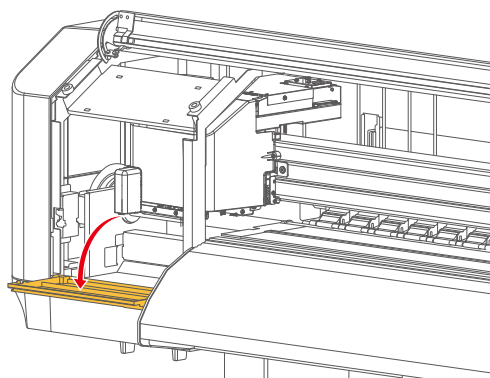
→ 「保護具をつける」 P.130

3 CR メンテナンス状態にする。

→ 「CR メンテナンスについて」 P.131

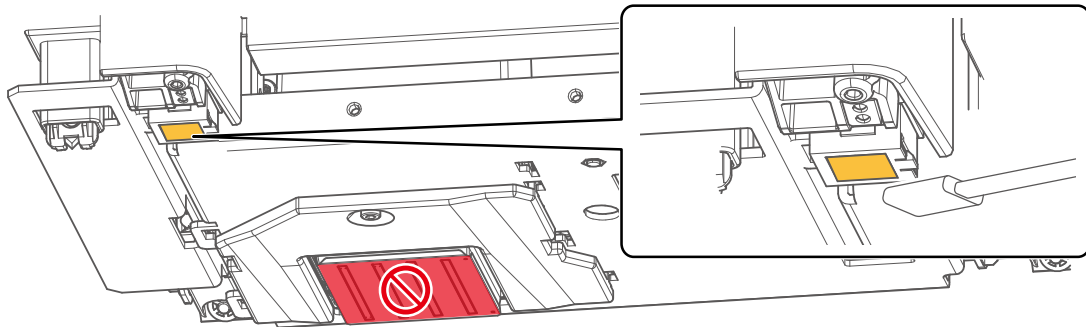
4 フロントカバーを開ける。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける。

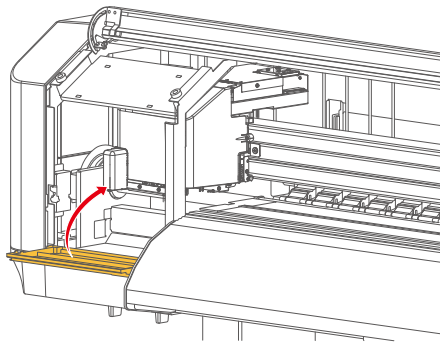


6 キャリッジの下側にある、カラーセンサーのガラス面に付着したインクやホコリを清掃する。
エタノールを少量染み込ませたクリーンスティックで、やさしく清掃してください。

- : 清掃箇所 (ガラス面は強く押さないでください)
- : ノズル面 (絶対に触れないでください)



7 左側のメンテナンスカバーを閉じる。



8 フロントカバーを閉じる。

9 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

CR メンテナンス
シュウリョウ → Enter

10 [Home] キーをタップして、手順を終了する。

CR メンテナンス
カイシ → Enter

Note

使用済みのクリーンスティックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

Important!

問題が解決しない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。

フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、プリントヘッドが故障する原因になります。

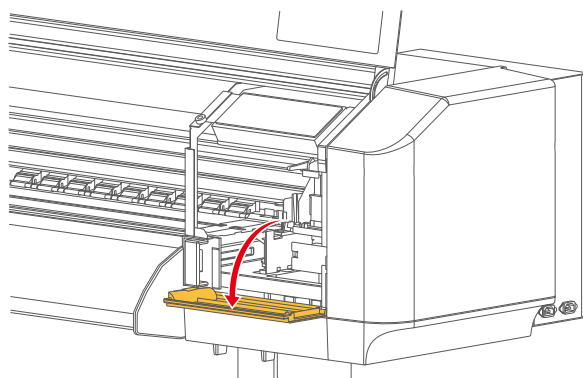
! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

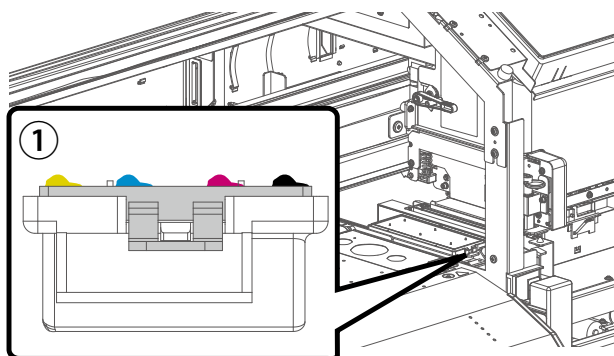
→ 「インクと廃液について」 P.17

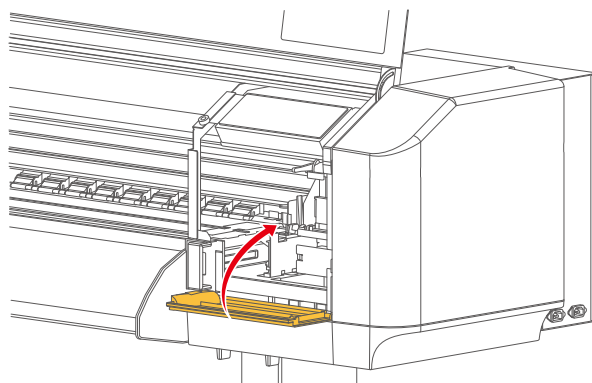
Step1. 確認方法

- 1 フロントカバーを開ける。
- 2 右側のメンテナンスカバーを開ける。



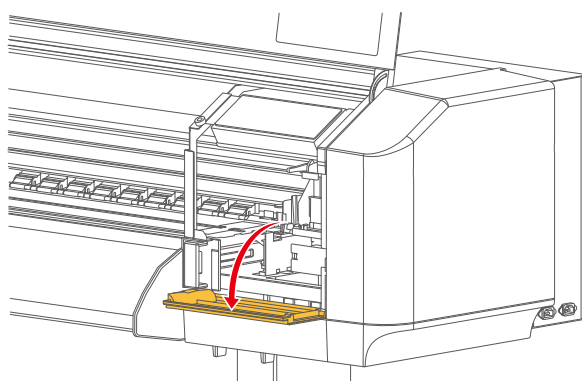
- 3 フラッシングボックス用吸収材を確認する。
 - インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。



4 右側のメンテナンスカバーを閉じる。**5** フロントカバーを閉じる。**Step2. 交換方法****1** メンテナンスに必要なものを用意する。

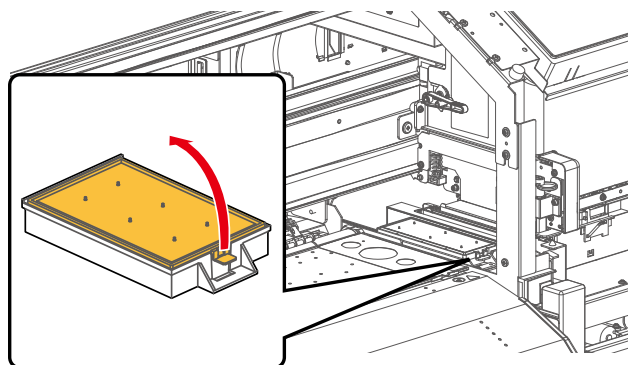
必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク
- フラッシングボックス用吸収材
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

2 保護具を着用する。**3** フロントカバーを開ける。**4** 右側のメンテナンスカバーを開ける。**5** プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷く。**Important!**

フラッシングボックス用吸収材からインクがたれることがあります。床にも紙を敷くことをお勧めします。

- 6 フラッシングボックス用吸収材のツメ部を持ち上げてフックを解除し、フラッシングボックス用吸収材を取り外す。



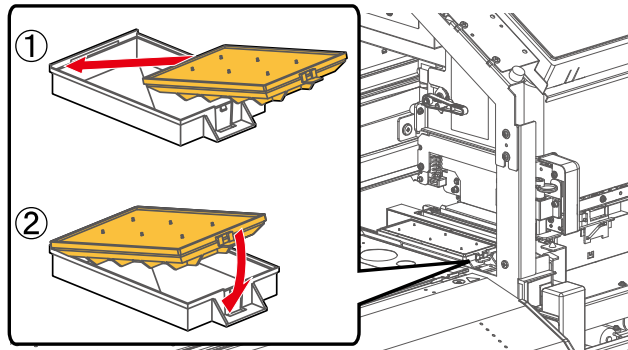
Important!

フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクがたれ落ちないように注意してください。

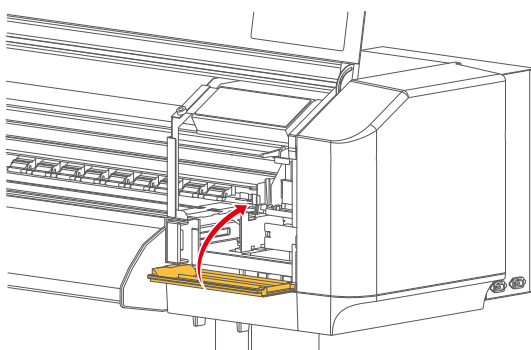
Note

使用済みのフラッシングボックス用吸収材は、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

- 7 新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付ける。



- 8 右側のメンテナンスカバーを閉じる。



- 9 フロントカバーを閉じる。

カッターの交換

⚠ 注意

- ⚠ カッターのつまみを強く押ししたり、急に離したりしないでください。
カッターの下にバネがありますので、カッターが飛び出す可能性があります。
- カッターの刃先には触れないでください。
けがをするおそれがあります。

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

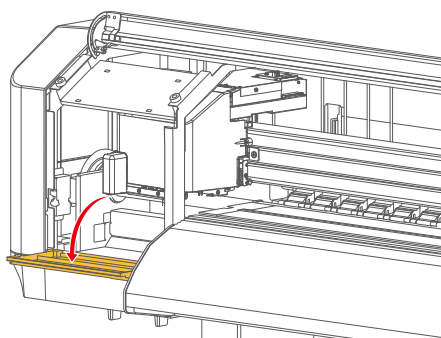
- カッター交換刃

2 CR メンテナンス状態にする。

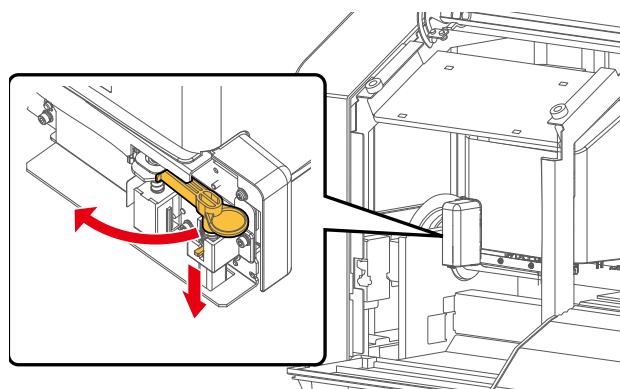
→ 「CR メンテナンスについて」 P.131

3 フロントカバーを開ける。

4 左側のメンテナンスカバーを開ける。

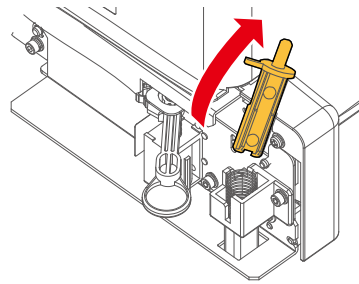


5 カッターのつまみを軽く押しながら、カッターキャップを図の方向に回転させる。

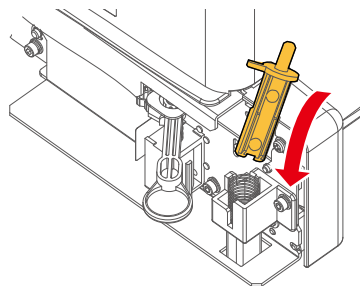
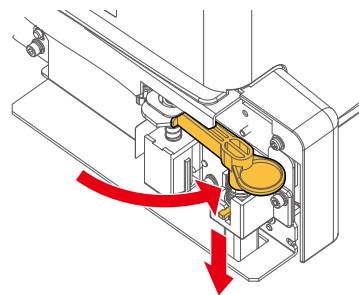
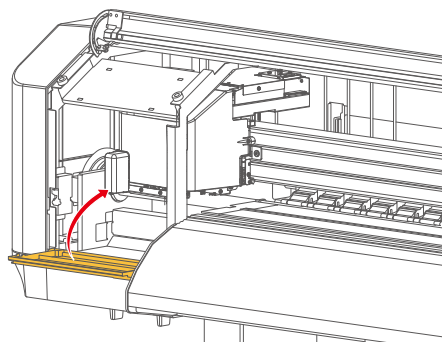


📌 Important!

カッターキャップを下方向に押さないでください。
カッターキャップが破損するおそれがあります。

6 カッターを取り出す。**Note**

使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

7 新しいカッターを取り付ける。**8** カッターのつまみを軽く押しながら、カッターキャップを元の位置に戻す。**9** 左側のメンテナンスカバーを閉じる。

10 フロントカバーを閉じる。

11 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

```
CR メンテナンス  
シュウリョウ      -> Enter
```

12 [Home] キーをタップして、手順を終了する。

```
CR メンテナンス  
カイシ            -> Enter
```

クリーニングワイパーの交換

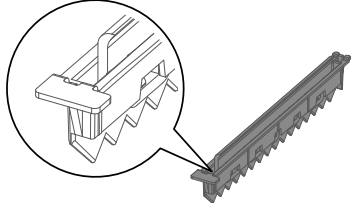
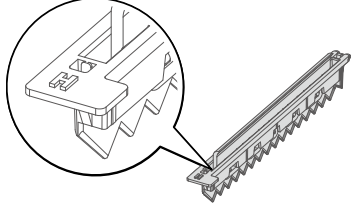
! メンテナンスを始める前に、必ず以下をお読みください。

→ 「メンテナンスについて」 P.16

→ 「インクと廃液について」 P.17

Important!

- クリーニングワイパーは2種類（黒 / グレー）あります。
- プリントヘッドの高さとクリーニングワイパーの組み合わせがあります（下表参照）。正しい組み合わせでない場合、正常にクリーニングすることができません。プリントヘッドの高さを変更した場合は、組み合わせを確認し、必要に応じてクリーニングワイパーを交換してください。
- 出荷時は黒のクリーニングワイパーが取り付けられています。

プリントヘッドの高さ	クリーニングワイパーの種類
「Low1」、「Low2」、「Middle」の場合	黒（出荷時装着） 
「High」の場合	グレー（同梱品） 

1 メンテナンスに必要なものを用意する。

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴーグル、保護マスク
- 交換用クリーニングワイパー
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

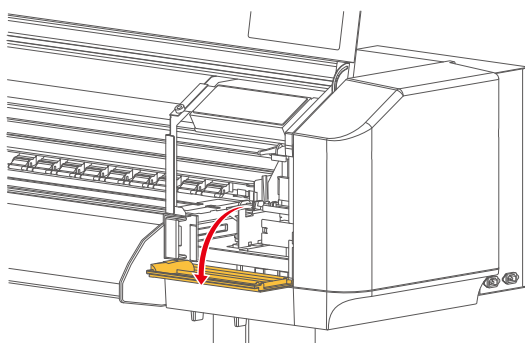
2 保護具を着用する。

3 CR メンテナンス状態にする。

→ 「CR メンテナンスについて」 P.131

4 フロントカバーを開ける。

5 右側のメンテナンスカバーを開ける。



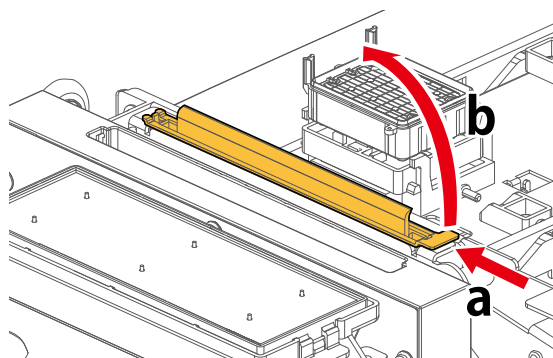
6 プラテンに、汚れてもかまわない紙を敷く。

Important!

クリーニングワイパーからインクがたれることがあります。床にも紙を敷くことをお勧めします。

7 クリーニングワイパーを取り外す。

- クリーニングワイパーのツメ部を奥に押し、手前のフックを解除する。
- クリーニングワイパーのツメ部を持上げて、クリーニングワイパーを取り外します。



Important!

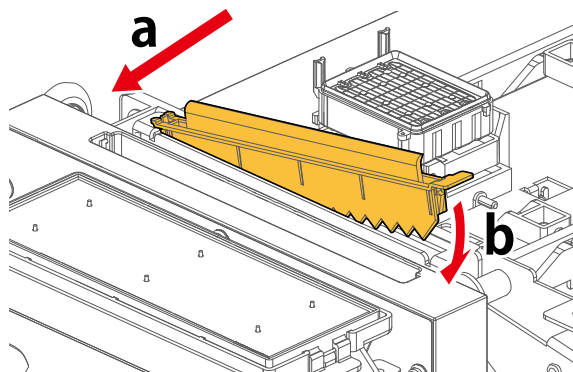
クリーニングワイパーを取り外すときに、インクが垂れ落ちないように注意してください。

Note

使用済みのクリーニングワイパーは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

8 ヘッド高さにあわせたクリーニングワイパーを取り付ける。

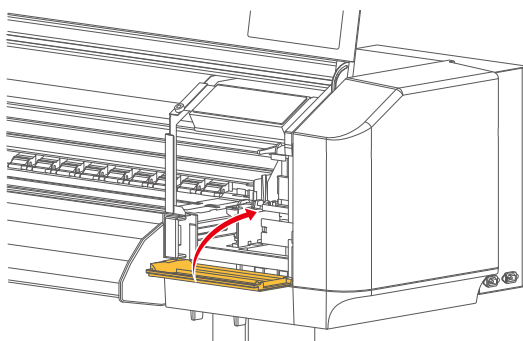
- a. クリーニングワイパーの奥側を挿入します。
- b. クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。



Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

9 右側のメンテナンスカバーを閉じる。



10 フロントカバーを閉じる。

11 [Enter] キーをタップして、メンテナンスを終了する。

```
CR メンテナンス
シュウリョウ    -> Enter
```

12 [Home] キーをタップして、手順を終了する。

```
CR メンテナンス
カイン          -> Enter
```

移動・輸送

移動の方法

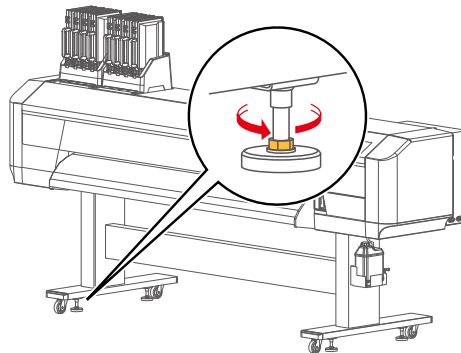
本製品の移動方法について説明します。

Important!

- 短い距離の移動でも廃液タンクを空にしてください。故障の原因になります。
- 本製品を水平の状態を保ったまま、必ず3人以上で移動してください。移動後の正常動作は保証できません。
- 本製品を移動するときは安全靴の着用を推奨します。

移動準備

- 1 プリンターの電源をオフにする。
→ 「電源をオフにする」 P.42
- 2 廃液タンクを空にする。
→ 「廃液タンクを空にする」 P.138
- 3 電源コードなどのケーブル類をすべて取り外す。
- 4 専用スタンドのアジャスター（4か所）を、左図の方向に回転させて緩める。



- 5 本製品を移動する。
→ 「移動後の手順」 P.162

移動後の手順

- 1 設置に適した場所を確認する。
→ スタートアップガイド「設置場所の確認」
- 2 設置場所に移動後、製品を固定する。
- 3 電源コードなどのケーブル類を取り付ける。
- 4 プリンターの電源をオンにする。
→ 「電源をオンにする」 P.39
- 5 ノズルチェックをして、目詰まりがないかを確認する。
→ 「ノズルチェックとクリーニング」 P.56
- 6 調整印刷を実施する。
→ 「調整印刷」 P.94

輸送の方法

本製品を輸送する場合は、振動や衝撃から製品本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

Important!

本製品を輸送する場合は、お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

長期保存

長期間使わないときは、プリンターからインクを排出して保管してください。

インク排出

1 長期保存に必要なものを用意する。

必要なもの：

- 洗浄パック：4本

2 [Home] キーをタップする。

3 「インク排出」メニューにアクセスする。

メニューフロー

メニュー2
メンテナンス

[>]

メンテナンス4
ソノタ メンテナンス

[>]

ソノタ メンテナンス5
インクハイシュツ

- [▲]/[▼]キー：メニューを選びます。
- [>]キー：メニューに入ります。

4 [>] キーをタップする。

5 [Enter] キーをタップし、作業を開始する。

インクハイシュツ
カイン → Enter

6 [▲]/[▼]キーで[センジョウエキ ガ ヒツヨウデス ハイ]を選び、[Enter] キーをタップする。

センジョウエキ ガ ヒツヨウデス
ハイ

以下が表示されます。

ハイエキ ヲ ステテクダサイ
→ Enter

7 廃液タンクを空にして、[Enter] キーをタップする。

→ 「[廃液タンクを空にする](#)」 P.138

Note

[Cancel] キーをタップすると、「インク排出」メニューをキャンセルできます。

8 [△]/[▽]キーで[ハイ]を選び、[Enter]キーをタップする。

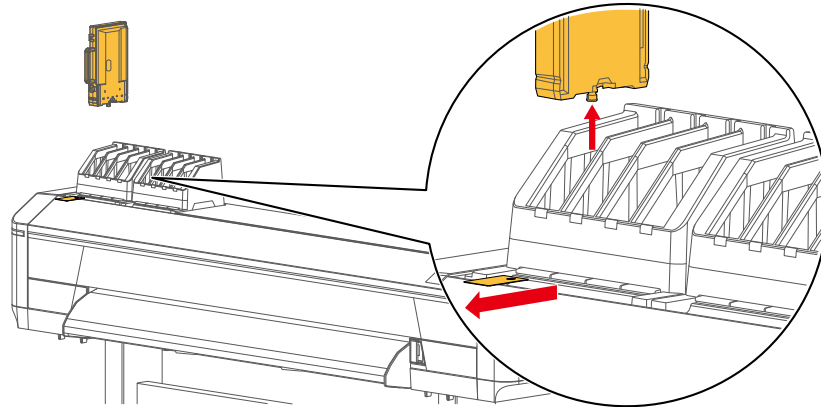
ハイエキ ヲ ステマンタカ？
ハイ

以下が表示されます。

バック ヲ ヌイテクダサイ

9 すべてのインクパックケースとスマートチップカードを取り外す。

- a. インクパックとスマートチップカードの対応関係が分かるように保管してください。



- b. すべてのインクパックケースとスマートチップカードを取り外すと、インクが排出されます。

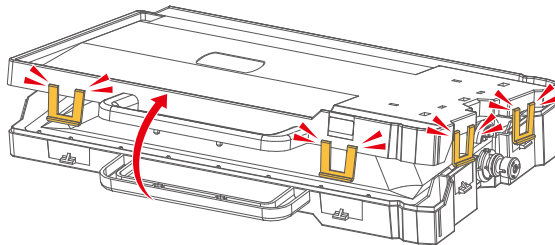
インクハイシュツチュウ

- c. 排出が終わると、以下が表示されます。

センジョウパック ヲ セット

10 洗浄パックをインクパックケースにセットする。

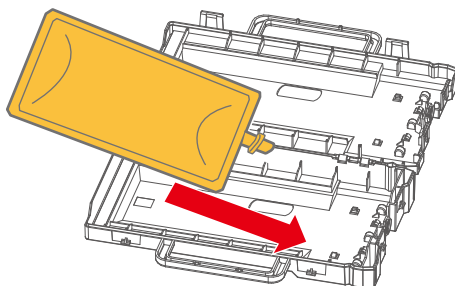
- a. インクパックケースの留め具（4か所）を外し、インクパックケースを開けます。



Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

- b. 洗浄パックをインクパックケースにセットします。

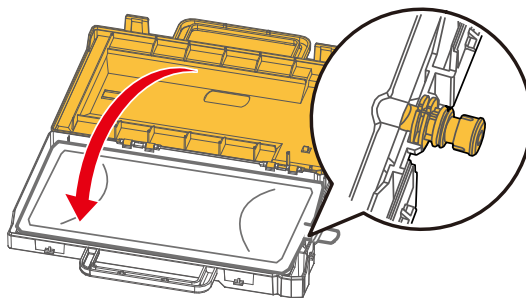


Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

11 インクパックケースを閉じる。

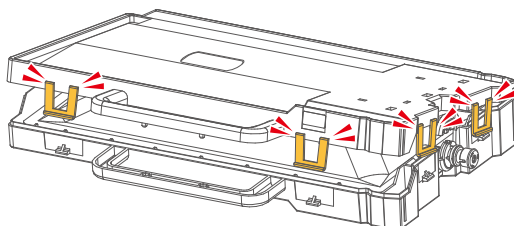
- a. 洗浄パックの口が固定されていることを確認してください。



Important!

固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。

- b. インクパックケースの留め具（4か所）をしっかりと固定してください。

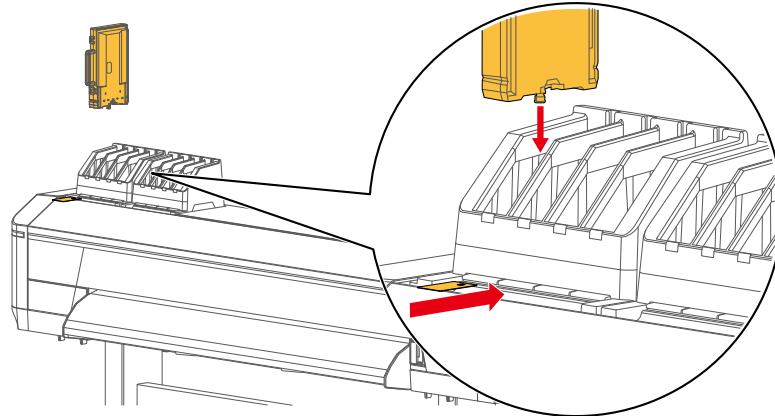


Important!

固定されていない場合、インク漏れの原因となるおそれがあります。

12 インクパッケージとスマートチップカードをインクスロットにセットする。

- インクパッケージの留め具が手前にある状態で差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。



- すべてのインクパッケージをセットすると、インク排出が開始されます。

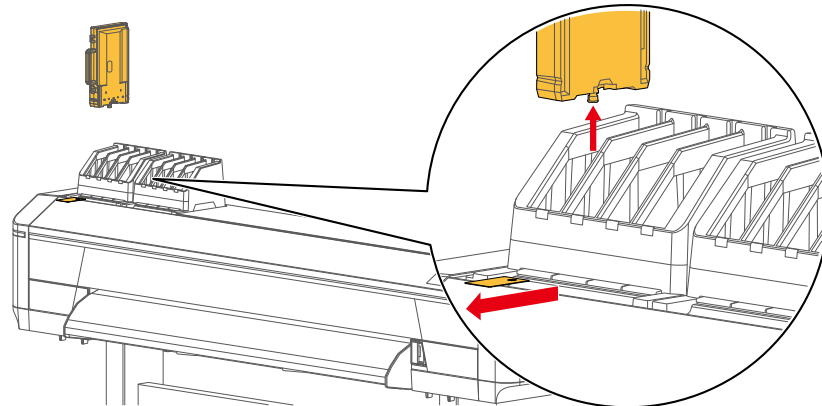
インクハイシュツチュウ

- 洗浄液の充てんが終わると、以下が表示されます。

バック ヲ ヌイテクダサイ

13 すべてのインクパッケージとスマートチップカードをインクスロットから取り外す。

- インクパックとスマートチップカードの対応関係が分かるように保管してください。



- すべてのインクパッケージとスマートチップカードを取り外すと、洗浄液が排出されます。

インクハイシュツチュウ

- 排出が終わると、[センジョウバック ヲ セット]と表示されます。

センジョウバック ヲ セット

14 Step 9 - 12 を繰り返す。

排出が完了すると、[[オール] ミジューテン] と表示されます。

[オール] ミジューテン

15 プリンターの電源をオフにする。

→ 「電源をオフにする」 P.42

Note

→ 「インク排出後の初期充電」 P.169

インク排出後の初期充てん

⚠ 注意

❌ インク充てん中に、以下の操作をしないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源コードを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- 加圧アームを上げる

1 プリンターの電源をオンにする。

→ 「電源をオンにする」 P.39

2 [Enter] キーをタップする。

インクジュウテン
カイシ → Enter

3 [センジョウ シマスカ? イイエ] が表示されたら、[Enter] キーをタップする。

センジョウ シマスカ?
イイエ

📝 Note

ヘッド洗浄をする必要がある場合は、[V] キーで [センジョウ シマスカ? ハイ] を選び、[Enter] キーをタップしてください。以降はディスプレイの表示に従ってください。

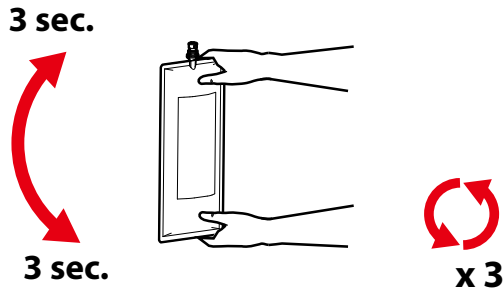
洗浄が完了すると [インクパック ㊦ セット] が表示されます。次の Step に進んでください。

以下のメッセージが表示されます。

インクパック ㊦ セット

4 新しいインクパックをかくはんする。

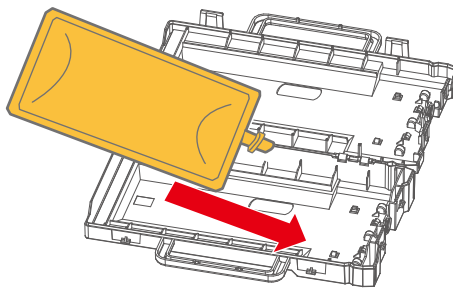
- a. 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- b. 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- c. 上記を 3 回繰り返します。



Important!

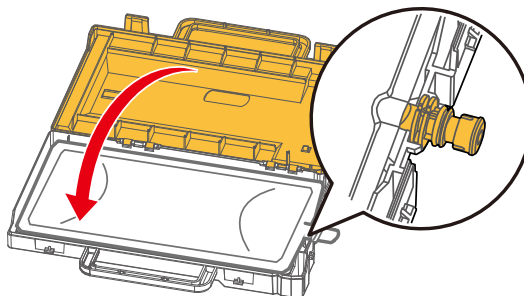
必ず新しいインクパックを使用してください。インク残量が不十分なインクパックを使用すると初期充電中にインクエンドとなり、再充電によるインク損失が発生します。

5 インクパックをインクパックケースにセットする。



6 インクパックケースを閉じる。

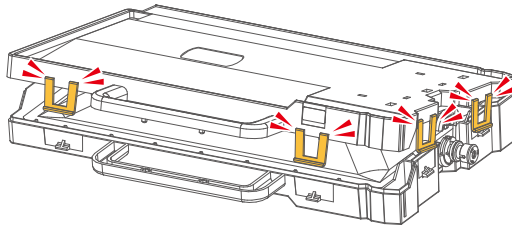
- a. インクパックの口が固定されていることを確認してください。



Important!

固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。

- b. インクパッケージの留め具（4 か所）をしっかりと固定してください。

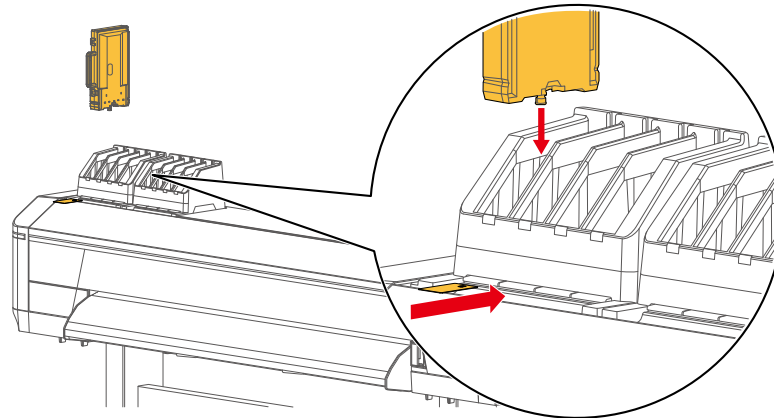


Important!

固定されていない場合、インク漏れの原因となるおそれがあります。

7 インクパッケージとスマートチップカードをインクスロットにセットする。

- a. プリンターのインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。
- インクパッケージの留め具が手前にある状態で差し込みます。
 - 奥までしっかり差し込んでください。



- b. すべてのインクパッケージをセットすると、インク充てんが開始されます。

インクジュウテンチュウ **%

8 インク充てんが終了すると、[メディア ナシ]と表示されます。

メディア ナシ

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを実施すると、次のような現象が発生することがあります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、「微量充てん」を実施してから、印刷結果を確認してください。微量充てんを実施しても印刷結果に変化がない場合は、プリンターを1時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを実施してから印刷結果を確認してください。

→ 「微量充てん」 P.144

それでも改善されない場合は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

5 困ったときは

メッセージとエラーメッセージ 174

トラブルシューティング 181

メッセージとエラーメッセージ

ここでは、表示されるメッセージと対処方法について説明します。

動作状態表示

プリンターが正常に動作している場合のメッセージについて説明します。

表示	説明
インサツデキマス	待機中（メディアはセットされています）。
メディア ナシ	待機中（メディアはセットされていません）。 → 「メディアのセット方法」 P.43
データジュシンチュウ	データ受信中です。
データカイセキチュウ	データ解析中です。
データインサツチュウ	印刷中です。
インサツ ノコリ: XXX.Xm	現在印刷しているデータについて、まだ印刷されていないデータの長さをメートルで表示します。
ノコリジカン: XXXX フン	現在印刷しているデータについて、印刷にかかる残り時間を分で表示します。
ロールシ ノコリ XXXXm	現在セットしているロールメディアの残りの長さをメートルで表示します。
インサツ イチジテイシチュウ インサツ キャンセル → Enter	印刷を一時停止中です。 <ul style="list-style-type: none"> • [Cancel] キーをタップすると、印刷を再開します。 • [Enter] キーをタップすると、印刷をキャンセルします。
キャンセルチュウ	印刷を中止しています。
フロントフィールドチュウ	メディアを前側に送り出しています。
バックフィールドチュウ	メディアを巻き戻しています。
ウォームアップチュウ	ヒーターを暖めています。
ウォームアップチュウ スキップ → Enter	ヒーターが暖まる前に印刷を開始する場合は、 [Enter] キーをタップしてください。
クリーニングチュウ ** %	クリーニング中です。しばらくお待ちください。
ジドウノズルチェック	(オプション 吐出検知ユニット装着時) 自動ノズルチェック中です。しばらくお待ちください。
インクジュウテンチュウ ** %	インク充てん中です。しばらくお待ちください。
サブタンクジュウテンチュウ ** %	サブタンク充てん中です。しばらくお待ちください。
ヘッドセンジョウチュウ	初期洗浄で洗浄液の充てんおよび排出を実施しています。 または、ヘッド洗浄処理で、プリントヘッドの洗浄中です。しばらくお待ちください。
メディア: Type ** OK?	メディアイニシャル中です。しばらくお待ちください。 (**は設定したメディア設定 Type を表示します)
メディアイニシャルチュウ	

表示	説明
ゲンテンイチ ニ イドウチュウ	「原点設定」メニューで、プリントヘッドが印刷開始位置に移動中です。しばらくお待ちください。
イチカクニン シュウリョウ → Enter	プリントヘッドが印刷開始位置に移動しました。位置を確認し、[Enter] キーをタップしてください。
デンゲンシャダンチュウ	プリンターの電源をオフしています。しばらくお待ちください。
インクパック ヲ セット	インク充てん中です。インクパックケースを取り付けてください。
センジョウパック ヲ セット	ヘッド洗浄処理中です。洗浄パックを取り付けてください。
パック ヲ ヌイテクダサイ	ヘッド洗浄処理中またはインク排出処理中です。インクパックケースを取り外してください。
ハイエキ ヲ ステテ、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	初期充てん中に廃液タンクが満タンになりました。廃液タンクを空にして、[Enter] キーをタップしてください。
S/C リード チュウ	スマートチップカードの読み取り中です。
*** リモート モード *** シュウリョウ → Enter	MSM などでリモートパネルモードを実行中です。リモートパネルモード中は、プリンターコントロールパネルからの操作はできません。 [Enter] キーをタップすると、リモートパネルモードを強制終了します。
ロールシ ザンリョウ エラー	メディアの残量カウントがゼロになりました（印刷を停止します）。
ロールシ ニアエンド *** m	メディアの残量カウントがもうすぐゼロになります。メディアの残量は* mです。
ジュミョウカクニン [ポンプ] カクニン → Enter	ポンプモーターの寿命が近づいています（動作を継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
ジュミョウカクニン [CR モータ] カクニン → Enter	CR モーターの寿命が近づいています（動作を継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
ジュミョウカクニン [PF モータ] カクニン → Enter	PF モーターの寿命が近づいています（動作を継続します）。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

メッセージ型エラー表示と対処方法

メッセージ型エラーの内容とその対策について説明します。

メッセージ型エラーは、プリンターの動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。

プリンターコントロールパネルのディスプレイにエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	説明
カバーオープン	カバー（フロントカバー、メンテナンスカバー右、メンテナンスカバー左）のいずれか、またはすべてが開いています。カバーを閉じてください。
プレッシャーローラーヲサゲテクダサイ	加圧アームが上がっています。加圧アームを下ろしてください。
メディアヲセットシテクダサイ	メディアがセットされていません。メディアをセットしてください。 → 「メディアのセット方法」 P.43
メディアニンシキエラー	メディア認識に失敗しました（動作を停止します）。 メディアをセットし直してください。
メディアシャコウエラー	メディアが斜行しました（動作を停止します）。 メディアをセットし直してください。
メディアカットエラー	メディアがカットできませんでした（動作を停止します）。 メディアをセットし直してください。
ロールシエンド	メディアがなくなりました（動作を停止します）。 新しいメディアをセットしてください。 「メディアのセット方法」 P.43
ヘッドタカサヲ**** ニシテクダサイ PG: **** W: **** mm	印刷データで指定されているヘッド高さを実際のヘッド高さが異なっています。表示されたヘッド高さに変更してください。 → 「プリントヘッドの高さについて」 P.61
[****] インク ナシ	インクがなくなりました（動作を停止します）。 新しいインクパックに交換してください。 → 「インクパックの交換」 P.85
[****] パック ナシ	インクパックケースが挿入されていません（動作を停止します）。 インクパックケースを挿入してください。
[****] S/C カード ナシ	スマートチップカードが挿入されていません（動作を停止します）。 スマートチップカードを挿入してください。
[****] S/C インク スクナイ	インクが少なくなりました（動作は継続します）。 交換用インクパックを準備してください。
[****] S/C インク ナシ	スマートチップカードの残量がなくなりました（動作を停止します）。 新しいインクパックに交換してください。 → 「インクパックの交換」 P.85
[*] S/C カード コウカン	新しいスマートチップカードに交換してください。
[****] ミジュウテン	インクが充てんされていません。初期充てんを実施してください。 → 「インク排出後の初期充てん」 P.169
ハイエキタンク マンタン	廃液タンクが満タンになりました（動作を停止します）。 ただちに廃液を容器に移してください。 → 「廃液タンクを空にする」 P.138

表示	説明
[****] S/C リード エラー	スマートチップカードの読み取りに失敗しました。 スマートチップカードを挿入し直してください。
[****] S/C カラー エラー	インクパッケージが、間違ったインクカートリッジスロットに取り付けられています。 インクパッケージを正しいインクカートリッジスロットに取り付けてください。
[****] S/C インク エラー	本製品で使用できない種類のインクです。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
[****] S/C コード エラー	適切でないインクパックが挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
[****] ハソシタ チップ	スマートチップカードが破損しています。 新しいインクパックに交換してください。 → 「インクパックの交換」 P.85
キノウ ハ ムコウデス インサツエリア フソク	印刷可能領域の幅が不足しているため、印刷が実行できません。 印刷可能領域の幅は、セットしているメディアのメディア幅を基準に、原点設定の CR (キャリッジ移動) 方向の変更量と、サイドマージンの変更量 (左右合計) によって増減します。 → [セッテイ] P.115 > [メディアハバ] P.115、[ゲンテンセッテイ] P.118、[サイドマージン] P.118 必要な印刷可能領域の幅は機能ごとに異なります。適切な幅になるように調整してください。 → 「調整印刷」 P.94 (550 mm 以上) → 「メディア送り補正」 P.100 (400 mm 以上) → [ロールシザンリョウカンリ] P.122 > [インサツ] P.122、[カンインサツ] P.122 (400 mm 以上)
キノウ ハ ムコウデス メディアケンシュツ オフ	「メディア検出」メニューが [オフ] に設定されているため、「ロール紙残量管理」メニューが表示できません。 「メディア検出」メニューを [Top&Width]、または [Width] に設定してから、「ロール紙残量管理」メニューを選択してください。 → [セッテイ] P.115 > [メディアケンシュツ] P.115 → [ロールシザンリョウカンリ] P.122
キノウ ハ ムコウデス メディア ミセット	メディアがセットされていません。メディアをセットしてください。 → 「メディアのセット方法」 P.43
キノウ ハ ムコウデス ロールシナガサセッテイ オフ	「ロール紙長さ設定」メニューが [オフ] に設定されているため、印刷できません。 「ロール紙長さ設定」メニューを設定してから、「印刷」メニューまたは「簡易印刷」メニューを選択してください。 → [ロールシザンリョウカンリ] P.122 > [ロールシナガサセッテイ] P.122、[インサツ] P.122、[カンインサツ] P.122
キノウ ハ ムコウデス ハイシモード マキトリ	「排紙モード」メニューが [マキトリ] に設定されている場合は、読み取りできません。「排紙モード」メニューを [オフ] を設定してから、「読み取り」メニューを選択してください。 → [セッテイ] P.115 > [ハイシモード] P.115 → [ロールシザンリョウカンリ] P.122 > [ヨミトリ] P.122

表示	説明
ジドウノズルチェック ノズルヌケ ガ アリマス	<p>(オプション 吐出検知ユニット装着時)</p> <p>自動ノズルチェックでノズルの目詰まりを検出し、自動クリーニングを実行しても、ノズルの目詰まりを解消できませんでした。</p> <p>→ 「自動ノズルチェック (オプション品装着時)」 P.110</p> <p>[Enter] キーをタップすると、メッセージが消えます。手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。</p> <p>→ 「ノズルチェックとクリーニング」 P.56</p>
ユニット コシヨウ ジドウ ノズルチェック オフ	<p>(オプション 吐出検知ユニット装着時)</p> <p>吐出検知ユニットが故障しているため、自動ノズルチェックが [オフ] に設定されます。</p> <p>→ 「自動ノズルチェック (オプション品装着時)」 P.110</p> <p>お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。</p>
テイオン ケイコク	<p>プリンターが低温状態です。室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。</p> <p>→ 「本製品の仕様」 P.193</p>
コウオン ケイコク	<p>プリンターが高温状態です。室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。</p> <p>→ 「本製品の仕様」 P.193</p>

 Note

- [ヘッドタカサヲ**** ニシテクダサイ] の [****] には、High/Middle/Low2/Low1 のいずれかが入ります。
- エラー表示の [****] は警告対象のインクパックを示します。
- [インク ナシ] または、[S/C カード ナシ] と [パック ナシ] が同時に発生したときは [パック ナシ] 表示を優先します。

スマートチップリカバリー

プリンターコントロールパネルのディスプレイに以下のメッセージが表示された場合、スマートチップカードのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のエラーメッセージが表示された場合、正しいスマートチップカードが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を実施してください。

表示	説明
[*] S/C ニンシキエラー	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。 対象のスマートチップカードを挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいスマートチップカードを挿入してください。 スマートチップカードを挿し直して、 [[*] カラーカクニン カクニン → Enter] が表示された場合は、下記内容に従って操作してください。
[*] カラー カクニン カクニン → Enter	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。 正しいスマートチップカードが挿入されているか、ご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> 間違ったスマートチップカードが挿入されている場合、正しいスマートチップカードを挿し直してください。 正しいスマートチップカードが挿入されている場合、[Enter] キーをタップしてください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続されます。
[*] S/C カード コウカン	スマートチップリカバリーが実行されたインクの残量がなくなりました。 新しいスマートチップカードに交換してください。

Note

- エラー表示の [*] は警告対象のインクパックを示します。
- スマートチップリカバリー実行中はインクステータスメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。
→ 「インクステータス」 P.125

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 電気回路（基板、モーター、センサー等）が故障した場合
- 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

1. 駆動系の電源を自動的に遮断する。
2. 操作パネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
3. 操作パネルにエラーメッセージが表示される。

操作パネルのいずれかのキーをタップすると、ブザー音は鳴り止みます。

再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取り除き、本製品を再起動すると復旧します。

もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。連絡の際には、かならずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

表示	説明
E ***エラー ○○○○○○○○○○ []	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 駆動系に紙くず、紙片等の障害物があれば、取り除いてください。 2. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 3. 電源をオフにします。しばらく待ってから電源をオンにして、本製品を再起動してください。

Important!

再起動が必要なエラー発生時は、パネル設定メニューから電源をオフにできません。電源ボタンを2秒以上押し続けると電源をオフにできます。

Note

- エラーメッセージの [***] はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。
- [] 内にはエラーの発生したコマンドコードが入ることがあります。

トラブルシューティング

ここでは、エラーを表示しない場合の考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は MSM のステータス情報から確認できます。
プリンターが正常に動かない場合は、MSM をご確認ください。
 - MSM は最新のバージョンをお使いください。
MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの MSM より新しいバージョンがあるかを確認できます。最新バージョンがある場合は、MUTOH Club からダウンロードしてください。
- [MUTOH Status Monitor 取扱説明書](#)

設置・導入時のトラブル

電源投入後まったく動かない

- 電源コードが接続されているかどうかを確認してください。
- AC 電源は規定の電圧になっているかどうかを確認してください。
他のコンセントに接続してください。

インクの初期充てんができない

- 廃液タンクのセンサーケーブルが接続されていますか？
廃液タンクのセンサーケーブルが正しく接続されていない場合、ディスプレイに [**ハイエキタンク マンタン**] と表示されます。適切に接続してください。
→ 「[廃液タンクの取り付け](#)」 [スタートアップガイド](#)
- フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている場合は閉じてください。
- 加圧アームが上がっている場合は下げてください。
- インクパックケースとスマートチップカードが、奥まで確実に差し込まれているかどうかを確認してください。
→ 「[インクパックの取り付け](#)」 [P.86](#)

初期充てんしてもインクが出ない

- インクパックが冷えていないかどうか確認してください。
常温で3時間以上放置後、ヘッドクリーニングを数回実施してください。
→ 「[ヘッドクリーニングをする](#)」 [P.58](#)
- 初期充てん中に電源をオフしませんでしたか？
電源をオンにして、初期充てんをやり直してください。

初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する

- ヘッドクリーニングを実施してください。

→ [「ヘッドクリーニングをする」 P.58](#)

ヘッドクリーニングを実施しても印刷結果に変化がない場合は、プリンターを1時間以上放置してください。放置後、クリーニングまたは微量充てんを実施してノズルチェックを実施してください。

印刷結果に変化がない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

MSM や RIP からプリンターに接続できない

- イーサネットケーブルがきちんと接続されているかどうかを確認してください。
- ネットワーク設定が正しく設定されているかどうかを確認してください。
- プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせているかどうかを確認してください。
 - [「接続するコンピューターについて」 P.29](#)
 - [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[シヨキセッテイ\] P.119](#)

メディアに関するトラブル

メディアをセットしても動かない

- フロントカバーやメンテナンスカバーが開いている場合は閉じてください。
- 加圧アームが上がっている場合は下げてください。
- メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。
→ 「メディアのセット方法」 P.43
- インクスロットにインクパッキケースが正しく挿入されているかどうかを確認してください。
- プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？
プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
→ 「本製品の仕様」 P.193
- MSM にエラーが表示されていませんか？
MSM のステータス情報を確認してください。

メディアイニシャル中にメディアが外れる、破れる、シワになる

- メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。
→ 「メディアのセット方法」 P.43
- 加圧ローラーにメディアの切れ端等の異物が付着していませんか？
加圧ローラーを清掃してください。
→ 「内部の清掃」 P.136
- プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？
プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
→ 「本製品の仕様」 P.193
- メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？
 - a. メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。
→ 「Step5. メディアセット後の手順」 P.53
 - b. 吸着ファンの設定を確認してください。
→ [メディアセッティ] P.92 > [キュウチャクファン] P.93
- 折り目や傷、破れ、巻き癖、巻き乱れのあるメディアを使用していませんか？
メディアを交換してください。
- メディアへの加圧アームの圧力は適切ですか？
加圧レバーで圧力を変更したり、加圧アームのスライドロックレバーを使って、個別に圧力を弱めたりキャンセルしてみてください。
→ 「メディア全体にかかる圧力を変更する」 P.65
→ 「加圧アームの圧力を個別に変更する」 P.66

メディアイニシャルでメディアを正しく認識できない

- メディアを斜めにセットしていませんか？
メディアを真っ直ぐにセットしてください。
→ 「メディアのセット方法」 P.43

- プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？
プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
→ 「本製品の仕様」 P.193
- 一度印刷したメディアを再度使用していませんか？
新品のメディアを使用してください。

メディア詰まりが頻発する

- プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？
プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
→ 「本製品の仕様」 P.193
- メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？
 - a. メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。
→ 「Step5. メディアセット後の手順」 P.53
 - b. 吸着ファンの設定を確認してください。
→ [メディアセッティ] P.92 > [キュウチャクファン] P.93
- メディアに対するプリントヘッドの高さは適切ですか？
プリントヘッドの高さを確認してください。
→ 「プリントヘッドの高さについて」 P.61
- 折り目や傷、破れ、巻き癖、巻き乱れのあるメディアを使用していませんか？
メディアを交換してください。

印刷中にメディアが斜行する

- プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか？
プリンターを使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。
→ 「本製品の仕様」 P.193
- メディアを斜めにセットしていませんか？
メディアを真っ直ぐにセットしてください。
→ 「メディアのセット方法」 P.43
- メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？
 - a. メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。
→ 「Step5. メディアセット後の手順」 P.53
 - b. 吸着ファンの設定を確認してください。
→ [メディアセッティ] P.92 > [キュウチャクファン] P.93
- 折り目や傷、破れ、巻き癖、巻き乱れのあるメディアを使用していませんか？
メディアを交換してください。

Note

詰まったり破れたりしたメディアは、「メディアが詰まった場合」 P.189 に従って取り除いてください。

印刷に関するトラブル

データを送っても印刷されない

- イーサネットケーブルが奥まで確実に差し込まれているかどうかを確認してください。
- MSM にエラーが表示されていませんか？
MSM のステータス情報を確認してください。

印刷中、キャリッジが右端または左端で一時的に停止する

- お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか？
 - OS: Windows 11
 - CPU: Intel (R) Core (TM) i5 以上
 - メモリ: 16GB 以上
 - ネットワーク: ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

- ギガビット対応イーサネットケーブルで接続をしていますか？
プリンターとコンピューターの接続には、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルをお使いください。
- MPS 機能の設定を確認してください。
→ [「印刷中にプリンターコントロールパネルでできること」 P.81](#) > [\[MPS\] P.82](#)
 - a. **[オン]** の場合: お使いのコンピューターのスペックや稼働状況 (CPU 負荷)、イーサネットケーブルの規格や接続状況、ネットワーク環境を確認してください。
 - b. **[オフ]** の場合: MPS 機能がオフ、または MPS 最適化が「変換しない」に設定されています。MPS 機能をオンにすることで解消する場合があります。

Note

MPS 機能の設定は、MSM から変更できます。

- 「パス間ウェイト」を設定していませんか？
0.0 (秒) に再設定してください。
→ [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[インサツドウサセッテイ\] P.117](#) > [\[パスカンウエイト\] P.118](#)

メディアや印刷に汚れが発生する

- メディアがカールしたり、浮いたりしていませんか？
メディアの両端にエッジホルダーをセットしてください。
→ [「Step5. メディアセット後の手順」 P.53](#)
- 吸着ファンの設定を確認してください。
→ [\[メディアセッテイ\] P.92](#) > [\[キュウチャクファン\] P.93](#)
- 熱でメディアが変形していませんか？
待機中に熱でメディアが変形する場合は、「スタートフィード」メニューからフィード量を増やしてください。
→ [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[スタートフィード\] P.116](#)
- メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？
新しいメディアに交換してください。
- プリントヘッド周りが汚れていませんか？
→ [「プリントヘッド周りの清掃」 P.141](#)
- メディアに対するプリントヘッドの高さは適切ですか？
プリントヘッドの高さを確認してください。
→ [「プリントヘッドの高さについて」 P.61](#)

印刷の位置がずれていたり、印刷しないところがある

- メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。
→ [「メディアのセット方法」 P.43](#)
- 原点を設定していませんか？
原点の設定を解除するか、再設定してください。
→ [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[インサツドウサセッテイ\] P.117](#) > [\[ゲンテンセッテイ\] P.118](#)
- サイドマージンは適切ですか？
サイドマージンの設定を確認してください。
→ [\[セッテイ\] P.115](#) > [\[インサツドウサセッテイ\] P.117](#) > [\[サイドマージン\] P.118](#)

印刷後のインクが乾きづらい

- ヒーターを使用していますか？
ヒーターの設定を確認してください。
→ [\[メディアセッテイ\] P.92](#) > [\[ヒータ\] P.93](#)

Note

- インクを多く使う印刷をする場合、印刷後のインクが乾きづらくなるおそれがあります。
- お使いのメディアによっては、インクが乾きづらい場合があります。

白スジや黒スジが発生する

- メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。
→ [「メディアのセット方法」 P.43](#)
- メディアが湿気を含んでいたり、折り目、シワ等がありませんか？
新しいメディアに交換してください。
- ノズルの状態は良好ですか？
ノズルチェックを実施してください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
→ [「ノズルチェックとクリーニング」 P.56](#)
- 「調整印刷」を実施してください。
→ [「調整印刷」 P.94](#)
- 「メディア送り補正」を実施してください。
→ [「メディア送り補正」 P.100](#)
- メディアに対するプリントヘッドの高さは適切ですか？
プリントヘッドの高さを確認してください。
→ [「プリントヘッドの高さについて」 P.61](#)
- プリントヘッド周りが汚れていませんか？
→ [「プリントヘッド周りの清掃」 P.141](#)

線が繋がらない・二重になる、印刷がかすれてる・にじんでいる

- ノズルの状態は良好ですか？
ノズルチェックを実施してください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
→ [「ノズルチェックとクリーニング」 P.56](#)
- 「調整印刷」を実施してください。
→ [「調整印刷」 P.94](#)
- 「メディア送り補正」を実施してください。
→ [「メディア送り補正」 P.100](#)
- インクパックは使用期限内ですか？
使用期限内のインクパックを使用してください。
- メディアの印刷面に印刷していますか？
メディアの印刷面を確認して正しくセットしてください。

印刷の色がおかしい

- ノズルの状態は良好ですか？
ノズルチェックを実施してください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。
→ **「ノズルチェックとクリーニング」 P.56**
- インクパックとスマートチップカードが正しい組み合わせでセットされていますか？
組み合わせが間違っている場合は、「インク排出」メニューを実施して初期充てんを行ってください。
→ **[メンテナンス] P.107 > [ソノタ メンテナンス] P.107 > [インクハイシュツ] P.107**
- 「重ね描き回数」を設定していませんか？
1 (回) に再設定してください。
→ **[セッテイ] P.115 > [インサツドウサセッテイ] P.117 > [カサネガキカイスウ] P.118**

クリーニングを実施しても、ノズルの目詰まりが解消しない

- 以下の消耗品の交換時期ではありませんか？
 - クリーニングワイパー
 - フラッシングボックス用吸収材
 各消耗品の状態を確認してください。交換条件に該当している場合は、交換してください。
→ **「消耗品の交換」 P.128**
- クリーニングワイパーとヘッド高さの組み合わせが正しいか確認してください。
→ **「ヘッド高さに合わせてクリーニングワイパーを交換する」 P.63**
- クリーニングモードは適切ですか？
→ **「ヘッドクリーニングモード」 P.58**

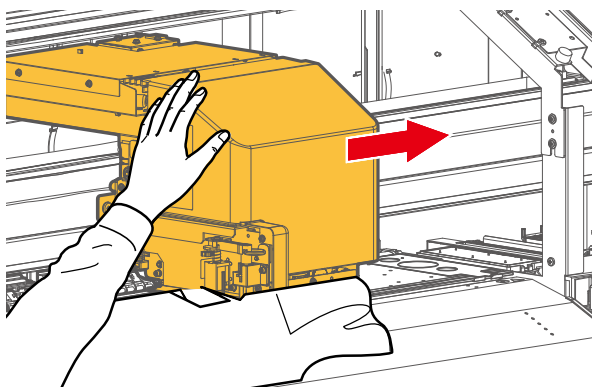
Note

クリーニング「通常」を繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。

1. クリーニング「強力」を2～3回実施してください。(改善しない場合は、次に進んでください)
→ **「ヘッドクリーニングをする」 P.58**
2. プリントヘッド周り（プリントヘッド外周とクリーニングワイパー）を清掃してください。(改善しない場合は、次に進んでください)
→ **「プリントヘッド周りの清掃」 P.141**
3. 「微量充てん」を2～3回実施してください。(改善しない場合は、次に進んでください)
→ **「微量充てん」 P.144**
4. 「漬け置きクリーニング」を実施してください。
→ **「漬け置きクリーニング」 P.145**
5. 「漬け置きクリーニング」を実施してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、目詰まりのないノズルを選択することができます。
→ **「ノズル選択」 P.148**

メディアが詰まった場合

- 1 プリンターの電源をオフにする。
→ 「電源をオフにする」 P.42
- 2 フロントカバーを開ける。
- 3 キャリッジをメディア上から外に移動させる。

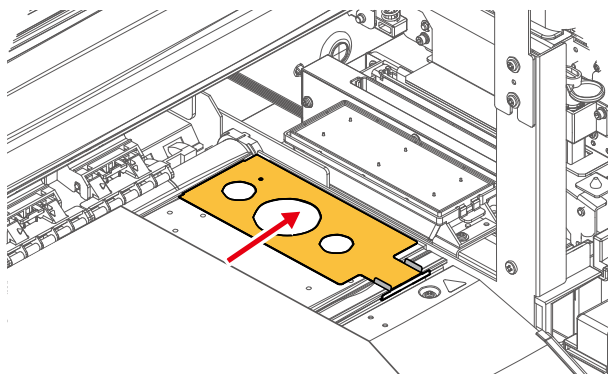


Important!

ヘッド高さが「Low1」、または「Low2」の場合は、「High」に切り替えてから移動させてください。移動後は、また「Low1」、または「Low2」に戻してください。

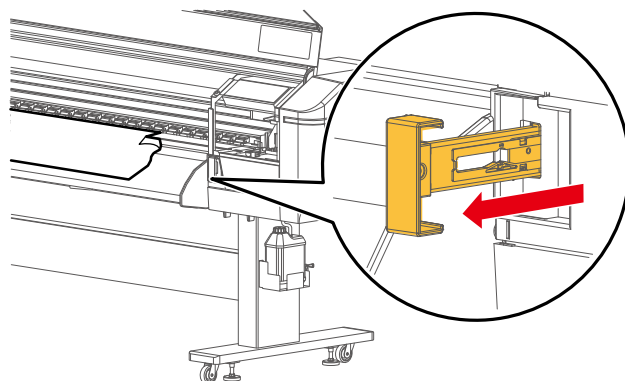
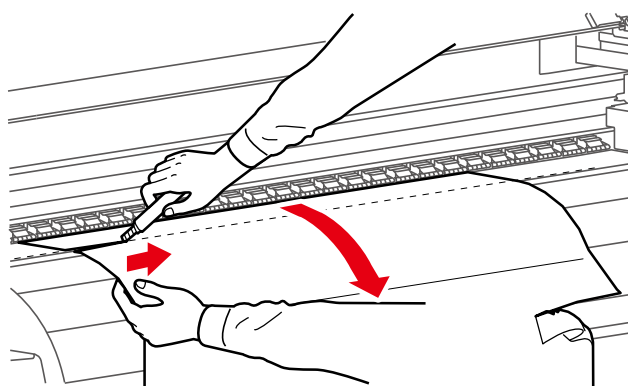
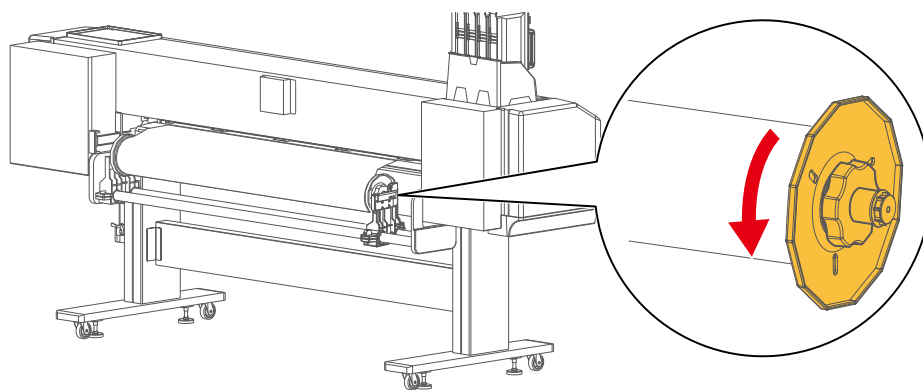
→ 「プリントヘッドの高さについて」 P.61

- 4 エッジホルダーをメディアから取り外す。



Important!

エッジホルダーが変形している場合は、本製品の使用を中断し、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。

5 加圧アームを上げる。**6** メディアを手前側に引き出して、破れた部分をメディアカット溝に沿ってカッターナイフ等でカットする。**7** ロール紙受けのフランジを回して、メディアを巻き取る。**8** 製品内部に紙くず、紙片等が残っている場合は、破れた紙片を取り除く。**9** プリンターの電源をオンにする。

→ 「電源をオンにする」 P.39

10 ノズルチェックで使用するメディアをセットする。

→ 「メディアのセット方法」 P.43

11 [インサツデキマス] 表示中に [<] キーをタップする。



インサツデキマス
PG: Low1 W: 1625 mm

12 [Enter] キーをタップする。

ノズルチェックパターン F が印刷されます。



ノズルチェック F
カイン → Enter

13 ノズルチェックパターンを確認する。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「[ヘッドクリーニングをする](#)」 P.58 に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。

6 付録

本製品の仕様	193
オプション・サプライ品リスト	195
改訂履歴	197
お問い合わせ先	198

本製品の仕様

機種名	XPJ-1681SR-P	
印刷方式	オンデマンドピエゾ方式	
駆動方式	ファームウェアサーボ /DC モーター駆動	
メディア搬送方式	多点加圧式グリッドローラー方式	
メディア固定	手動レバーによる加圧アームダウン方式	
使用できるメディア	外径	200mm 以下
	紙管径	2 インチまたは 3 インチ
	重量	30 kg 以下
	幅	500 mm ~ 1,625 mm
	推奨メディア厚さ	1.0 mm 以下
最大印刷幅	1,615 mm	
最大印刷長さ	1,500 m	
ヘッド高さ調整	Low1 / Low2 / Middle / High の 4 段階調整	
インターフェース	Gb-Ethernet (1000BASE-T)	
廃液タンク	本体固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃液排出	
インク	色	8 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック、オレンジ)
	種類	300 ml / 1,000 ml インクパック (洗浄液は 300ml)
環境条件	本体動作環境	温度 : 20 °C ~ 32 °C
		湿度 : 40 % ~ 60 %、結露なきこと
	本体精度保証環境	温度 : 22 °C ~ 30 °C
		湿度 : 40 % ~ 60 %、結露なきこと
	変化率	温度 : 1 時間あたり 2 °C 以内
		湿度 : 1 時間あたり 5 % 以内
本体保存環境	<ul style="list-style-type: none"> インク未充てん保存 : 6 か月以内 温度 : -20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 %、結露なきこと インク充てん保存 : 1 週間以内 温度 : 5 °C ~ 40 °C ただし 32 °C ~ 40 °C の場合、4 日以内 湿度 : 20 % ~ 80 %、結露なきこと 	
	<ul style="list-style-type: none"> インク保存環境 <ul style="list-style-type: none"> ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ライトブラック (各 1,000ml) / オレンジ (300 ml) 温度 : -20 °C ~ 40 °C 湿度 : 5 % ~ 85 %、結露なきこと ただし 40 °C 下は 1 か月以内 熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること 洗浄パック (300 ml) 温度 : -5 °C ~ 40 °C 湿度 : 80 % 以下、結露なきこと ただし -5 °C ~ 5 °C、30 °C ~ 40 °C は 6 か月以内 	

電源仕様	プリンター:	電圧	AC 100 V ~ 120 V ± 10 % AC 200 V ~ 240 V ± 10 %
		周波数	50/ 60 Hz ± 1 Hz
		電流	AC 100 V ~ 120 V 9.0 A 以下 AC 200 V ~ 240 V 6.0 A 以下
	ヒーター:	電圧	AC 100 V ~ 120 V ± 10% AC 200 V ~ 240 V ± 10%
		周波数	50/ 60 Hz ± 1 Hz
		電流	AC 100 V ~ 120 V 10.0 A 以下 AC 200 V ~ 240 V 5.0 A 以下
消費電力	電源オフ時	• プリンター	AC 100 V ~ 120 V 1.0 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 3.8 W 以下
		• ヒーター	AC 100 V ~ 120 V 0.1 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 0.2 W 以下
	待機時	(ヒーター未使用)	AC 100 V ~ 120 V 45 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 45 W 以下
		(ヒーター使用)	AC 100 V ~ 120 V 1200 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 1200 W 以下
	スリープモード時		AC 100 V ~ 120 V 30 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 30 W 以下
	オペレーション時	• プリンター	AC 100 V ~ 120 V 1100 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 1100 W 以下
• ヒーター		AC 100 V ~ 120 V 1200 W 以下 AC 200 V ~ 240 V 1200 W 以下	
外形寸法	高さ	1,428 mm	インクパッケージ (1,000 ml 専用) 装着時: 1,611 mm
		幅	2,770 mm
	奥行き	895 mm	
質量	本体	142 kg	
	脚部	32 kg	

オプション・サプライ品リスト

インクパック

型番	名称	販売単位
MS41-BK300U	インクブラック (Bk) 300 ml	1 個
MS41-CY300U	インクシアン (Cy) 300 ml	1 個
MS41-MA300U	インクマゼンタ (Ma) 300 ml	1 個
MS41-YE300U	インクイエロー (Ye) 300 ml	1 個
MS41-LC300U	インクライトシアン (Lc) 300 ml	1 個
MS41-LM300U	インクライトマゼンタ (Lm) 300 ml	1 個
MS41-LK300U	インクライトブラック (Lk) 300 ml	1 個
MS41-OR300U	インクオレンジ (Or) 300 ml	1 個
MS41-CL300U	洗浄液 (Cl) 300 ml	1 個
MS41-BK1000U	インクブラック (Bk) 1,000 ml	1 個
MS41-CY1000U	インクシアン (Cy) 1,000 ml	1 個
MS41-MA1000U	インクマゼンタ (Ma) 1,000 ml	1 個
MS41-YE1000U	インクイエロー (Ye) 1,000 ml	1 個
MS41-LC1000U	インクライトシアン (Lc) 1,000 ml	1 個
MS41-LM1000U	インクライトマゼンタ (Lm) 1,000 ml	1 個
MS41-LK1000U	インクライトブラック (Lk) 1,000 ml	1 個

Important!

インクは純正品を使用してください。本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。

サプライ品

型式	名称	販売単位	備考
VJ-CB	カッター替刃	1 箱 (1 個入り)	-
RH2 クリーンスティック	クリーンスティック	1 箱 (100 本入り)	-
POLYNITW ポリニット 2	ポリニットワイパ	1 箱 (300 枚入り)	-
IJ-RWPS-01	交換用ワイパセット	1 箱 (2 個入り)	-
IJ-RWPSH-01	交換用ワイパセット (ヘッド高さ High 用)	1 箱 (2 個入り)	-
DROPPER 6PACK SET	スポイト	1 箱 (6 個入り)	-
IJ-FLABS-02	フラッシング吸収材	1 箱 (3 個入り)	-
IJ-RLCLNK-01	レールクリーナーキット	1 箱 (1 個入り)	-
VJ-ULVA1-ML500U	メンテナンス液 (MI) 500 ml	1 本	-

オプション品

型式	名称	販売単位
VJ-AC15SA	AC ケーブル (アメリカ安全規格対応品)	1 本
VJ-AC10SE	AC ケーブル (ヨーロッパ安全規格対応品)	1 本
VJ-AC15SJ	AC ケーブル (日本国内安全規格対応品)	1 本
IJ-TUP30-01	30kg 対応簡易巻取り装置	1 台
VJ16/19-TUP40U	40kg 対応簡易巻取り装置	1 台
IJ-ICA1000BK-01	インクパッケージ (1,000ml 専用)	1 箱 (4 個入り)
IJ-INKTBCN4-01	インクチューブコネクタ	1 箱 (4 本入り)
MEDIA-FRANGE	ロール紙フランジ (トルク: 1 kgf・cm)	1 箱 (1 個入り)
MEDIA-FRANGE-H	ロール紙フランジ (トルク: 4 kgf・cm)	1 箱 (1 個入り)
IJ-TUP100-01	重量巻き取り装置 100 Kg	1 台
IJ-NZMD-01	吐出検知ユニット	1 台

Note

詳細についてはお買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	ファームウェア備考
2026.03	00	XPJ1681SRPJ-A-00	V.2.00

お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

- TEL: 0120-174911
- FAX: 0120-184711
- E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00～12:00、午後 1:00～5:00

MUTOH